

第7期東海村高齢者福祉計画・
介護保険事業計画に係るアンケート調査
調査結果報告書

平成29年3月
東海村福祉部 介護福祉課

目 次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	3
2 調査の対象.....	3
3 調査の方法.....	3
4 調査の実施時期.....	3
5 配布・回収の結果.....	4
6 報告書の表記及び注意点について.....	4
II 調査結果①【介護予防・日常生活圏域二一ズ調査】	5
1 集計結果.....	7
調査票記入者、ご本人の情報について	7
（1）調査票記入者.....	7
（2）年齢	7
（3）性別	7
（4）要介護認定状況.....	9
問1 あなたのご家族や生活状況について	10
（1）家族構成.....	10
（2）介護・介助の必要性.....	10
（3）介護・介助が必要になった主な原因.....	11
（4）主な介護・介助者.....	11
（5）現在の暮らしの経済的状況	12
（6）住居の形態.....	12
問2 からだを動かすことについて	13
（1）階段昇行.....	13
（2）起立	13
（3）継続的な歩行.....	13
（4）転倒した経験.....	14
（5）転倒に対する不安.....	14
（6）外出しているか.....	15
（7）外出頻度の減少.....	15
（8）外出を控えているか.....	16
（9）外出を控える理由.....	16
（10）外出する際の移動手段.....	17
問3 食べることについて	18
（1）本人の身長・体重・BMI	18
（2）固いものが食べにくくなったか	19
（3）お茶や汁物等でむせることがあるか.....	20
（4）口の渇き.....	20
（5）歯磨きの習慣.....	20
（6）歯の数と入れ歯の利用状況	21
（7）噛み合わせ.....	22
（8）入れ歯の手入れ.....	22
（9）体重の減少.....	22
（10）誰かと食事をする機会.....	23

問4 毎日の生活について	24
(1) 物忘れがあるか	24
(2) 電話をかけているか	24
(3) 日にちがわからないことがあるか	24
(4) 一人での外出	25
(5) 食品・日用品の買い物	25
(6) 食事の用意	25
(7) 請求書の支払い	26
(8) 預貯金のおし入れ	26
(9) 年金などの書類が書けるか	27
(10) 新聞を読んでいるか	27
(11) 本や雑誌を読んでいるか	27
(12) 健康についての記事や番組への関心	28
(13) 友人宅への訪問	28
(14) 相談にのっているか	28
(15) 病人の見舞いができるか	29
(16) 若い人への話しかけ	29
(17) 趣味はあるか	30
(18) 生きがいはあるか	30
問5 地域での活動について	31
(1) 会・グループへの参加状況	31
(2) 地域活動への参加者としての参加希望	34
(3) 地域活動への企画・運営者としての参加希望	34
問6 たすけあいについて	35
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	35
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	35
(3) 看病や世話をしてくれる人	36
(4) 看病や世話をしてあげる人	36
(5) 相談相手	37
(6) 友人・知人と会う頻度	37
(7) 1 か月間に会った友人・知人の数	38
(8) よく会う友人・知人との関係	38
問7 健康について	39
(1) 主観的健康感	39
(2) 主観的幸福感	39
(3) 最近1 か月間の気分の状態	40
(4) 最近1 か月間の物事に対する心の状態	41
(5) 飲酒の状況	42
(6) 喫煙の状況	42
(7) 治療中の病気	43
問8 生きがいづくり・介護予防について	44
(1) 充実感や生きがいを感じる	44
(2) 介護予防教室で利用したいと思うもの	45
(3) 介護予防のイメージ	45
(4) 介護予防事業に参加する上での妨げ	46
(5) 地域包括支援センター(なごみ)の認知状況	46
問9 認知症について	47
(1) 村が重点を置くべき認知症への取り組み	47
(2) 認知症予防のための取り組み	48
(3) 具体的な実践内容	48
(4) 地域包括支援センターで認知症相談を受けられること	49
(5) 東海村が実施している認知症予防教室について	49

問10 今後の暮らしや将来の介護について.....	50
(1) 主な収入源.....	50
(2) 生活を支えている家族の有無.....	50
(3) 支えている家族.....	51
(4) 自由に使えるお金は1か月いくら.....	51
(5) 不安、悩み、心配ごと.....	52
(6) 近隣のつながり.....	52
(7) 在宅で生活続けるために必要な支援・サービス.....	53
(8) 近隣の方への手助け.....	53
(9) 介護が必要になったときに不安なこと.....	54
(10) 制度の認知状況.....	54
(11) 緊急時に1人で避難できるか.....	55
(12) 近所の方に情報を事前に知らせておくことについて.....	55
(13) 介護が必要となったときの生活場所.....	56
(14) 在宅で暮らし続けるために特に重要なこと.....	56
(15) 在宅医療について.....	57
(16) 在宅医療のイメージ.....	58
(17) 在宅医療、終活、自宅での看取りについて.....	59
(18) 人生の最期をどこで過ごしたいか.....	59
(19) 村に力を入れてほしい高齢者保健福祉施策.....	60

2 リスク分析.....61

1) 運動器機能の低下.....	61
2) 転倒リスク.....	62
3) 閉じこもり傾向.....	63
4) 低栄養傾向.....	64
5) 口腔機能の低下.....	65
6) 認知機能の低下.....	66
7) IADL（手段的自立度）の低下.....	67
8) うつ傾向.....	68
9) 知的能動性の低下.....	69
10) 社会的役割の低下.....	70

Ⅲ 調査結果②【在宅介護実態調査】.....71

A票 調査対象者ご本人について.....	73
(1) 調査票記入者.....	73
(2) 調査票回答者.....	73
(3) 世帯類型.....	73
(4) 性別.....	74
(5) 年齢.....	74
(6) 要介護認定状況.....	76
(7) 施設への入所・入居状況.....	77
(8) 現在抱えている傷病.....	77
(9) 介護保険サービスの利用の有無.....	78
(10) 介護保険サービスの利用回数・利用日数.....	78
(11) 介護保険サービスを利用していない理由.....	83
(12) 介護保険サービス以外の支援・サービス利用状況.....	84
(13) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス.....	84
(14) 訪問診療の利用状況.....	85
(15) 家族・親族からの介護状況.....	85

B票 主な介護者の方について.....	86
(1) 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族の有無.....	86
(2) 主な介護者.....	86
(3) 主な介護者の性別.....	87
(4) 主な介護者の年齢.....	87
(5) 主な介護者が行っている介護.....	88
(6) 主な介護者が不安に感じる介護.....	89
(7) 主な介護者の勤務形態.....	90
(8) 働き方の調整について.....	90
(9) 勤め先からの支援について.....	91
(10) 今後も仕事と介護の両立を続けられるか.....	92
C票 今後の暮らしや将来の介護について.....	93
(1) 不安、悩み、心配ごと.....	93
(2) 地域包括支援センター(なごみ)の認知状況.....	94
(3) 制度の認知状況.....	94
(4) 緊急時に1人で避難できるか.....	95
(5) 近所の方に情報を事前に知らせておくことについて.....	95
(6) 特別養護老人ホームへの入所希望.....	96
(7) 特別養護老人ホームに入所したくない理由.....	96
(8) 特別養護老人ホームに入所したい理由.....	97
(9) 村に力を入れてほしい高齢者保健福祉施策.....	98

IV 自由記述..... 99

1 介護予防・日常生活圏域二ーズ調査.....	101
(1) 「生きがいづくり・集いの場」に関すること.....	101
(2) 「介護予防・健康づくり」に関すること.....	101
(3) 「地域支え合い・見守り・生活支援」に関すること.....	102
(4) 「交通・移動支援」に関すること.....	104
(5) 「医療・通院」に関すること.....	105
(6) 「介護保険サービス(居宅介護・施設)」に関すること.....	106
(7) 「介護保険制度」に関すること.....	107
(8) 「経済的な問題」に関すること.....	108
(9) 「情報提供・相談窓口」に関すること.....	109
(10) 「まちづくり・村への要望等」に関すること.....	110
(11) その他.....	111
2 在宅介護実態調査.....	114
(1) 「家族介護の支援」に関すること.....	114
(2) 「地域支え合い・見守り・生活支援」に関すること.....	115
(3) 「介護保険サービス」に関すること.....	115
(4) 「介護保険制度」に関すること.....	116
(5) 「経済的な問題」に関すること.....	117
(6) 「情報提供・相談窓口」に関すること.....	118
(7) 「まちづくり・村への要望等」に関すること.....	118
(8) その他.....	119

V 資料編..... 121

1 東海村介護予防・日常生活圏域二ーズ調査 調査票.....	123
2 東海村在宅介護実態調査 調査票.....	139

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成30年度から32年度を計画期間とする「第7期東海村高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、本村の高齢者の日常生活の状況、心身の状態、介護予防に対する意識、在宅介護の状況、福祉・介護保険事業に関する意見などをうかがい、計画づくりの参考資料とし活用するために実施した。

2 調査の対象

調査対象は以下のとおり。

区分	調査対象
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	本村の住民で、65歳以上の方（要介護1～5の認定を受けている方を除く）
②在宅介護実態調査	本村の住民で、要支援・要介護の認定を受け、在宅で生活している方

3 調査の方法

郵送による配布・回収

注）②の調査については、聞き取り方式による調査も併せて実施。

4 調査の実施時期

平成29年1月～2月

5 配布・回収の結果

区分	①調査票配布数	②有効回答数【率】
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,343件	871件 【64.9%】
②在宅介護実態調査	571件※	318件※ 【55.7%】
計	1,914件※	1,189件※ 【62.1%】

※ 配布数、回収数のうち、聞き取り方式による21件を含む。

6 報告書の表記及び注意点について

1. 回答は、各質問の回答該当者数を基数とした百分率（%）で示している。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答を許している回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える。
3. 説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化して表している。
4. グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者数を「n」と表記し、その数を表している。

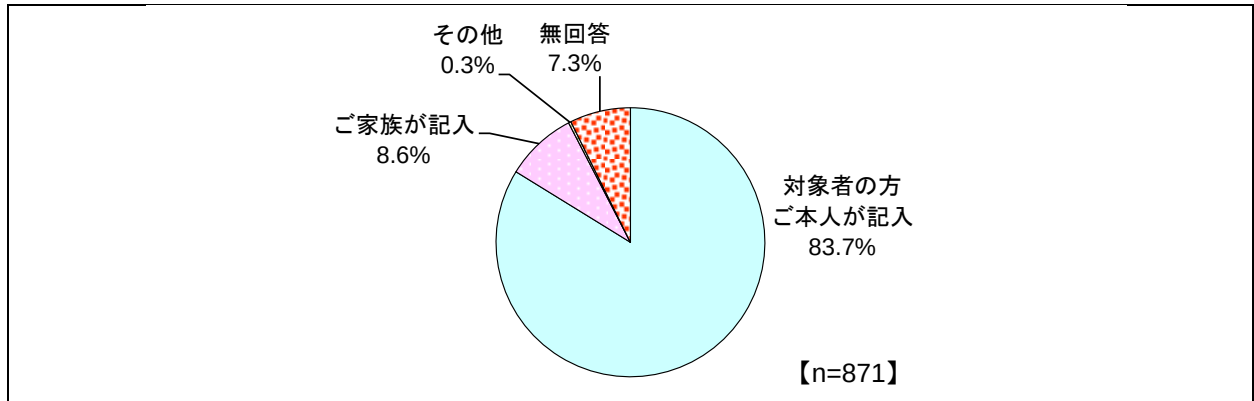
Ⅱ 調査結果①

【介護予防・日常生活圏域二一ズ調査】

1 集計結果

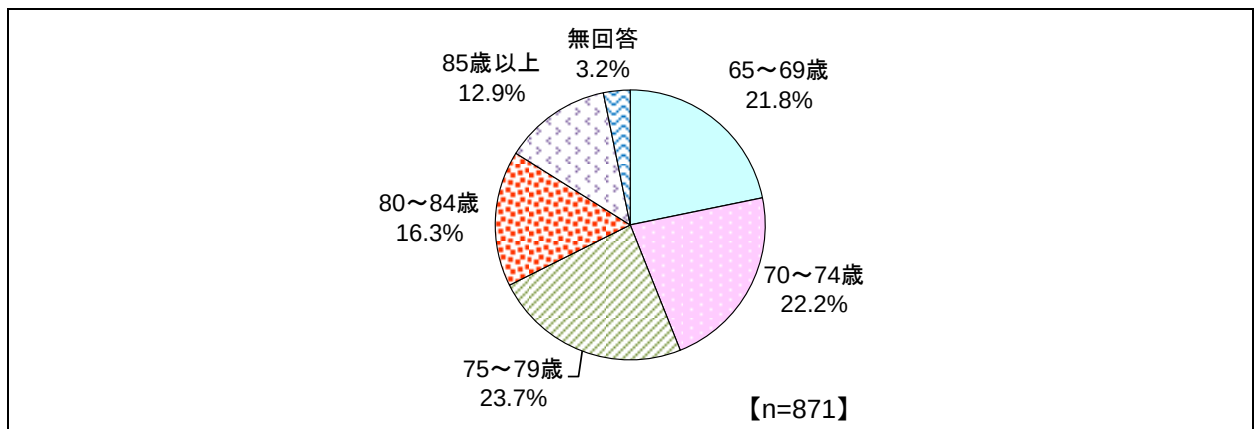
調査票記入者、ご本人の情報について

(1) 調査票記入者



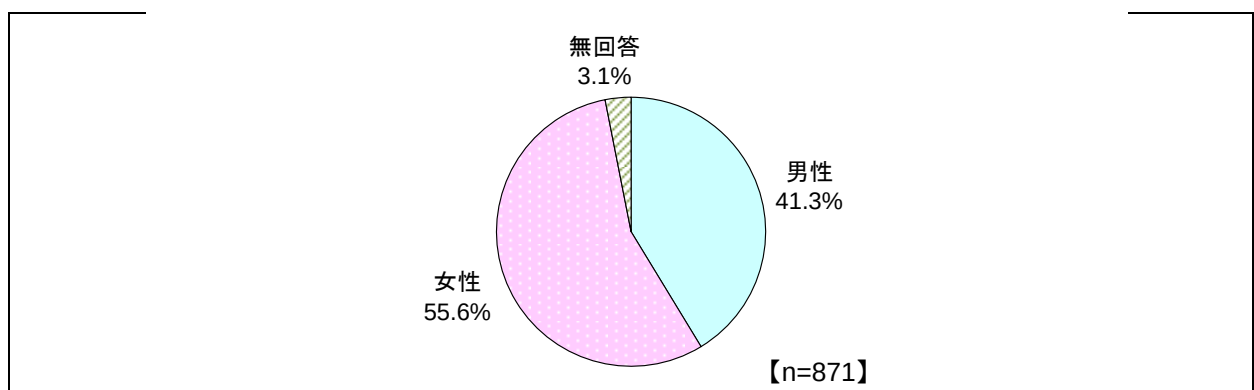
調査票の記入者は、「対象者の方ご本人が記入」が83.7%で大半を占めている。

(2) 年齢



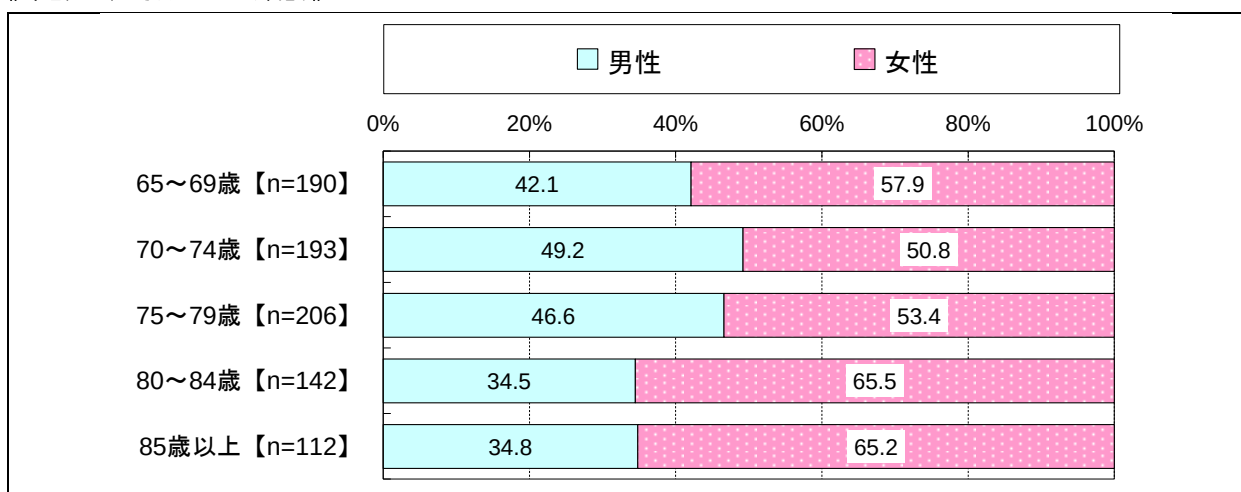
年齢は、「75～79歳」が23.7%で最も多く、以下、「70～74歳」が22.2%、「65～69歳」が21.8%、「80～84歳」が16.3%、「85歳以上」が12.9%などと続いている。

(3) 性別



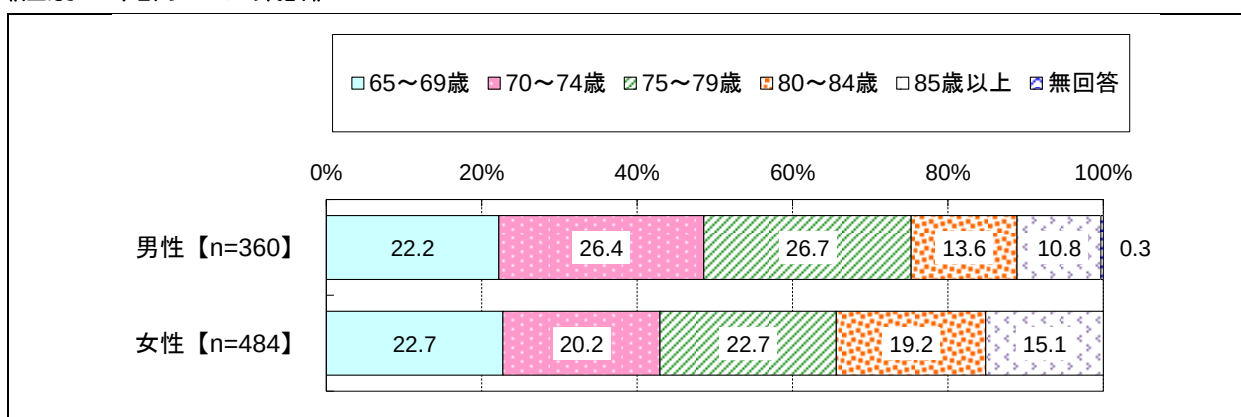
性別は、「男性」が41.3%、「女性」が55.6%で、「女性」の割合が過半数を占めている。

《年齢×性別クロス集計》



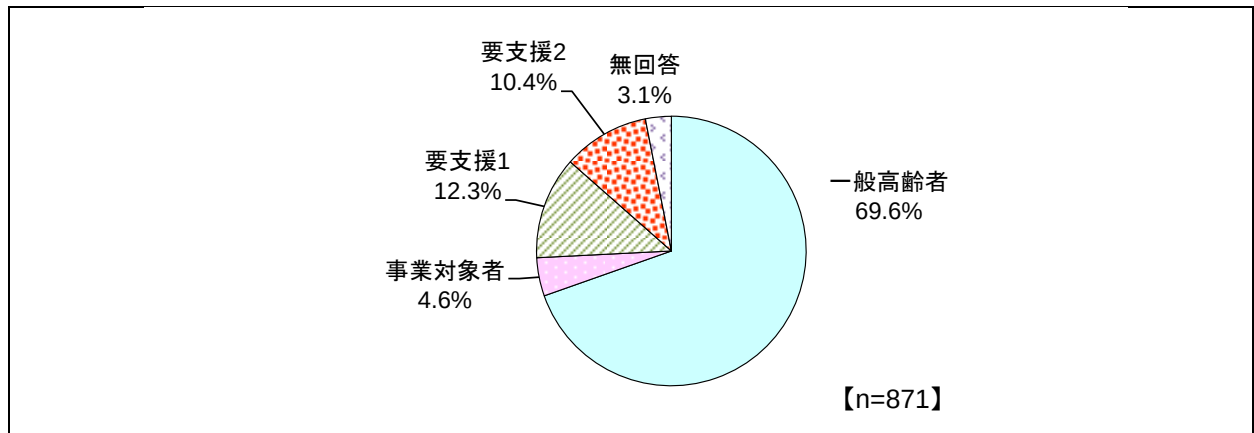
年齢階級別に男女比をみると、いずれの年齢階級においても、女性の割合が男性の割合を上回っている。

《性別×年齢クロス集計》



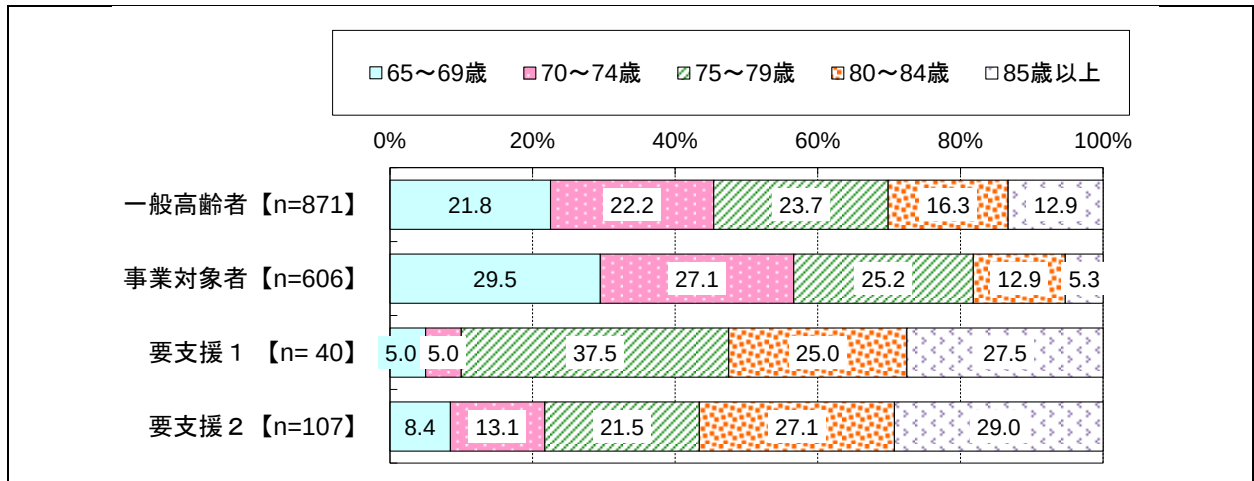
男女別に年齢構成をみると、男女の差はそれほど大きくないものの、女性のほうが男性よりも比較的高い年齢層が多めの年齢構成となっている。

(4) 要介護認定状況



要介護認定状況については、「一般高齢者」が69.6%、「要支援1」が12.3%、「要支援2」が10.4%、「事業対象者」が4.6%となっている。

《認定状況×年齢クロス集計》

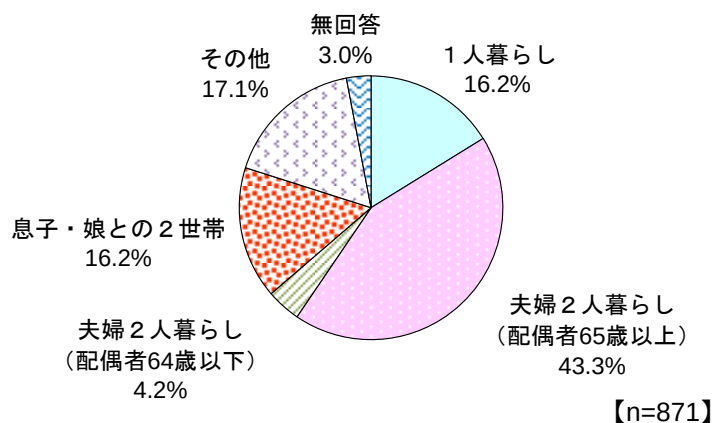


認定状況別に年齢構成をみると、一般高齢者については「75～79歳」の割合が最も多いものの、前期高齢者の割合は4割程度となっている。事業対象者については「65～69歳」が最も多いほか、前期高齢者が過半数を占めている。要支援1及び要支援2については、80歳以上が過半数を占めている。

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成

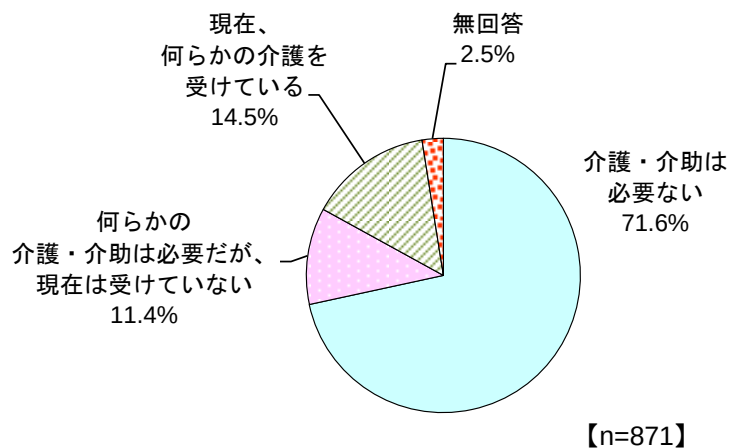
(1) 家族構成をお教えてください。(1つ)



家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が43.3%で最も多く、以下、「息子・娘との2世帯」が16.2%、「1人暮らし」が16.2%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.2%などとなっている。

(2) 介護・介助の必要性

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つ)

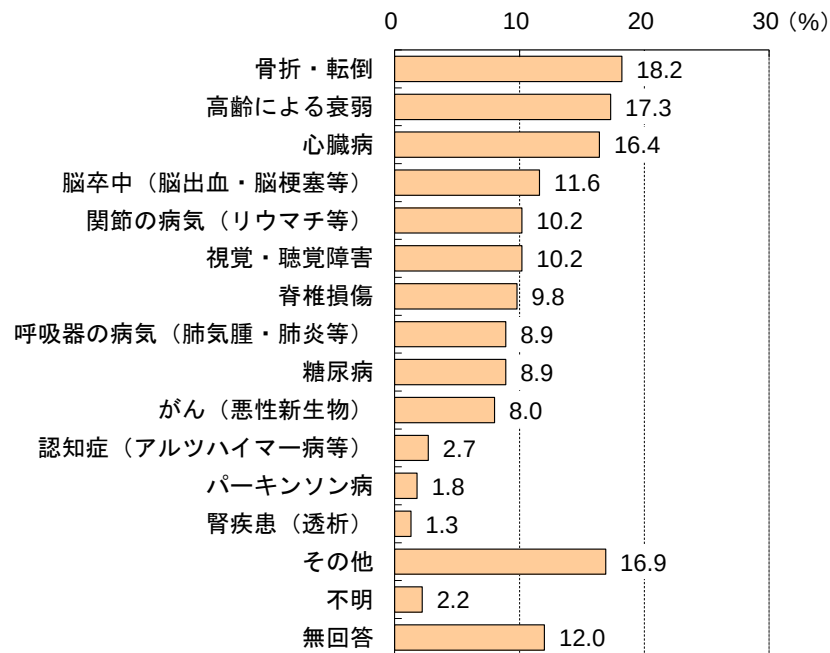


普段の生活で介護・介助が必要とするかについては、「介護・介助は必要ない」が71.6%で最も多く、以下、「現在、何らかの介護を受けている」が14.5%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が11.4%となっている。

(3) 介護・介助が必要になった主な原因

(2) -① (介護・介助が必要な方のみ)

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)



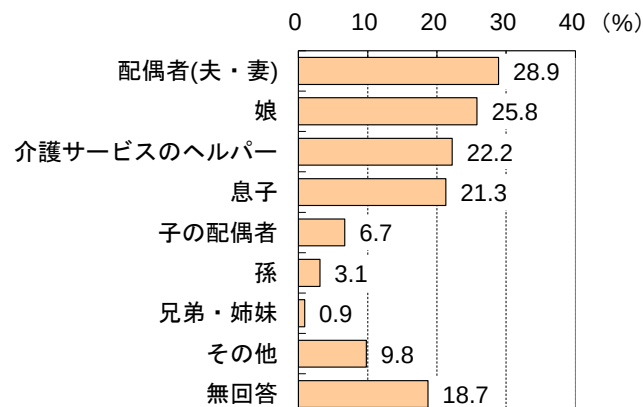
【n=225】

介護・介助が必要と回答した人に、介護・介助が必要になった原因を尋ねたところ、「骨折・転倒」(18.2%)、「高齢による衰弱」(17.3%)、「心臓病」(16.4%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(11.6%)、「関節の病気(リウマチ等)」(10.2%)、「視覚・聴覚障害」(いずれも10.2%)などが多く挙げられている。

(4) 主な介護・介助者

(2) -② (介護・介助が必要な方のみ)

主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも)

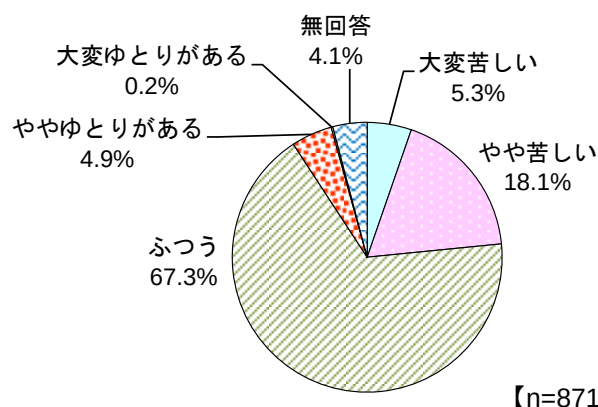


【n=225】

介護・介助を受けていると回答した人に、主な介護者・介助者を尋ねたところ、「配偶者(夫・妻)」が28.9%で最も多く、以下、「娘」が25.8%、「介護サービスのヘルパー」が22.2%、「息子」が21.3%などと続いている。

（５）現在の暮らしの経済的状況

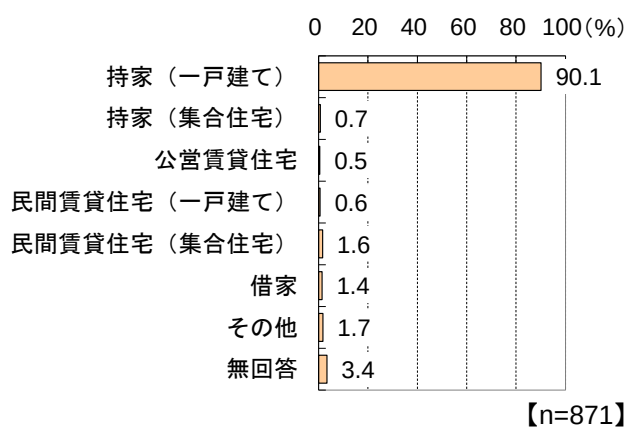
（３）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つ）



現在の暮らしの状況では、「ふつう」が67.3%で最も多く、以下、「やや苦しい」が18.1%、「大変苦しい」が5.3%、「ややゆとりがある」が4.9%、「大変ゆとりがある」が0.2%となっている。大別して、『生活が苦しいと感じる割合』（「やや苦しい」及び「大変苦しい」の合計）は23.4%を占めている。

（６）住居の形態

（４）お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（１つ）

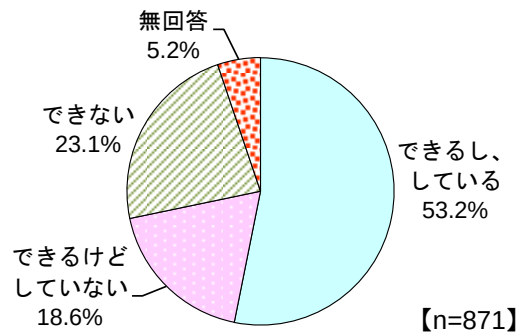


一戸建てか集合住宅かについては、「持家（一戸建て）」が90.1%と大半を占め、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.6%で続いている。

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段昇行

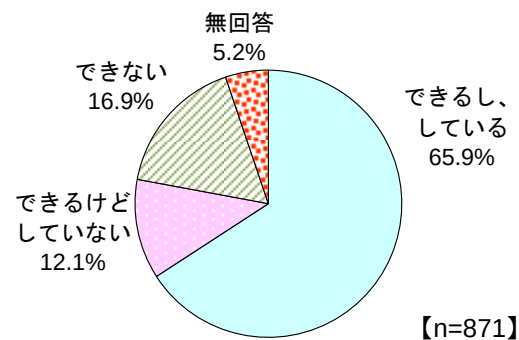
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つ)



階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は23.1%となっている。

(2) 起立

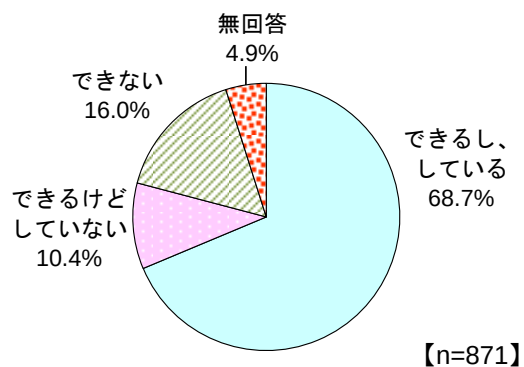
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つ)



椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は16.9%となっている。

(3) 継続的な歩行

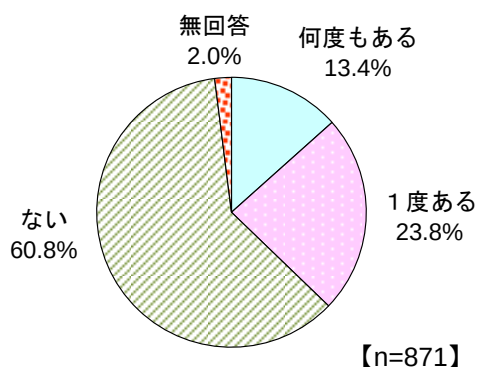
(3) 15分位続けて歩いていますか。(1つ)



15分位続けて歩いているか尋ねたところ、運動器機能低下のチェック該当となる「できない」の割合は16.0%となっている。

(4) 転倒した経験

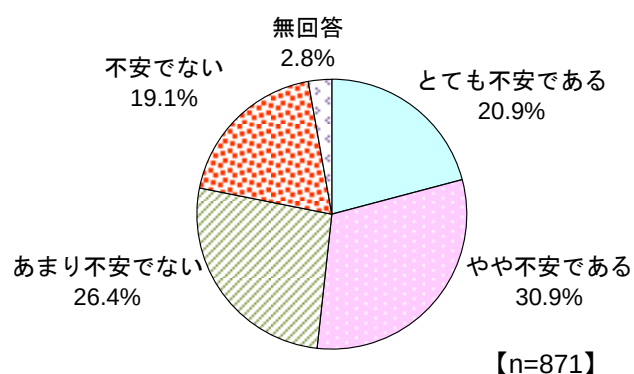
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つ)



この1年間に転んだことがあるか尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『ある割合』（「何度もある」と「1度ある」の合計）は37.2%となっている。

(5) 転倒に対する不安

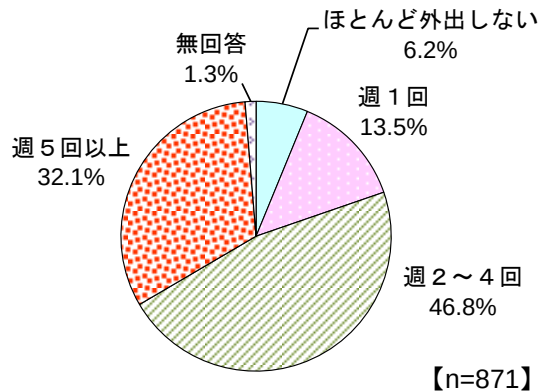
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つ)



転倒に対する不安について尋ねたところ、運動器機能低下及び転倒リスクのチェック該当となる『不安である割合』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）は51.8%となっている。

(6) 外出しているか

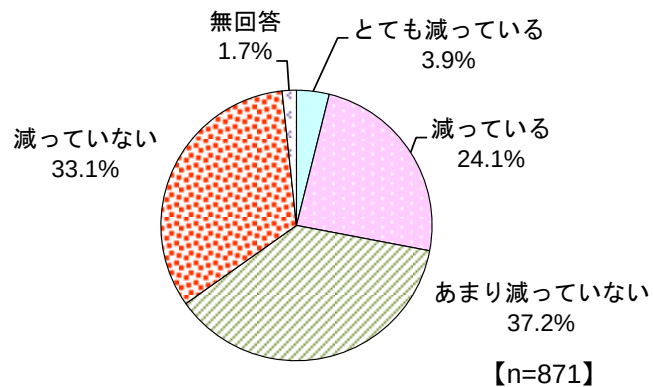
(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つ)



週に1回以上は外出しているか尋ねたところ、閉じこもり傾向のチェック該当となる『外出が少ない割合』（「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計）は19.7%となっている。

(7) 外出頻度の減少

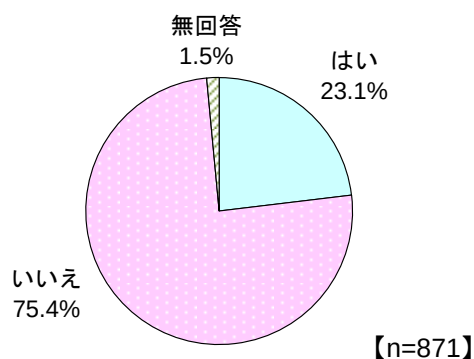
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つ)



昨年と比べて外出の回数が減っているか尋ねたところ、「あまり減っていない」が37.2%で最も多く、以下、「減っていない」が33.1%、「減っている」が24.1%、「とても減っている」が3.9%となっている。

(8) 外出を控えているか

(8) 外出を控えていますか。(1つ)

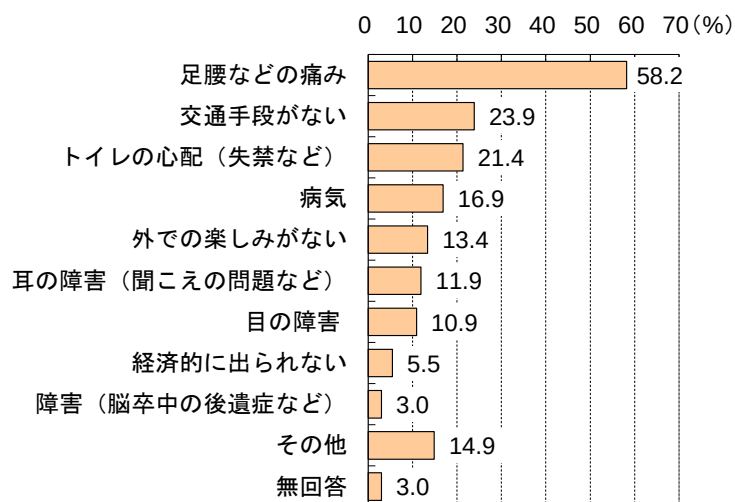


外出を控えているか尋ねたところ、23.1%が「はい」と回答している。

(9) 外出を控える理由

(8) -① (外出を控えている方のみ)

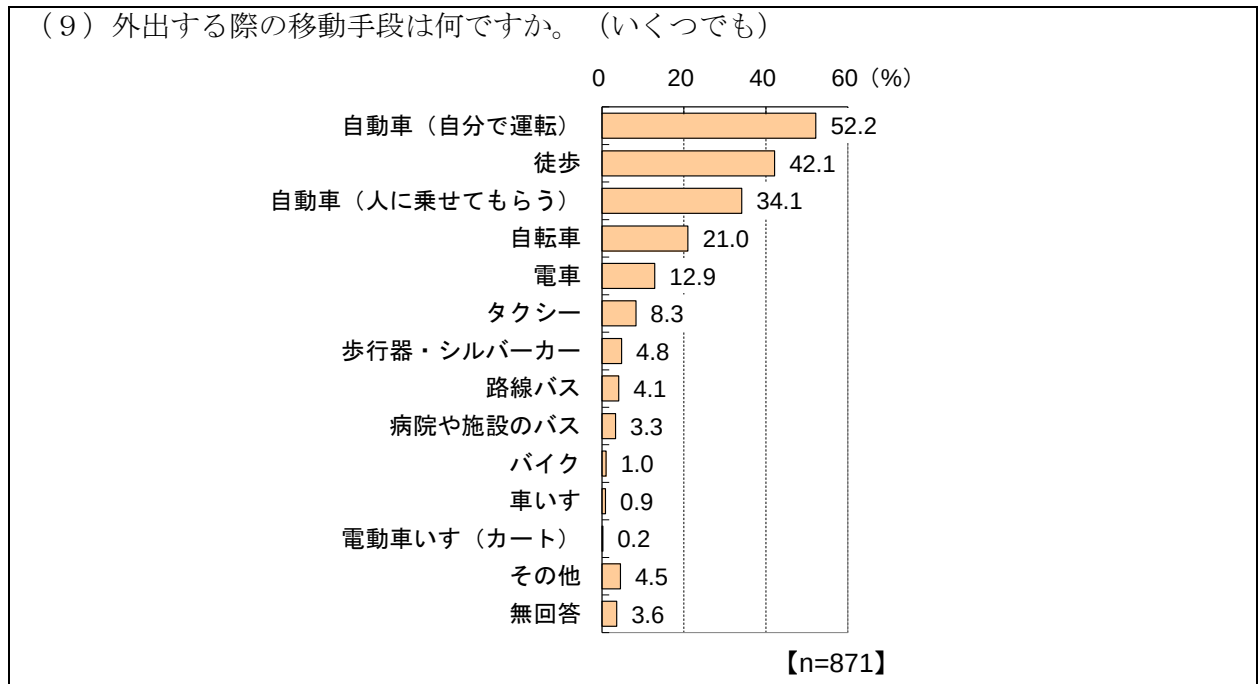
外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)



【n=201】

外出を控えている人に、その理由について尋ねたところ、「足腰などの痛み」が58.2%で最も多く、以下、「交通手段がない」が23.9%、「トイレの心配 (失禁など)」が21.4%、「病気」が16.9%、「外での楽しみがない」が13.4%などとなっている。

(10) 外出する際の移動手段



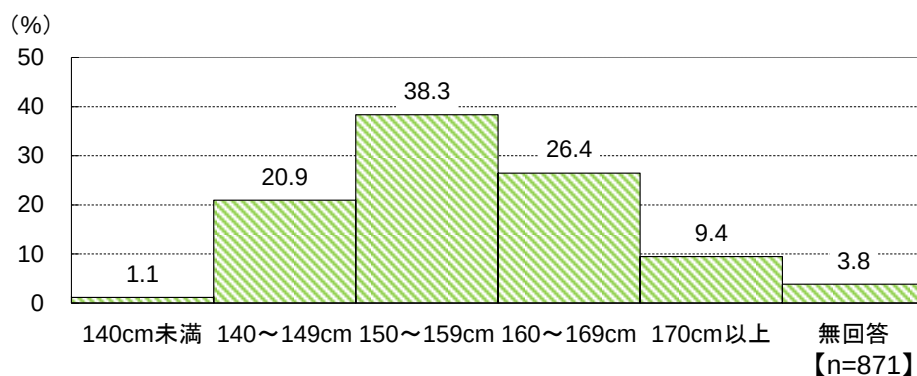
外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が52.2%で最も多く、以下、「徒歩」（42.1%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（34.1%）、「自転車」（21.0%）、「電車」（12.9%）、「タクシー」（8.3%）などが比較的多く挙げられている。

問3 食べることについて

(1) 本人の身長・体重・BMI

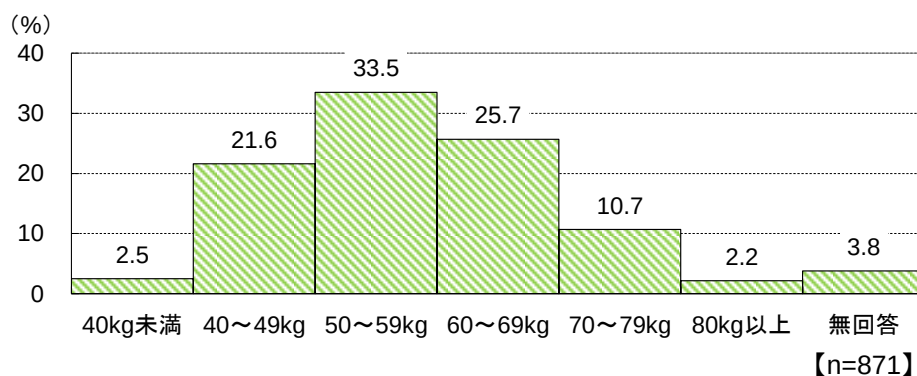
(1) ご本人の身長、体重をお答えください。

<身長>



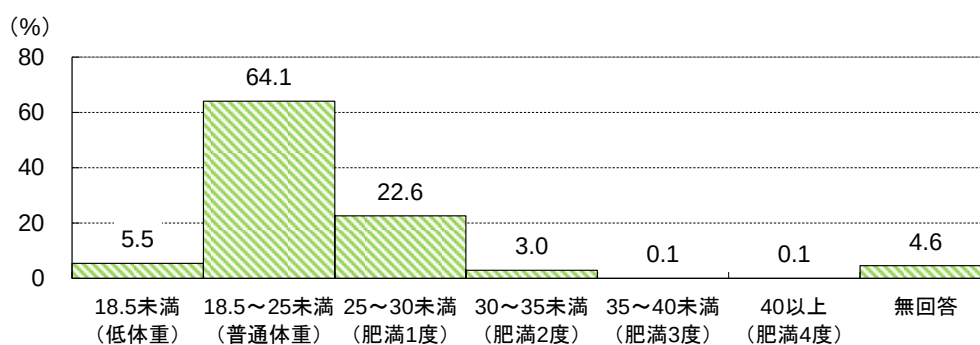
身長は、「150～159cm」が38.3%で最も多く、以下、「160～169cm」が26.4%、「140～149cm」が20.9%などとなっている。

<体重>



体重は、「50～59kg」が33.5%で最も多く、以下、「60～69kg」が25.7%、「40～49kg」が21.6%などとなっている。

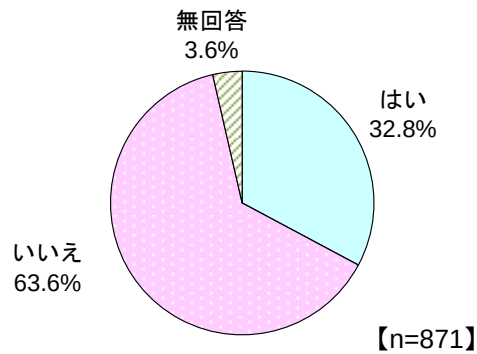
<BMI>



BMIについては、「18.5～25未満 (普通体重)」が64.1%で最も多く、以下、「25～30未満 (肥満1度)」が22.6%、「18.5未満 (低体重)」が5.5%などとなっている。

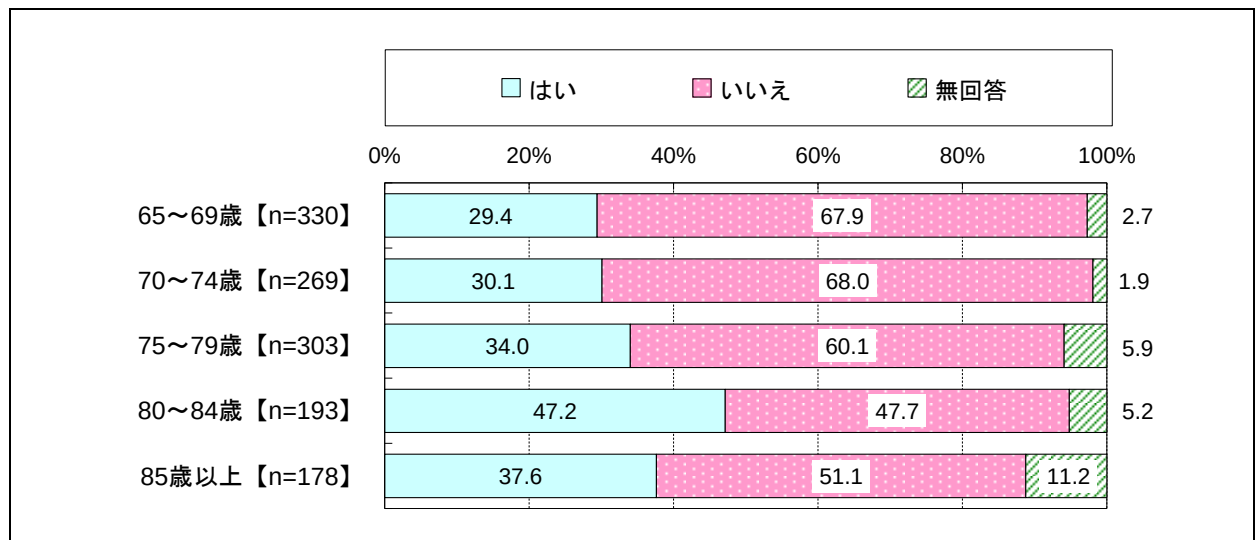
(2) 固いものが食べにくくなったか

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つ)



半年前に比べて固いものが食べにくくなったか尋ねたところ、口腔機能の低下リスクのチェック該当となる「はい」の割合は32.8%となっている。

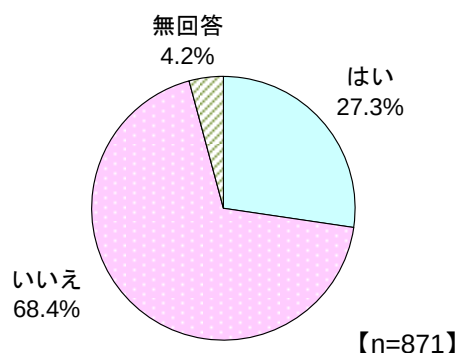
《年齢別クロス集計》



年齢別にみると、『咀嚼機能低下の疑いがある人』の割合（「はい」の割合）は、おおむね年齢が上がるにつれて高くなり、「80～84歳」では47.2%、「85歳以上」では37.6%となっている。

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

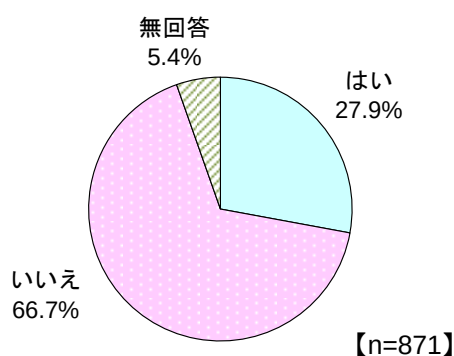
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つ)



お茶や汁物等でむせることがあるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は27.3%となっている。

(4) 口の渇き

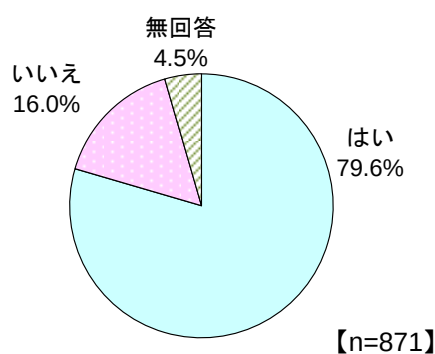
(4) 口の渇きが気になりますか。(1つ)



口の渇きが気になるか尋ねたところ、口腔機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は27.9%となっている。

(5) 歯磨きの習慣

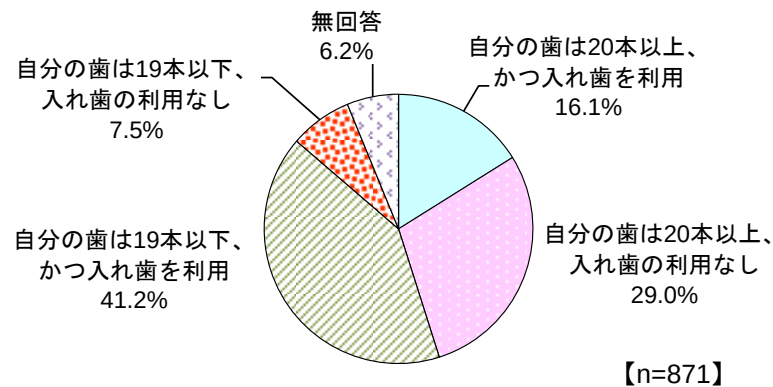
(5) 歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日していますか。(1つ)



歯磨きを毎日しているか尋ねたところ、「はい」が79.6%、「いいえ」が16.0%となっている。

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

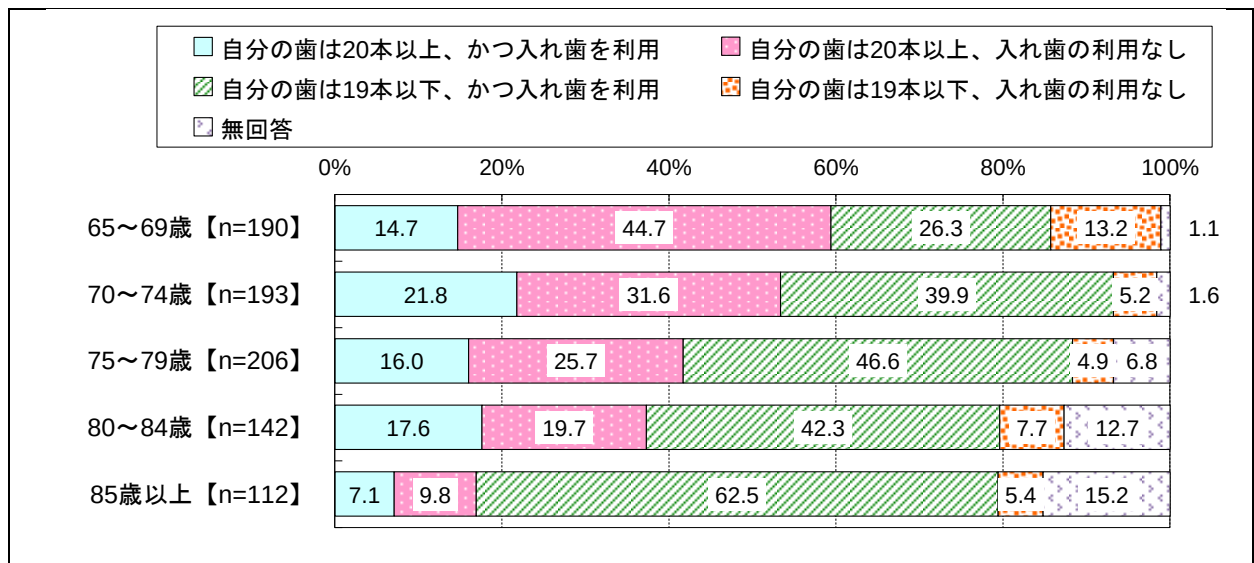
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つ)



歯の数と入れ歯の利用状況を尋ねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.2%で最も多く、以下、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が29.0%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.1%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が7.5%となっている。

したがって、『自分の歯は20本以上の人』は45.1%、『入れ歯を利用している人』は57.3%となっている。

《年齢別クロス集計》

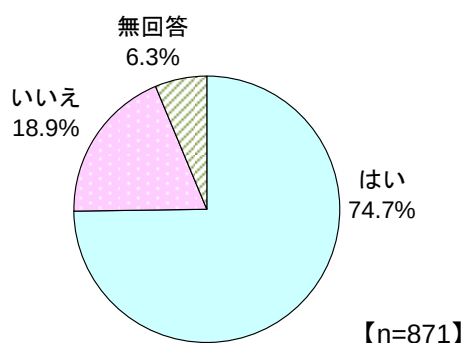


年齢別にみると、『自分の歯は20本以上の人』の割合は年齢が上がるにつれて低くなり、「85歳以上」では16.9%となっている。

また、『入れ歯を利用している人』の割合は年齢が上がるにつれて高くなり、「80～84歳以上」では59.9%、「85歳以上」では69.6%となっている。

(7) 噛み合わせ

(6) -① 噛み合わせは良いですか。(1つ)

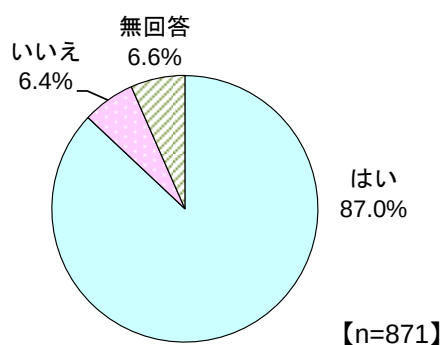


入れ歯をしていると回答した人に、噛み合わせは良いか尋ねたところ、「はい」が74.7%、「いいえ」が18.9%となっている。

(8) 入れ歯の手入れ

(6) -② (入れ歯を利用している方のみ)

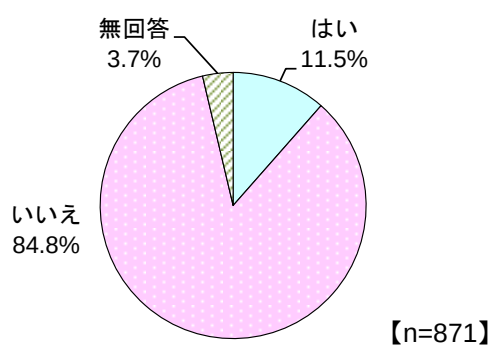
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つ)



入れ歯をしていると回答した人に、毎日入れ歯の手入れをしているか尋ねたところ、「はい」が87.0%、「いいえ」が6.4%となっている。

(9) 体重の減少

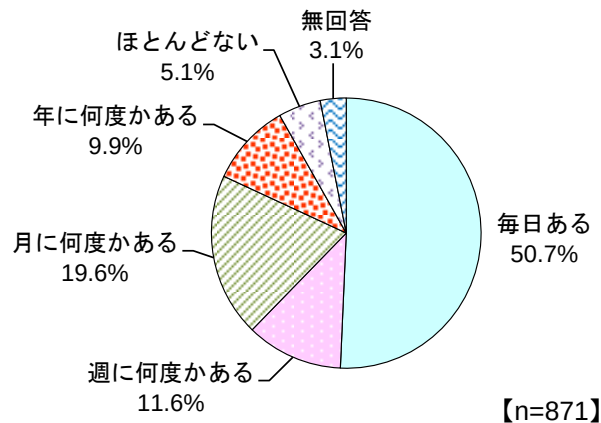
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つ)



6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか尋ねたところ、低栄養傾向のチェック該当となるの「はい」の割合は11.5%となっている。

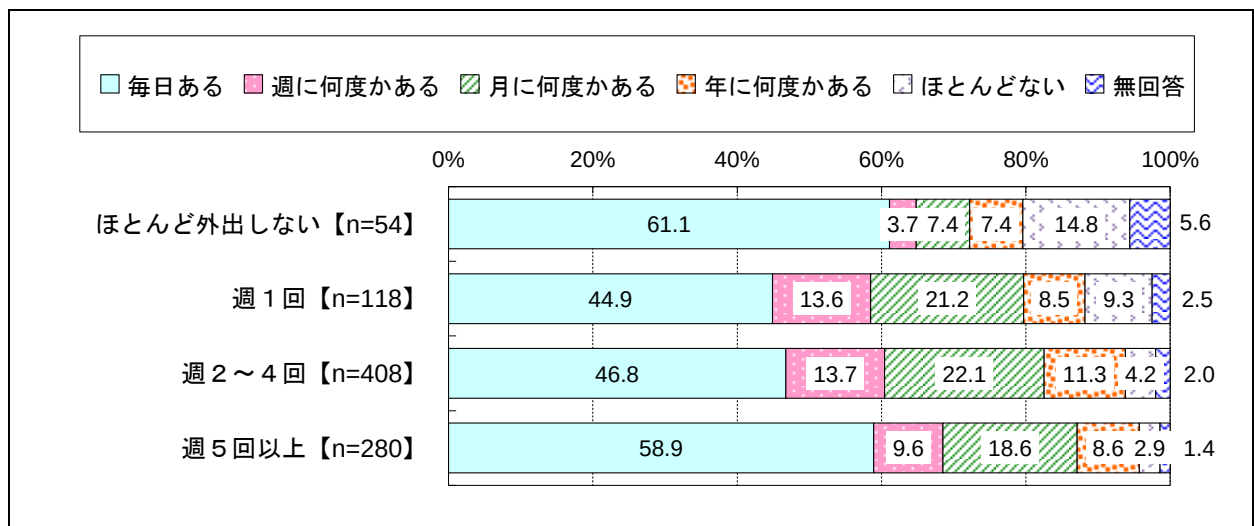
(10) 誰かと食事をする機会

(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか。(1つ)



自分一人だけでなく誰かと食事をともにする機会があるか尋ねたところ、「毎日ある」が50.7%で最も多く、次いで「月に何度かある」が19.6%が続いている。

《外出状況別クロス集計》

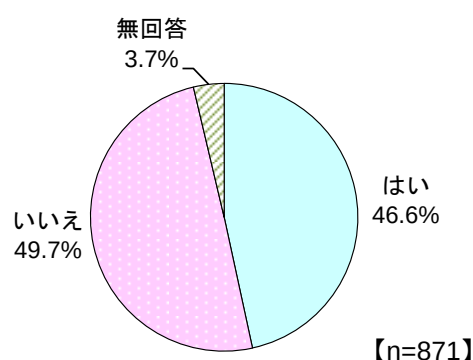


外出状況別にみると、「ほとんど外出しない」人は、誰かと食事をともにする機会が「ほとんどない」あるいは「年に何度かある」の回答割合が高くなっている。

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れがあるか

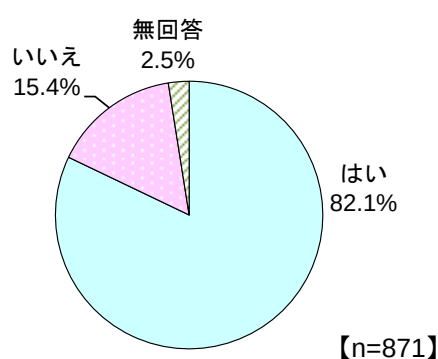
(1) 物忘れが多いと感じますか。(1つ)



物忘れが多いと感じるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は46.6%となっている。

(2) 電話をかけているか

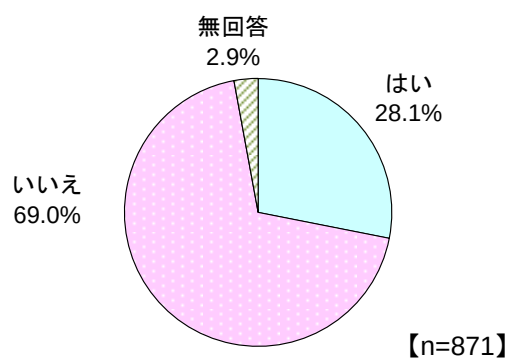
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つ)



自分で電話番号を調べて電話をかけているか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は15.4%となっている。

(3) 日にちがわからないことがあるか

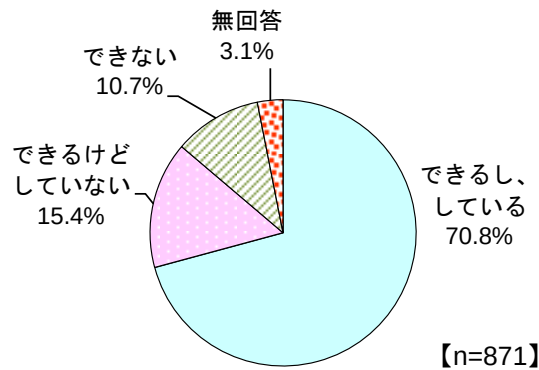
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つ)



今日が何月何日かわからない時があるか尋ねたところ、認知機能低下のチェック該当となる「はい」の割合は28.1%となっている。

(4) 一人での外出

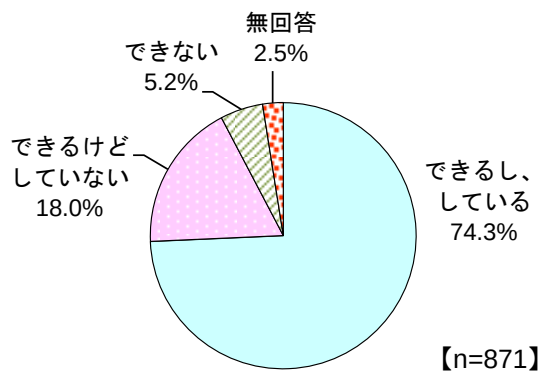
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つ）



バスや電車で一人で外出しているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は10.7%となっている。

(5) 食品・日用品の買い物

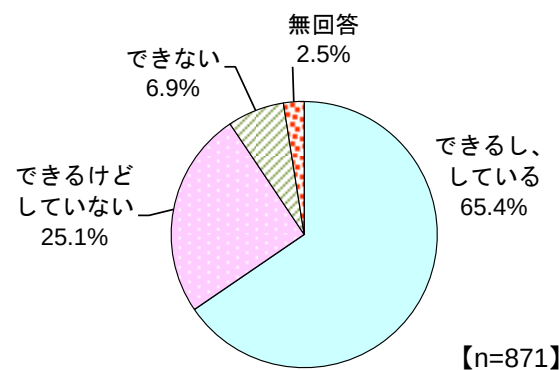
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（1つ）



自分で食品・日用品の買物をしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は5.2%となっている。

(6) 食事の用意

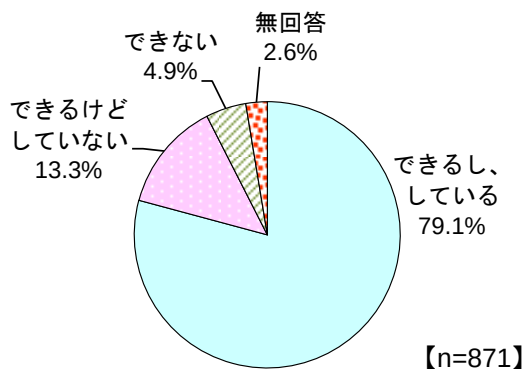
(6) 自分で食事の用意をしていますか。（1つ）



自分で食事の用意をしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は6.9%となっている。

(7) 請求書の支払い

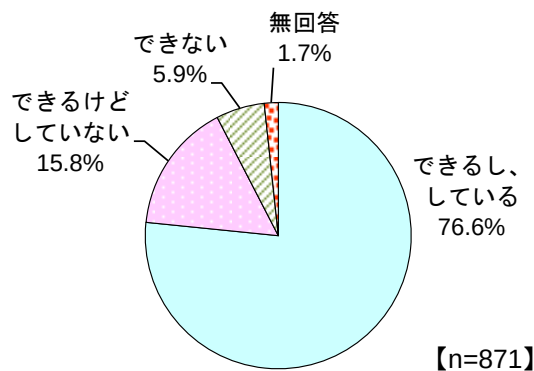
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つ)



自分で請求書の支払いをしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は4.9%となっている。

(8) 預貯金の出し入れ

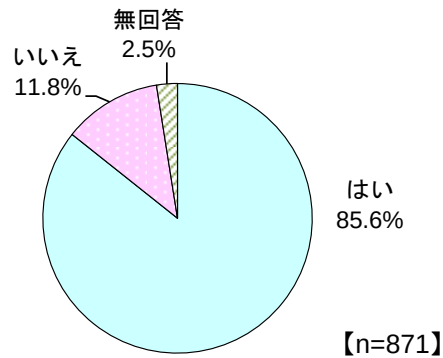
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つ)



自分で預貯金の出し入れをしているか尋ねたところ、IADL（手段的自立度）低下のチェック該当となる「できない」の割合は5.9%となっている。

(9) 年金などの書類が書けるか

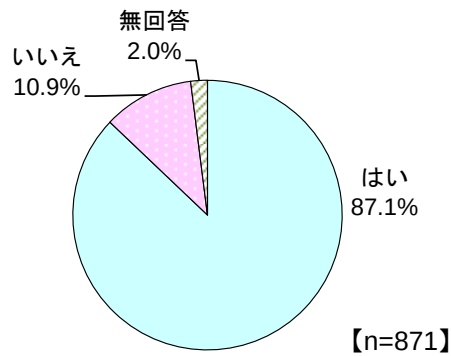
(9) 年金などの書類（役場や病院に出す書類）が書けますか。（1つ）



年金などの書類が書けるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は11.8%となっている。

(10) 新聞を読んでいるか

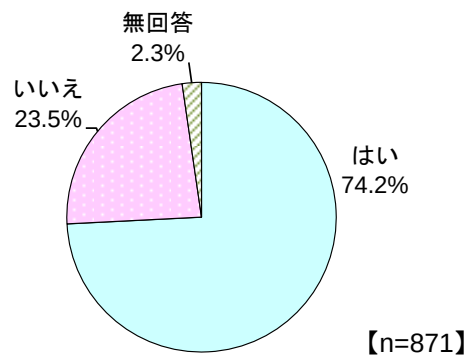
(10) 新聞を読んでいますか。（1つ）



新聞を読んでいるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は10.9%となっている。

(11) 本や雑誌を読んでいるか

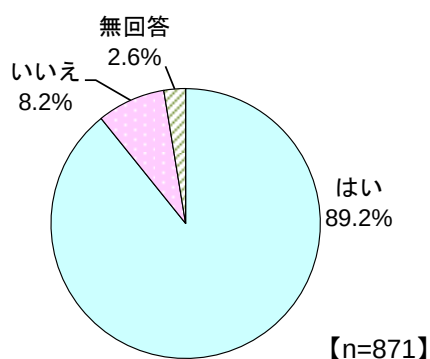
(11) 本や雑誌を読んでいますか。（1つ）



本や雑誌を読むか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は23.5%となっている。

(12) 健康についての記事や番組への関心

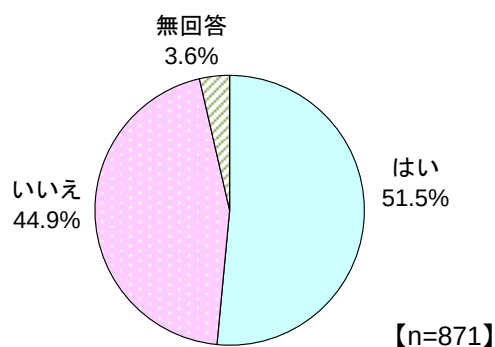
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つ)



健康についての記事や番組に関心があるか尋ねたところ、知的能動性低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は8.2%となっている。

(13) 友人宅への訪問

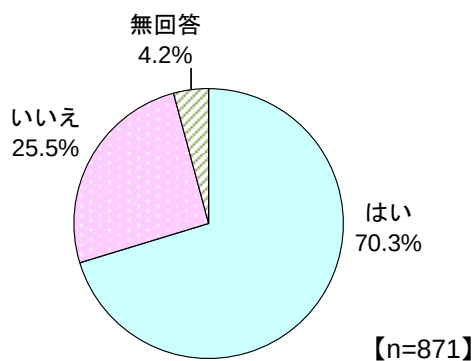
(13) 友人の家を訪ねていますか。(1つ)



友人宅を訪ねているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は44.9%となっている。

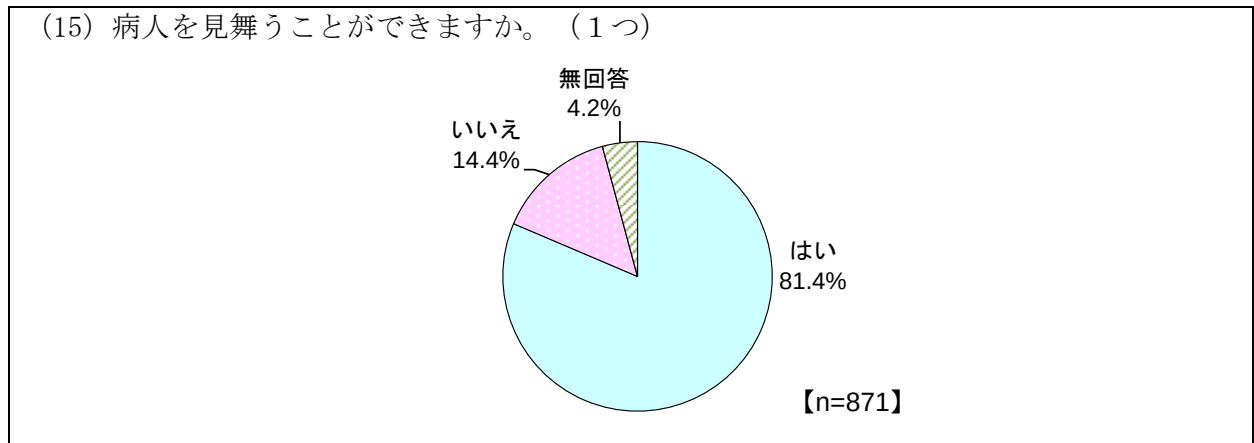
(14) 相談にのっているか

(14) 家族や友人の相談にのっていますか。(1つ)



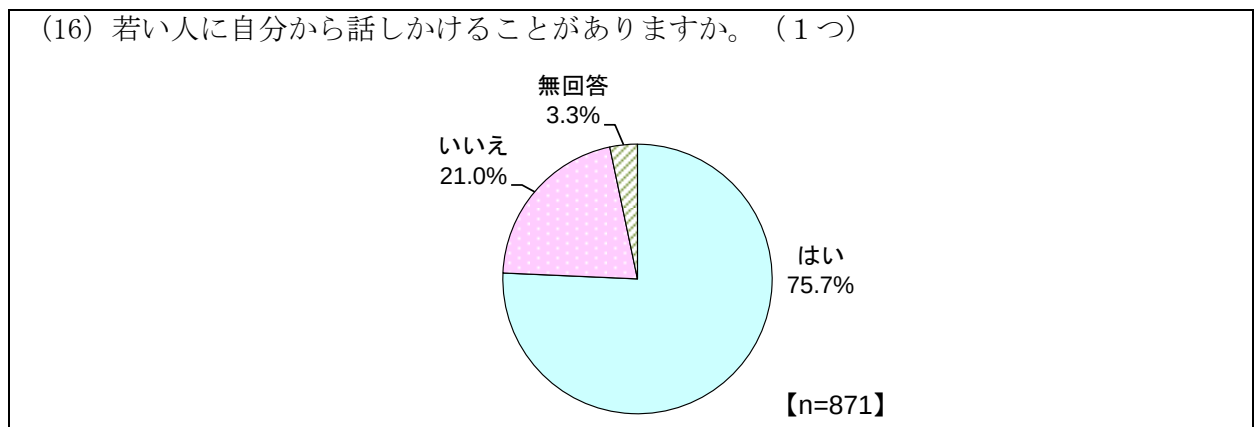
家族や友人の相談にのっているか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は25.5%となっている。

(15) 病人の見舞いができるか



病人の見舞いができるか尋ねたところ、社会的役割の低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は14.4%となっている。

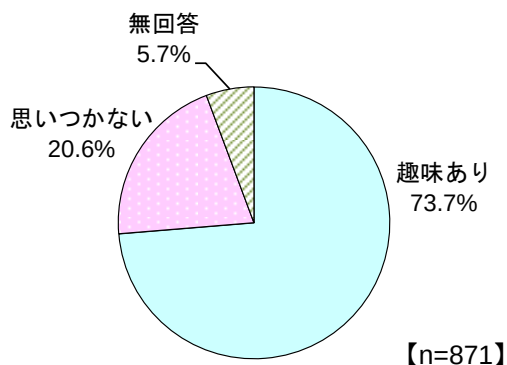
(16) 若い人への話しかけ



若い人に話しかけることがあるか尋ねたところ、社会的役割低下のチェック該当となる「いいえ」の割合は21.0%となっている。

(17) 趣味はあるか

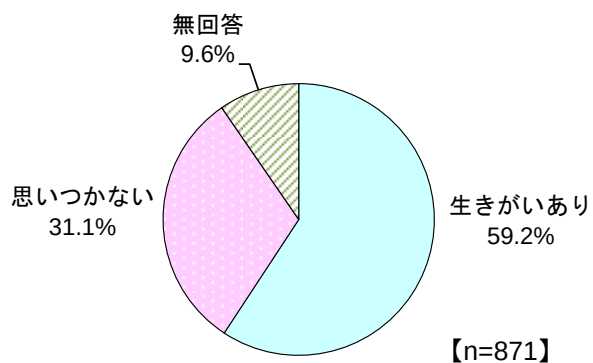
(17) 趣味はありますか。 (1つ)



趣味はあるか尋ねたところ、「趣味あり」が73.7%、「思いつかない」が20.6%となっている。

(18) 生きがいはあるか

(18) 生きがいがありますか。 (1つ)



生きがいはあるか尋ねたところ、「生きがいあり」が59.2%、「思いつかない」が31.1%となっている。

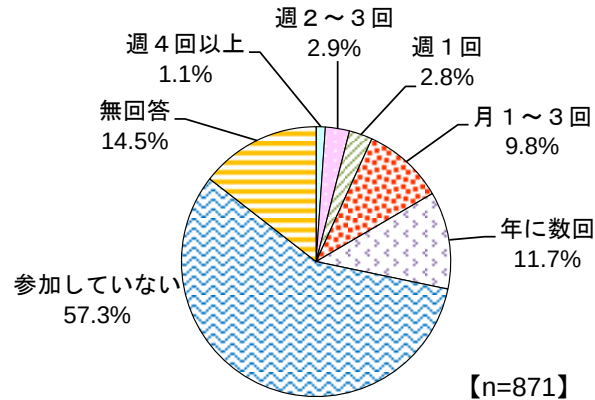
問5 地域での活動について

(1) 会・グループへの参加状況

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑦それぞれについて1つずつ)

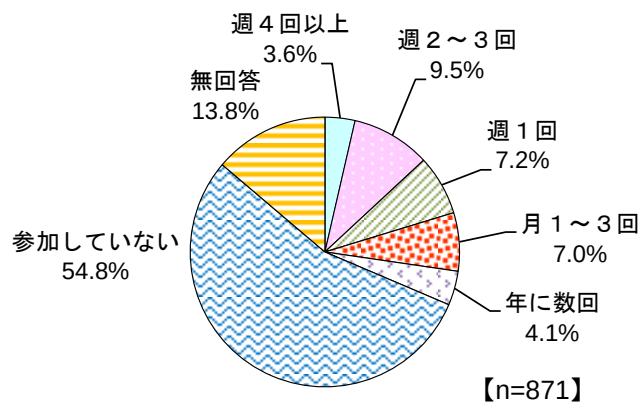
①ボランティアのグループ



ボランティアのグループについては、全体の28.3%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が11.7%で最も多くなっている。

一方、57.3%は「参加していない」と回答している。

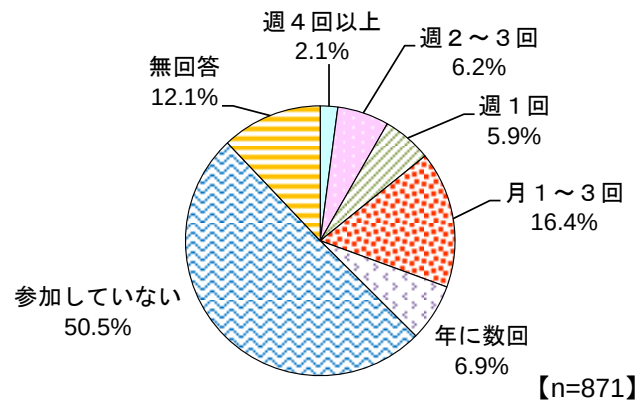
②スポーツ関係のグループやクラブ



スポーツ関係のグループやクラブについては、全体の31.4%が活動に参加しており、参加頻度としては「週2～3回」が9.5%で最も多くなっている。

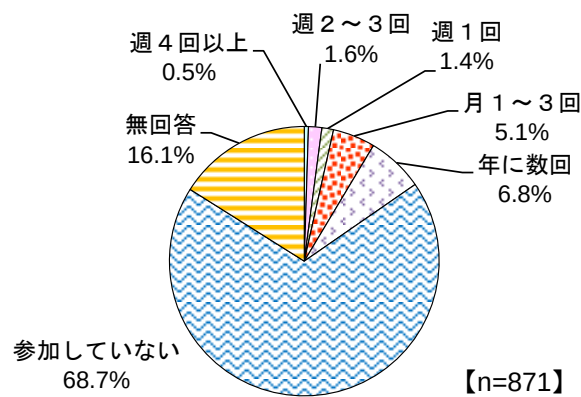
一方、54.8%は「参加していない」と回答している。

③趣味関係のグループ



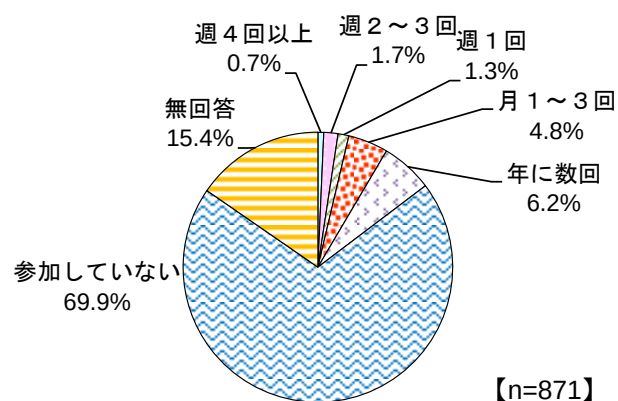
趣味関係のグループについては、全体の37.5%が活動に参加しており、参加頻度としては「月1～3回」が16.4%で最も多くなっている。
一方、50.5%は「参加していない」と回答している。

④学習・教養サークル



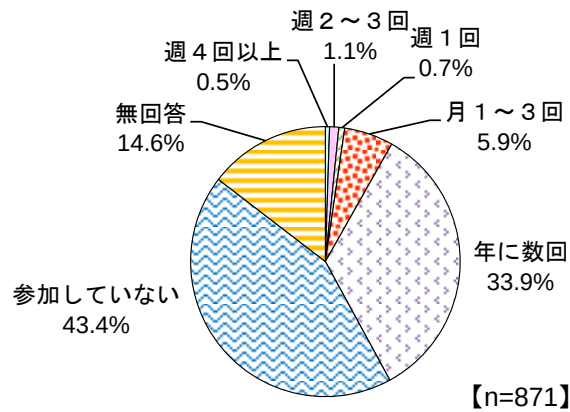
学習・教養サークルについては、全体の15.4%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が6.8%で最も多くなっている。
一方、68.7%は「参加していない」と回答している。

⑤老人クラブ



老人クラブへの参加頻度については、全体の14.7%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が6.2%で最も多くなっている。
一方、69.9%は「参加していない」と回答している。

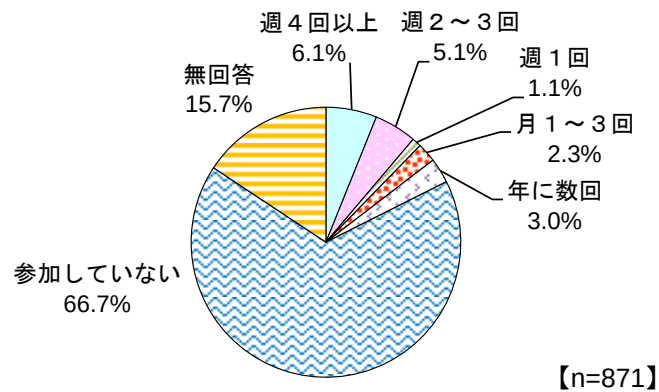
⑥町内会・自治会



町内会・自治会については、全体の42.1%が活動に参加しており、参加頻度としては「年に数回」が33.9%で最も多くなっている。

一方、43.4%は「参加していない」と回答している。

⑦収入のある仕事

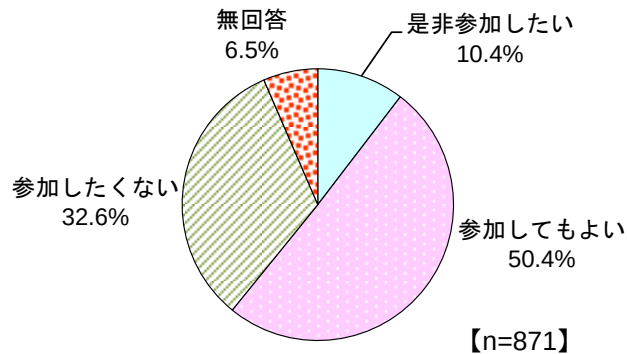


収入のある仕事については、全体の17.6%が従事しており、勤務頻度としては「週4回以上」が6.1%で最も多くなっている。

一方、66.7%は「参加していない」と回答している。

（２）地域活動への参加者としての参加希望

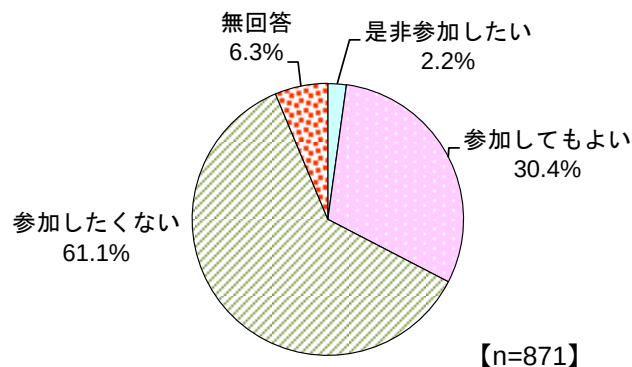
（２）地域住民の有志で、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（１つ）



地域住民による活動に参加者として参加してみたいかをたずねたところ、「参加してもよい」が50.4%で最も多く、以下、「参加したくない」が32.6%、「是非参加したい」が10.4%となっている。

（３）地域活動への企画・運営者としての参加希望

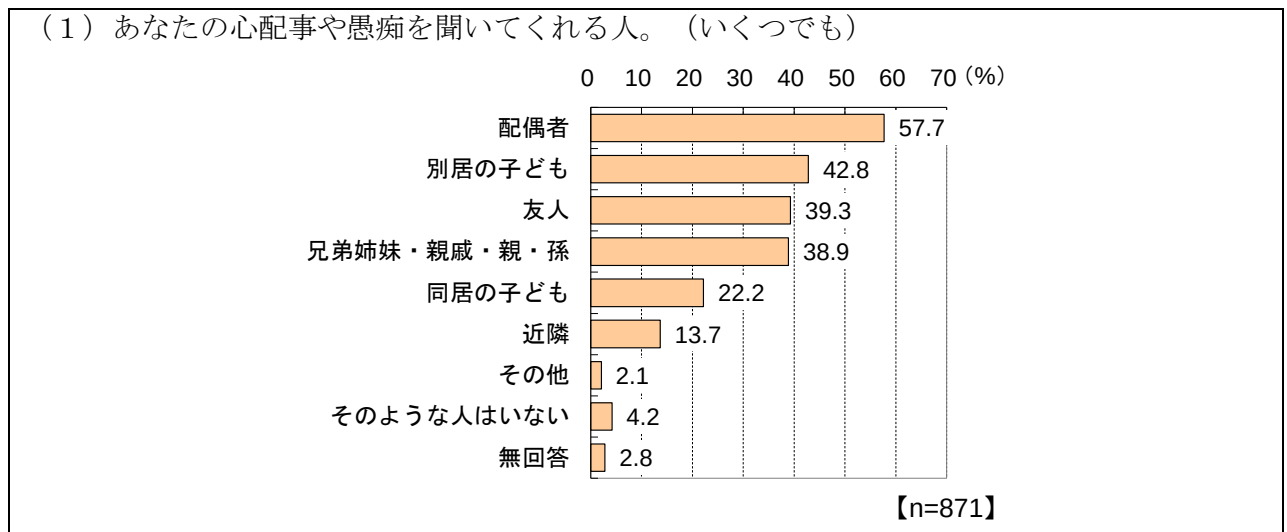
（３）地域住民の有志で、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（１つ）



地域住民による活動に企画・運営者として参加してみたいかをたずねたところ、「参加したくない」が61.1%で最も多く、以下、「参加してもよい」が30.4%、「是非参加したい」が2.2%となっている。

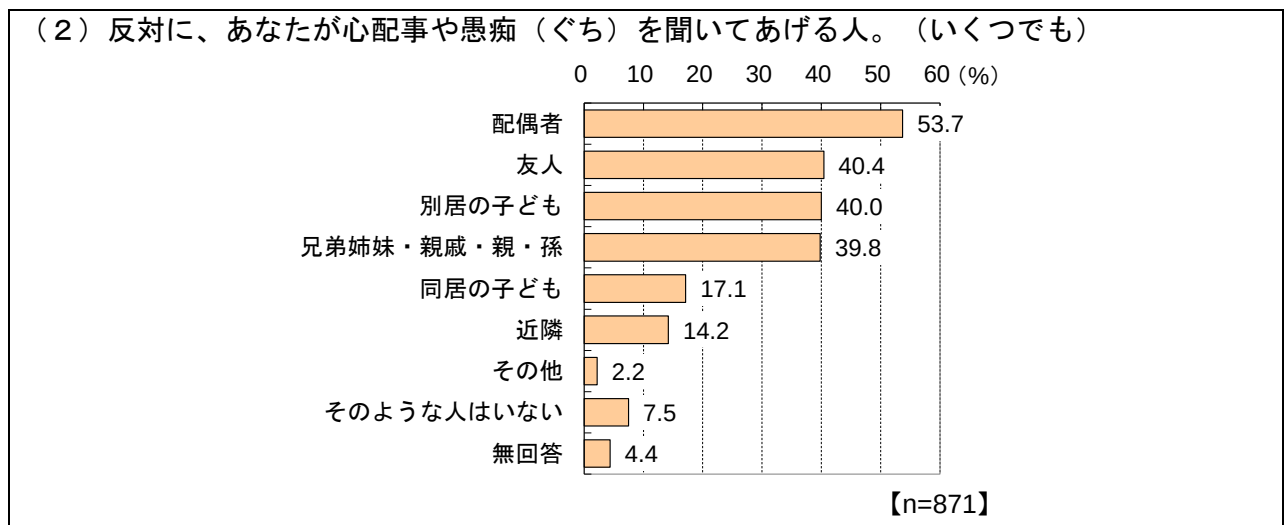
問6 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人



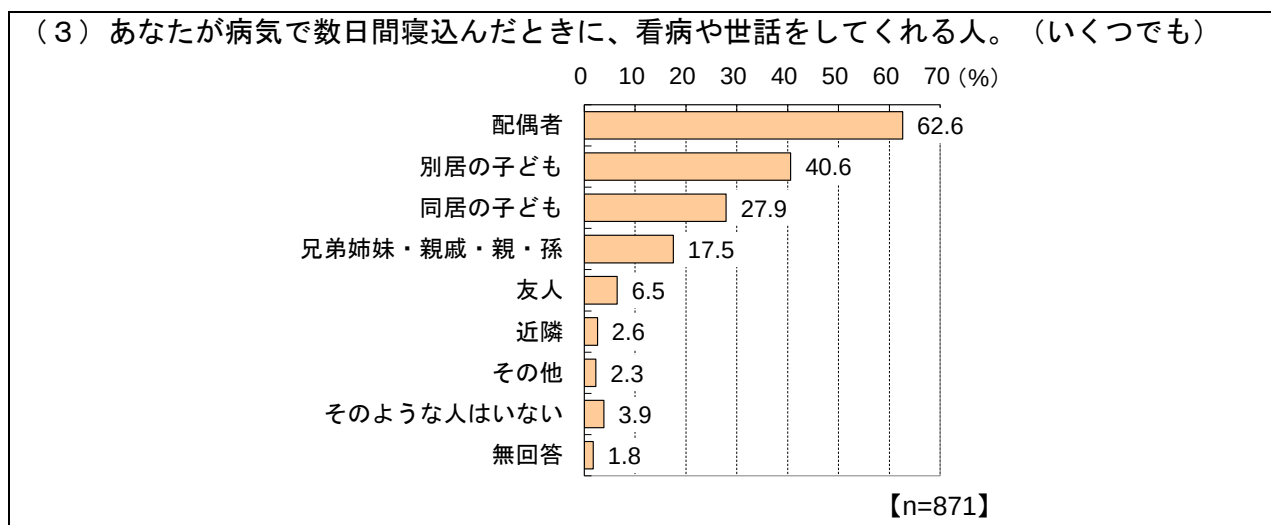
心配事や愚痴を聞いてくれる人を探ねたところ、「配偶者」が57.7%で最も多く、以下、「別居の子ども」が42.8%、「友人」が39.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が38.9%、「同居の子ども」が22.2%などの順となっている。

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人



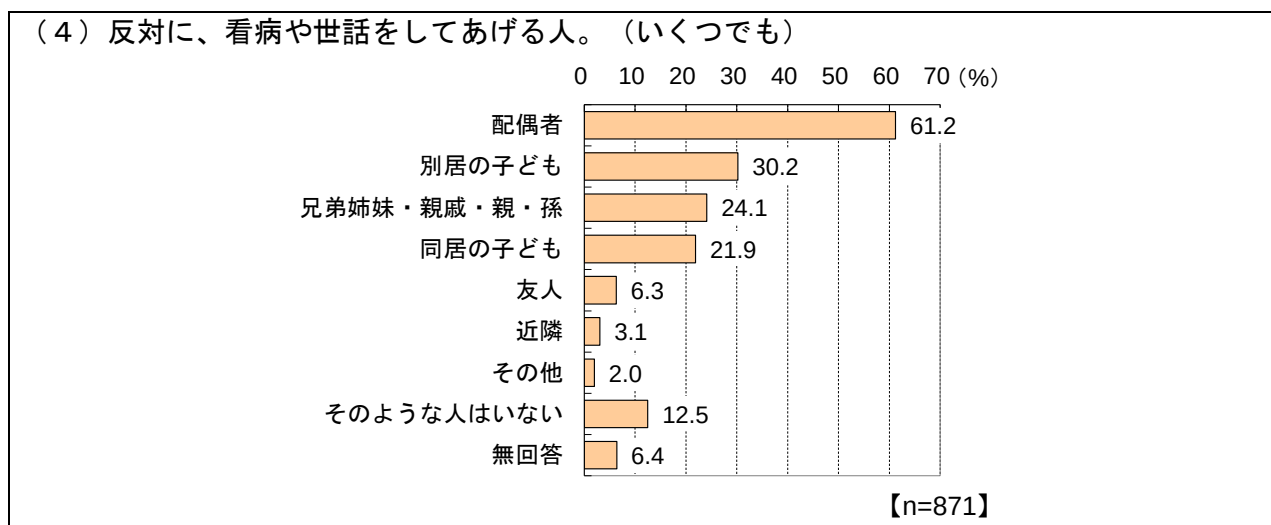
反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人を探ねたところ、「配偶者」が53.7%で最も多く、以下、「友人」が40.4%、「別居の子ども」が40.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が39.8%、「同居の子ども」が17.1%などとなっている。

(3) 看病や世話をしてくれる人



病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を尋ねたところ、「配偶者」が62.6%で最も多く、以下、「別居の子ども」が40.6%、「同居の子ども」が27.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が17.5%などとなっている。

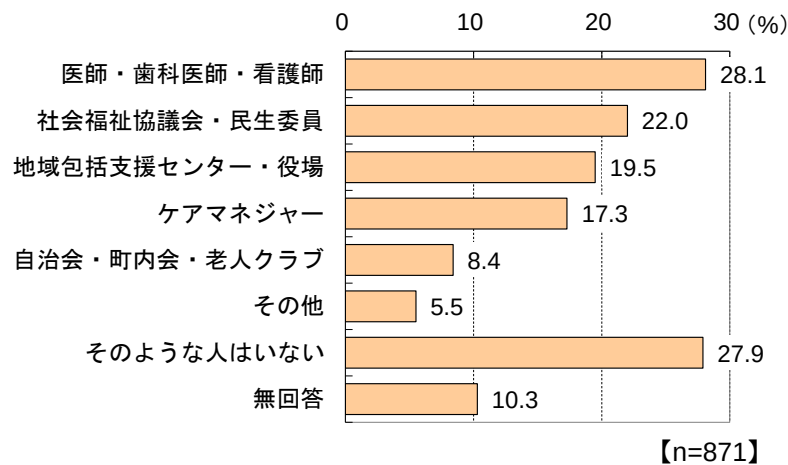
(4) 看病や世話をしてあげる人



反対に、看病や世話をしてあげる人を尋ねたところ、「配偶者」が61.2%で最も多く、以下、「別居の子ども」が30.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が24.1%、「同居の子ども」が21.9%などとなっている。

(5) 相談相手

(5) 家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

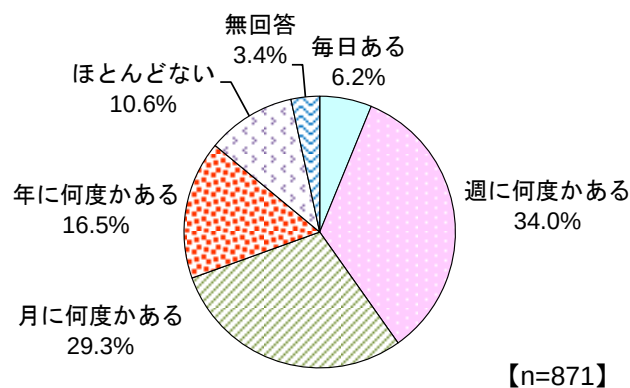


家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手を尋ねたところ、「医師・歯科医師・看護師」が28.1%で最も多く、以下、「社会福祉協議会・民生委員」が22.0%、「地域包括支援センター・役場」が19.5%、「ケアマネジャー」が17.3%、「自治会・町内会・老人クラブ」が8.4%などとなっている。

一方、27.9%は「そのような人はいない」と回答している。

(6) 友人・知人と会う頻度

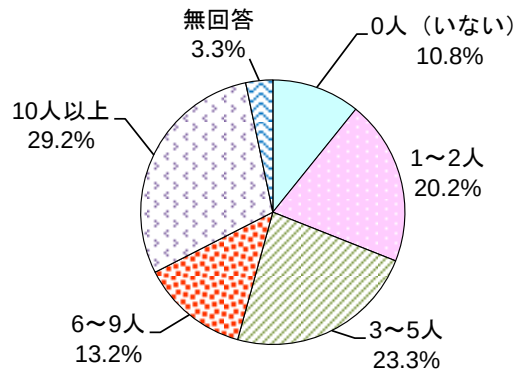
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つ)



友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が34.0%で最も多く、以下、「月に何度かある」が29.3%、「年に何度かある」が16.5%、「ほとんどない」が10.6%、「毎日ある」が6.2%となっている。

(7) 1か月間に会った友人・知人の数

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(1つ)
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

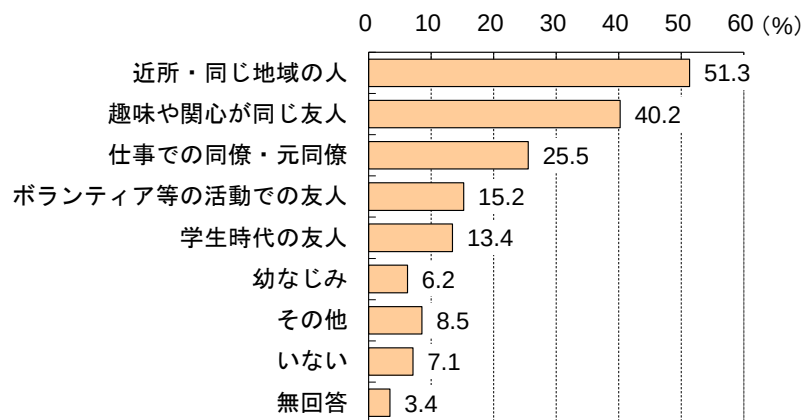


【n=871】

この1か月間、何人の友人・知人と会ったか尋ねたところ、「10人以上」が29.2%で最も多く、以下、「3～5人」が23.3%、「1～2人」が20.2%、「6～9人」が13.2%、「0人 (いない)」が10.8%となっている。

(8) よく会う友人・知人との関係

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)



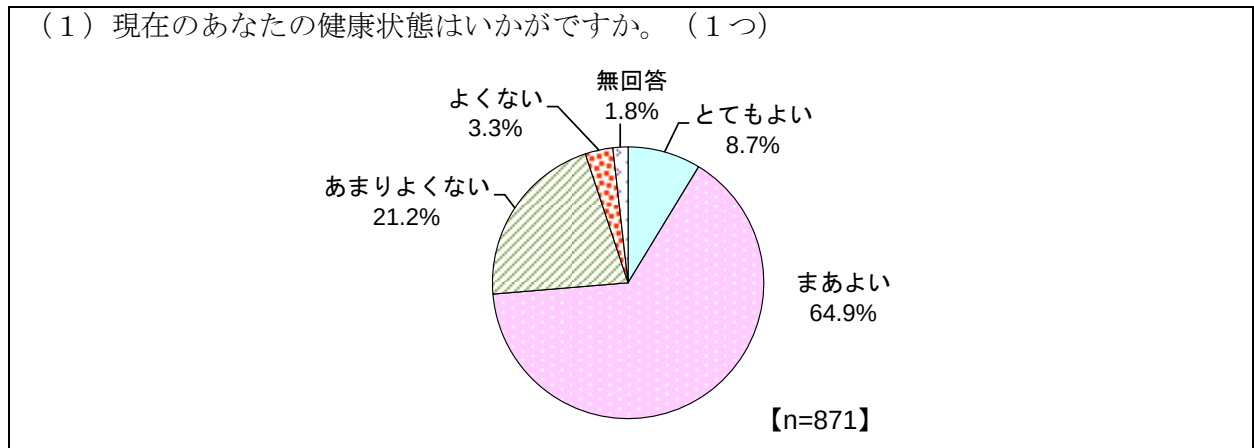
【n=871】

よく会う友人・知人はどのような関係の人か尋ねたところ、「近所・同じ地域の人」が51.3%で最も多く、以下、「趣味や関心が同じ友人」が40.2%、「仕事での同僚・元同僚」が25.5%、「ボランティア等の活動での友人」が15.2%、「学生時代の友人」が13.4%、「幼なじみ」が6.2%などとなっている。

一方、7.1%は「いない」と回答している。

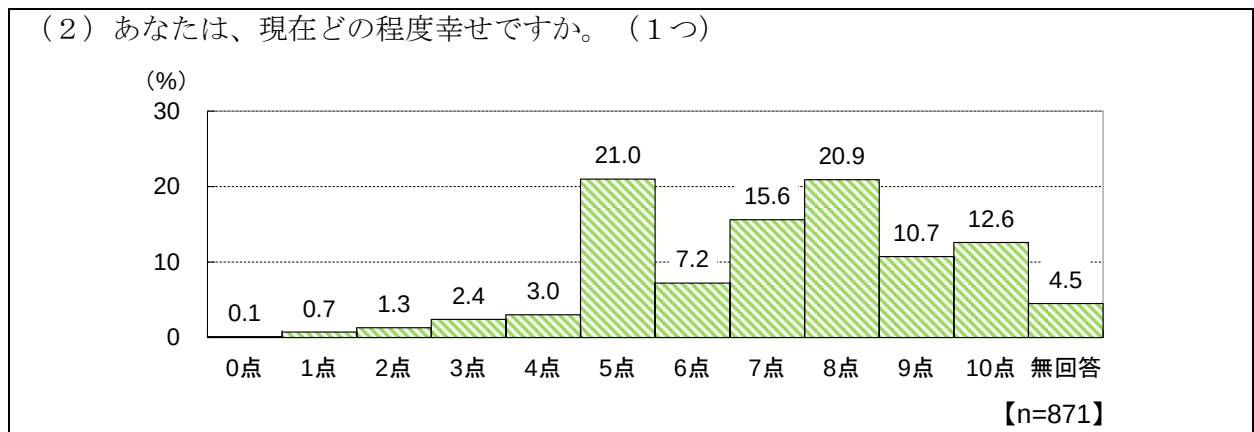
問7 健康について

(1) 主観的健康感



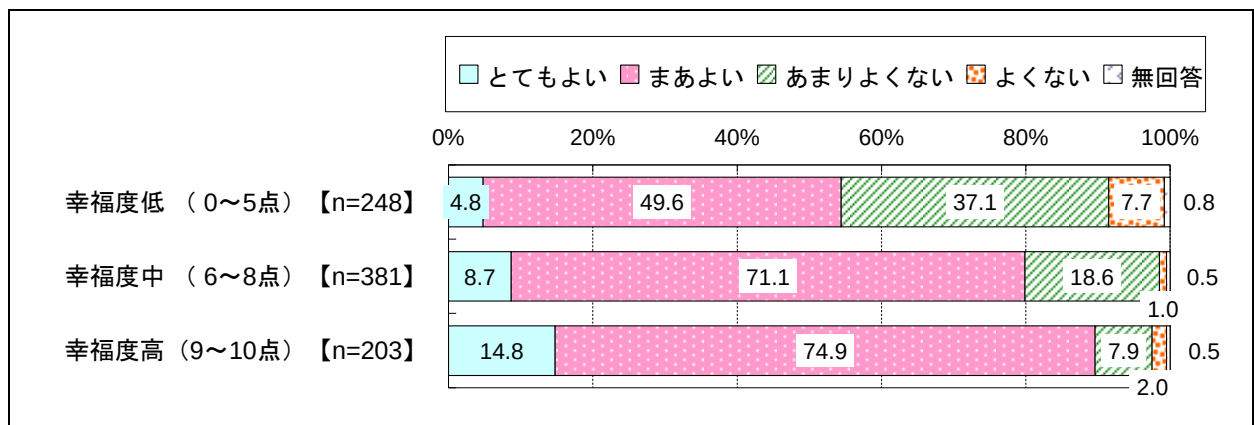
現在の健康状態を尋ねたところ、「まあよい」が64.9%で最も多く、以下、「あまりよくない」が21.2%、「とてもよい」が8.7%、「よくない」が3.3%となっている。

(2) 主観的幸福感



現在、どの程度幸せかを点数で尋ねたところ、「5点」(21.0%)、「8点」(20.9%)、「7点」(15.6%)などが多くなっている。

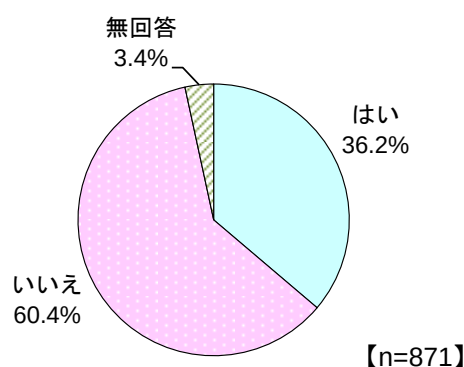
《健康感×幸福感クロス集計》



幸福度別に主観的健康感をみると、幸福度が高いほど主観的健康感もよくなっている。

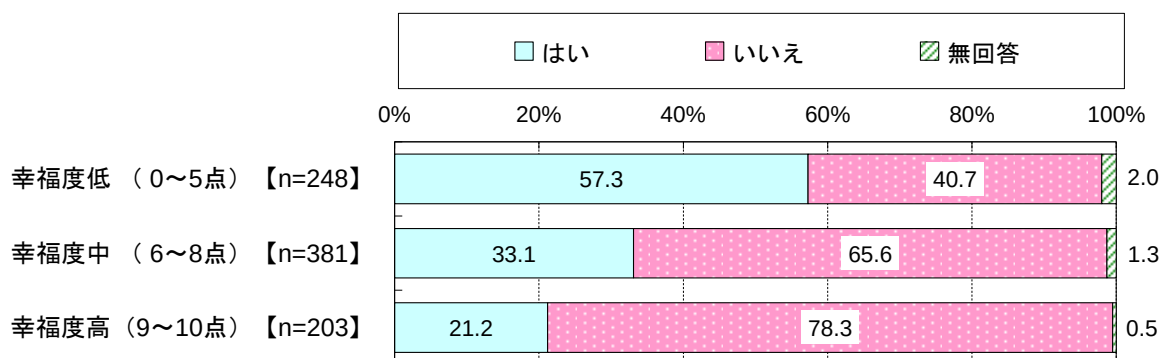
(3) 最近 1 か月間の気分の状態

(3) この 1 か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つ)



気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は36.2%となっている。

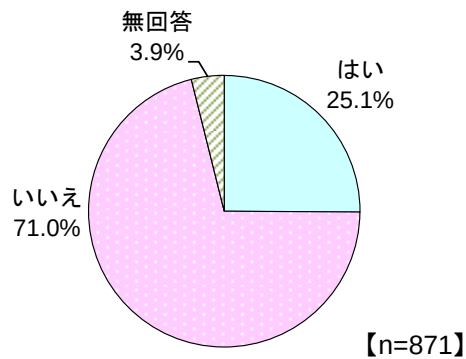
《幸福度別クロス集計》



幸福度別にみると、幸福度が高いほど、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合が低くなっている。

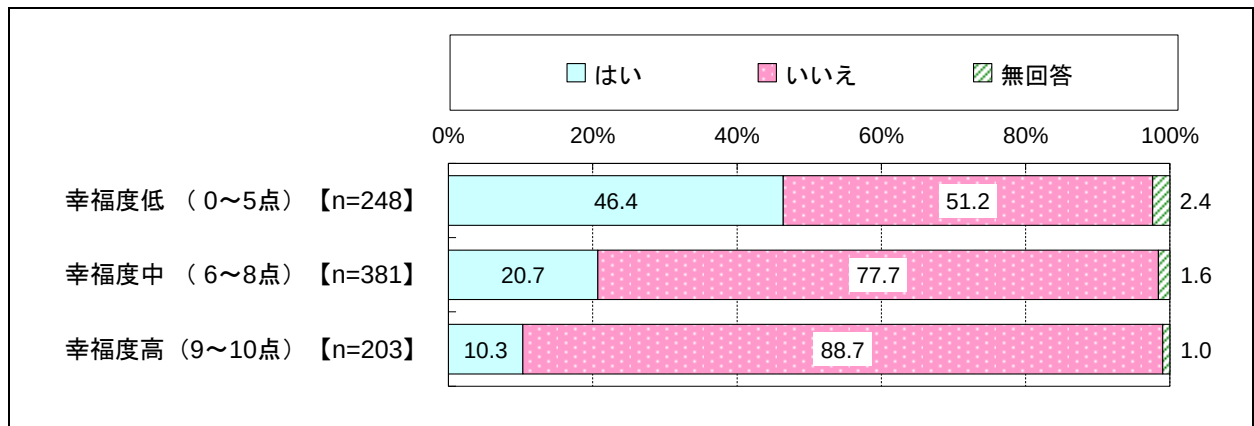
(4) 最近1か月の物事に対する心の状態

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つ)



物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか尋ねたところ、うつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合は25.1%となっている。

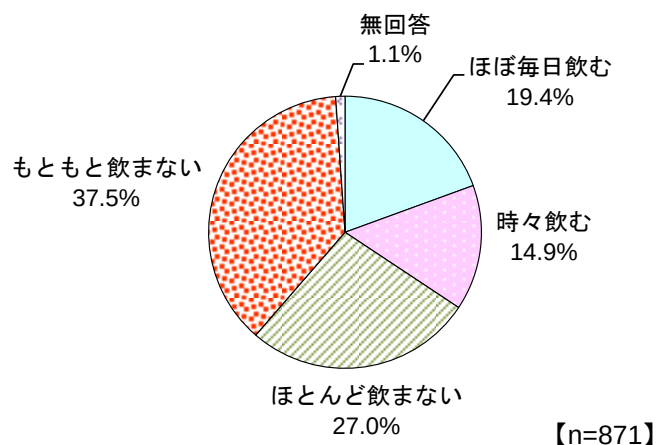
《幸福度別クロス集計》



幸福度別にみると、幸福度が高いほどうつ傾向のチェック該当となる「はい」の割合が低くなっている。

(5) 飲酒の状況

(5) お酒は飲みますか。(1つ)

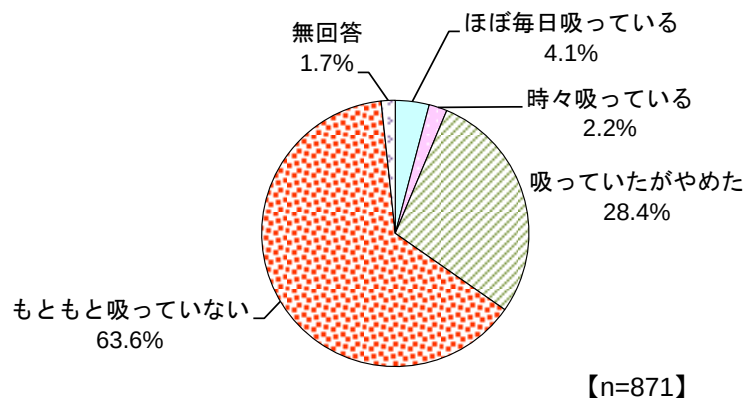


飲酒については、「もともと飲まない」が37.5%で最も多く、以下、「ほとんど飲まない」が27.0%、「ほぼ毎日飲む」が19.4%、「時々飲む」が14.9%となっている。

したがって、『飲酒する人の割合』（「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計）は34.3%であることが分かる。

(6) 喫煙の状況

(6) タバコは吸っていますか。(1つ)

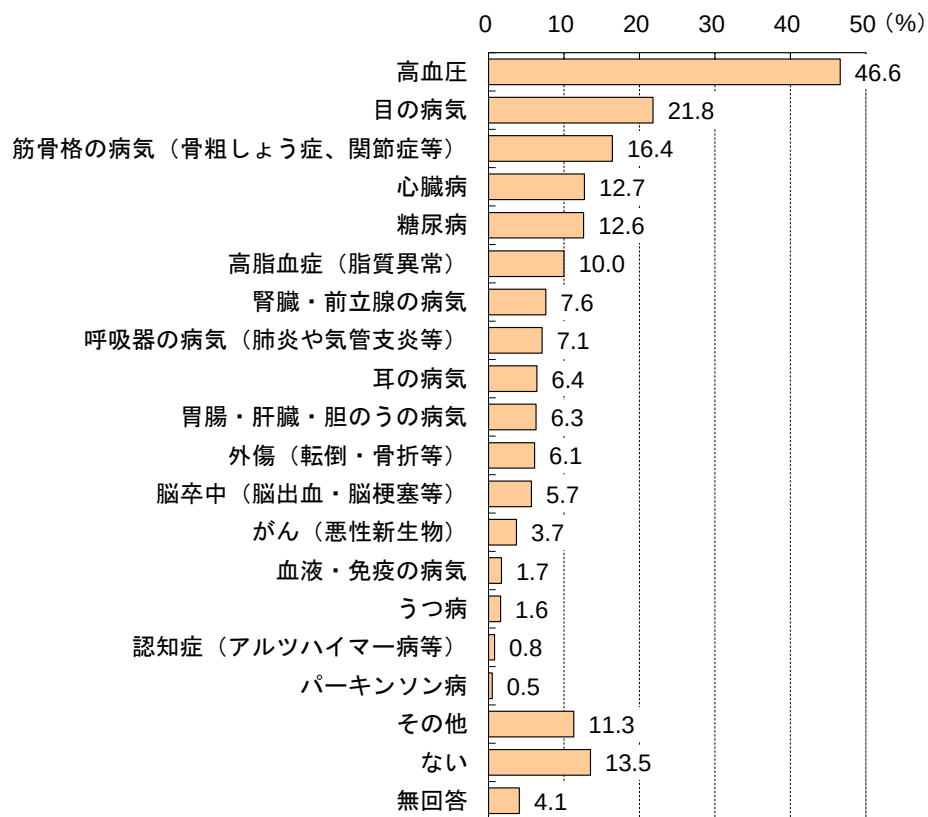


喫煙については、「もともと吸っていない」が63.6%と過半数を占めて最も多く、以下、「吸っていたがやめた」が28.4%、「ほぼ毎日吸っている」が4.1%、「時々吸っている」が2.2%となっている。

したがって、『喫煙者の割合』（「ほぼ毎日吸っている」及び「時々吸っている」の合計）は6.3%であることが分かる。

(7) 治療中の病気

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)



【n=871】

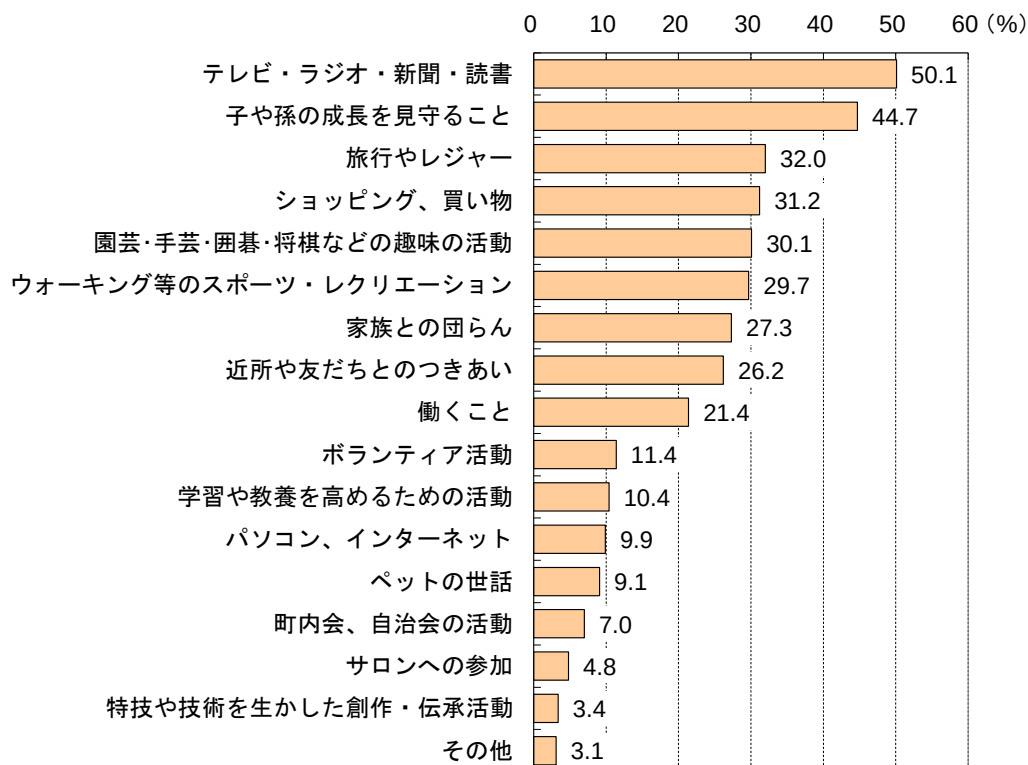
現在治療中もしくは後遺症のある病気は、「高血圧」が46.6%で最も多く、以下、「目の病気」(21.8%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(16.4%)、「心臓病」(12.7%)、「糖尿病」(12.6%)、「高脂血症(脂質異常)」(10.0%)、「腎臓・前立腺の病気」(7.6%)、「呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)」(7.1%)などが多く挙げられている。

なお、13.5%は「ない」と回答している。

問 8 生きがいきり・介護予防について

(1) 充実感や生きがいを感じるこ

(1) あなたは、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じますか。
(いくつでも)

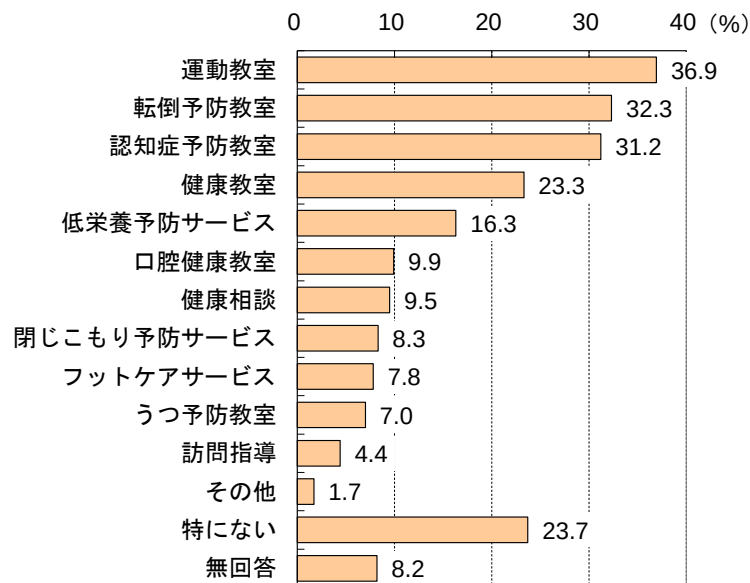


【n=871】

充実感や生きがいを感じることを尋ねたところ、「テレビ・ラジオ・新聞・読書」が50.1%で最も多く、以下、「子や孫の成長を見守ること」が44.7%、「旅行やレジャー」が32.0%、「ショッピング、買い物」が31.2%、「園芸・手芸・囲碁・将棋などの趣味の活動」が30.1%、「ウォーキング等のスポーツ・レクリエーション」が29.7%、「家族との団らん」が27.3%、「近所や友だちとのつきあい」が26.2%などとなっている。

(2) 介護予防教室で利用したいと思うもの

(2) 介護が必要な状態になることを予防するための教室や講座などのうち、あなたが実際に利用したいと思うものはありますか。(いくつでも)



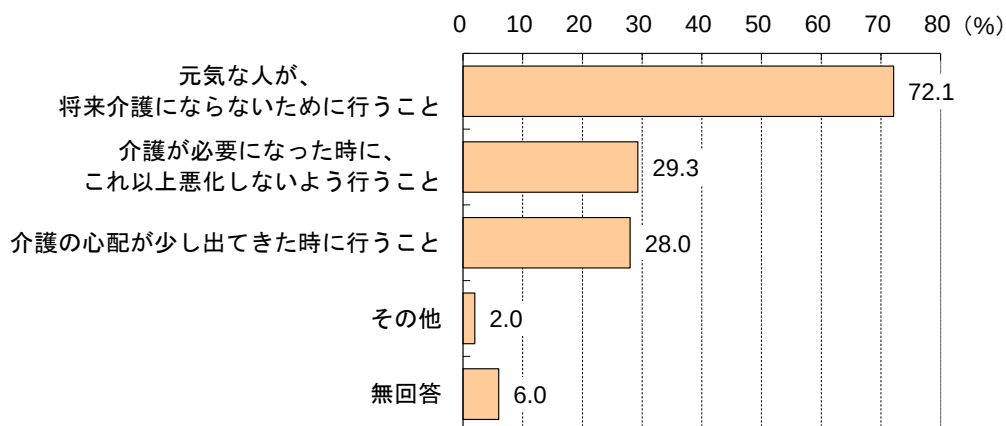
【n=871】

介護予防教室や講座で実際に利用したいと思うものを尋ねたところ、「運動教室」(36.9%)、「転倒予防教室」(32.3%)、「認知症予防教室」(31.2%)が特に多く挙げられている。以下、「健康教室」が23.3%、「低栄養予防サービス」が16.3%、「口腔健康教室」が9.9%などと続いている。

なお、23.7%は「特になし」と回答している。

(3) 介護予防のイメージ

(3) あなたは「介護予防」について、どのようなイメージがありますか。(いくつでも)

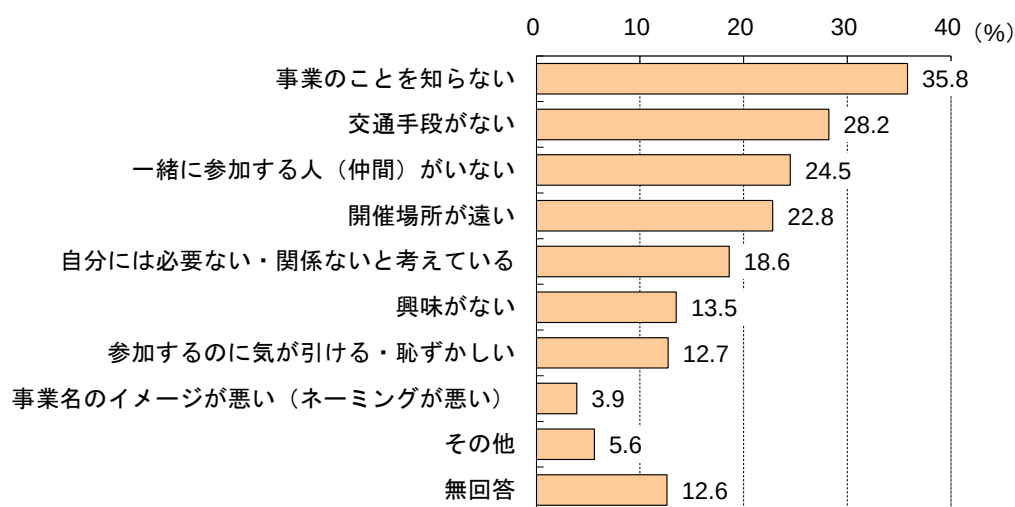


【n=871】

「介護予防」のイメージについて尋ねたところ、「元気な人が、将来介護にならないために行うこと」が72.1%で最も多く挙げられている。以下、「介護が必要になった時に、これ以上悪化しないよう行うこと」29.3%、「介護の心配が少し出てきた時に行うこと」が28.0%となっている。

(4) 介護予防事業に参加する上での妨げ

(4) 高齢者が介護予防事業に参加する上での妨げやネックになることは何だと思いますか。(いくつでも)

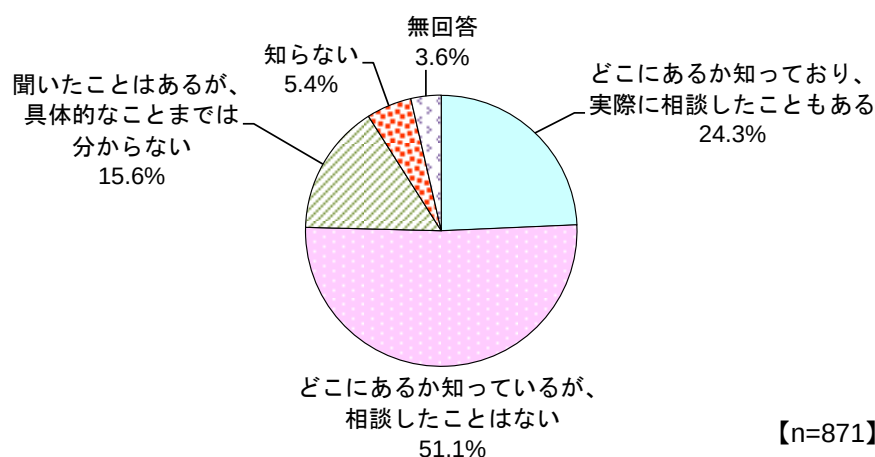


【n=871】

高齢者が介護予防事業に参加する上での妨げや障害になることを尋ねたところ、「事業のことを知らない」が35.8%で最も多く、以下、「交通手段がない」が28.2%、「一緒に参加する人(仲間)がいない」が24.5%、「開催場所が遠い」が22.8%、「自分には必要ない・関係ないと考えている」が18.6%、「興味がない」が13.5%などとなっている。

(5) 地域包括支援センター(なごみ)の認知状況

(5) あなたは「地域包括支援センター(なごみ)」を知っていますか。(1つ)



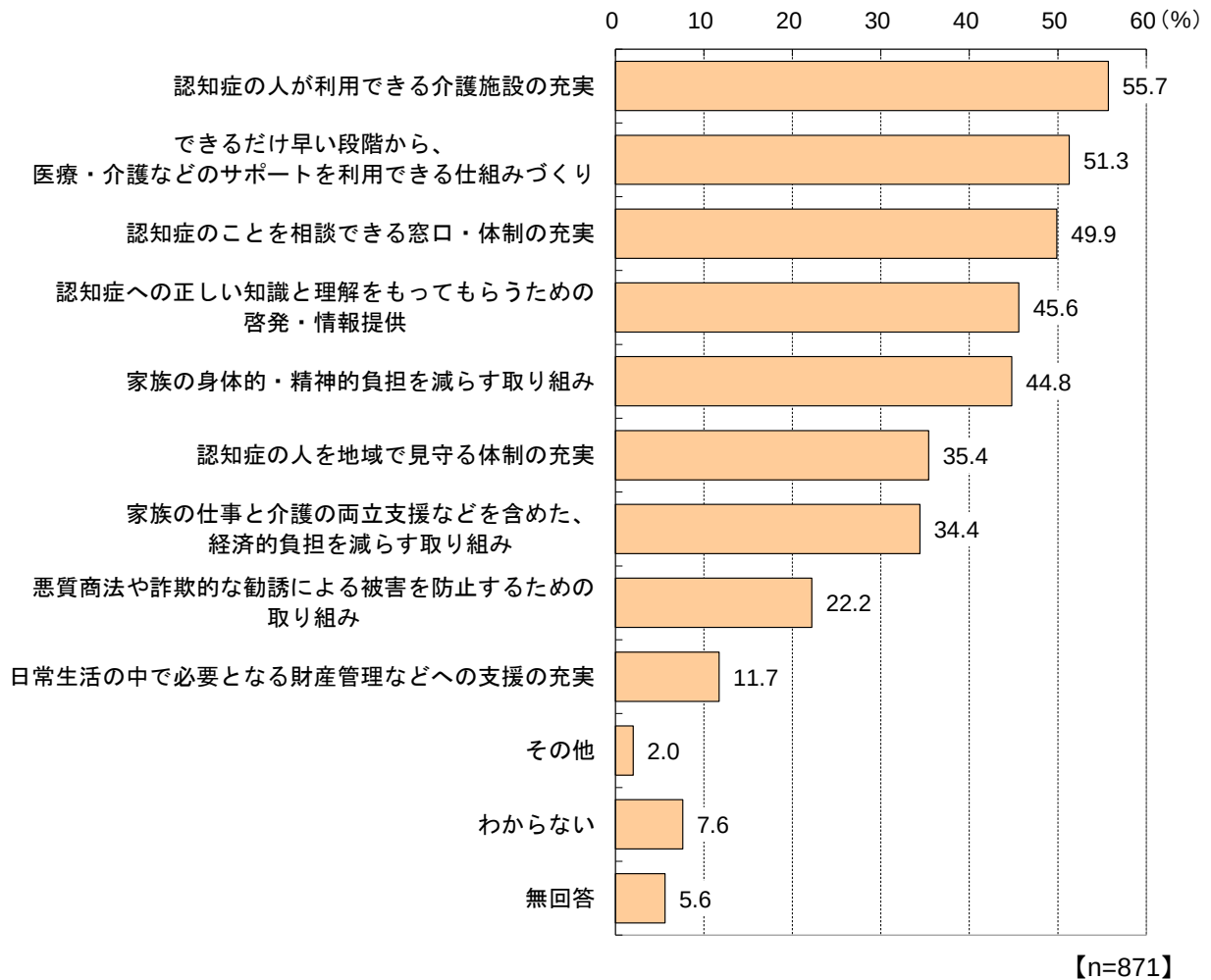
【n=871】

地域包括支援センター(なごみ)の認知状況については、「どこにあるか知っているが、相談したことはない」が51.1%で最も多く、「どこにあるか知っており、実際に相談したこともある」が24.3%、「聞いたことはあるが、具体的なことは分からない」が15.6%、「知らない」が5.4%となっている。

問9 認知症について

(1) 村が重点を置くべき認知症への取り組み

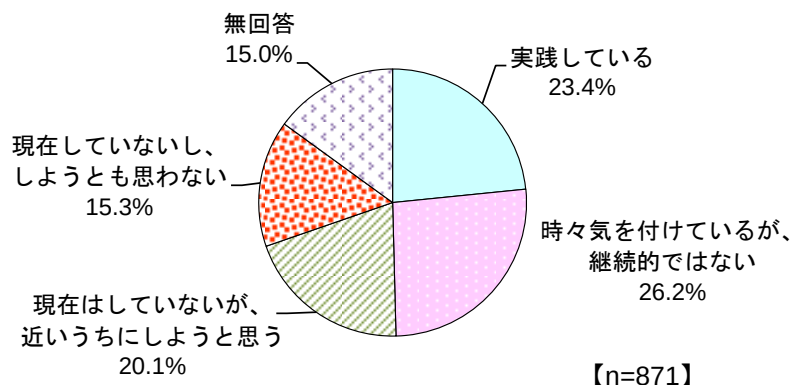
(1) 認知症の人は、2025年には約700万人と見込まれています。今後、増加する認知症の人への取り組みとして、村ではどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。
(いくつでも)



村が重点を置くべき認知症への取り組みを尋ねたところ、「認知症の人が利用できる介護施設の充実」が55.7%で最も多く、以下、「できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり」(51.3%)、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」(49.9%)、「認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供」(45.6%)、「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」(44.8%)などが多く挙げられている。

(2) 認知症予防のための取り組み

(2) あなたは認知症予防のために、具体的な取り組みを実践していますか。(1つ)

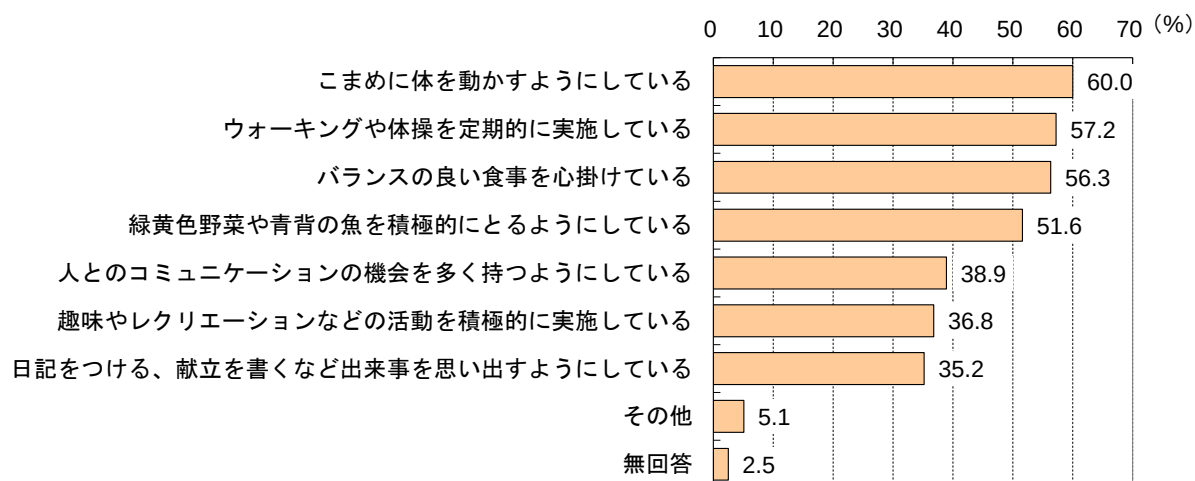


認知症予防のための取り組みについて尋ねたところ、「時々気を付けているが、継続的ではない」が26.2%で最も多く、「実践している」が23.4%、「現在はないが、近いうちにしようと思う」が20.1%、「現在していないし、しようとも思わない」が15.3%となっている。したがって、『認知症予防の取り組みをしている人の割合』（「実践している」及び「時々気を付けているが、継続的ではない」の合計）は49.6%であることが分かる。

(3) 具体的な実践内容

(2) -① (実践している方のみ)

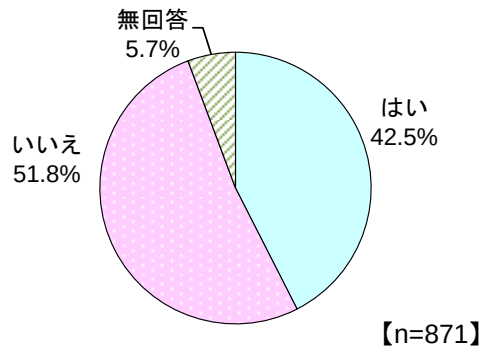
どのようなことを実践していますか。(いくつでも)



認知症予防のための取り組みを実践していると回答した人に、具体的な実践内容を尋ねたところ、「こまめに体を動かすようにしている」(60.0%)、「ウォーキングや体操を定期的の実施している」(57.2%)、「バランスの良い食事を心掛けている」(56.3%)、「緑黄色野菜や青背の魚を積極的にとるようにしている」(51.6%)などが多く挙げられている。

(4) 地域包括支援センターで認知症相談を受けられること

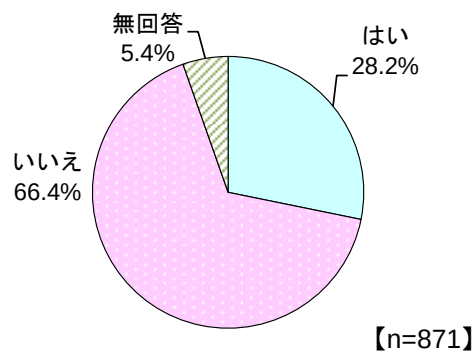
(3) 認知症について、地域包括支援センター（なごみ）で相談を受けられることをご存じですか。（1つ）



認知症について地域包括支援センター（なごみ）で相談が受けられることを知っているかを尋ねたところ、「はい」が42.5%、「いいえ」が51.8%となっている。

(5) 東海村が実施している認知症予防教室について

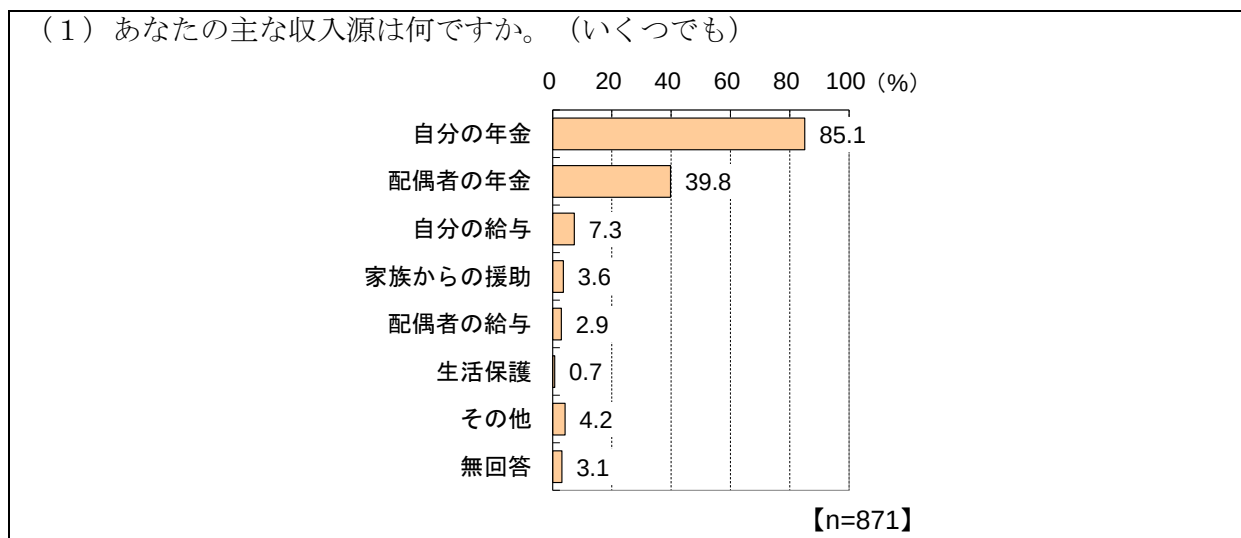
(4) 現在、一般の高齢者向けに東海村が行っている認知症予防教室をご存じですか。（1つ）



東海村が実施している認知症予防教室を知っているか尋ねたところ、「はい」が28.2%、「いいえ」が66.4%で「いいえ」が過半数を占めている。

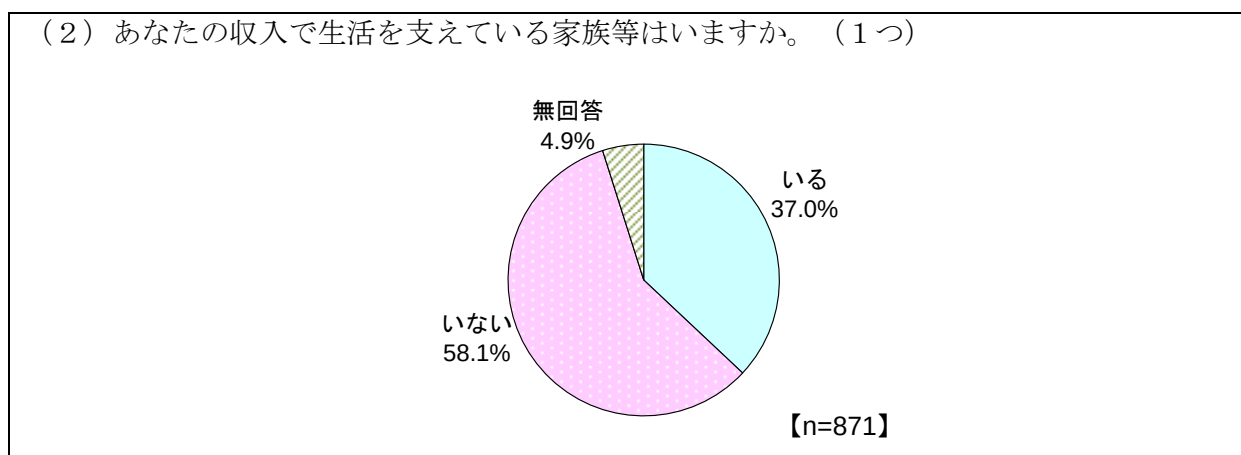
問10 今後の暮らしや将来の介護について

(1) 主な収入源



主な収入源については、「自分の年金」が85.1%と最も多くなっている。次いで、「配偶者の年金」が39.8%、「自分の給与」が7.3%、「家族からの援助」が3.6%などと続いている。

(2) 生活を支えている家族の有無

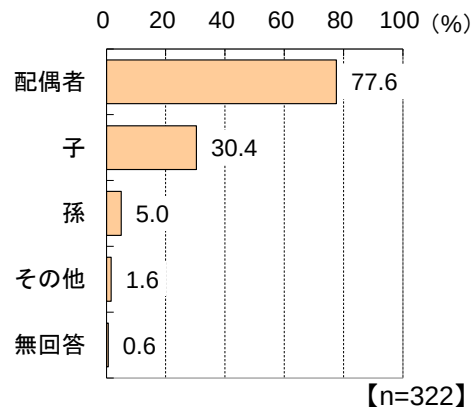


自身の収入で生活を支えている家族がいるかを尋ねたところ、「いる」が37.0%、「いない」が58.1%で、「いない」が過半数を占めている。

(3) 支えている家族

(2) -① 生活を支えている家族がいる方

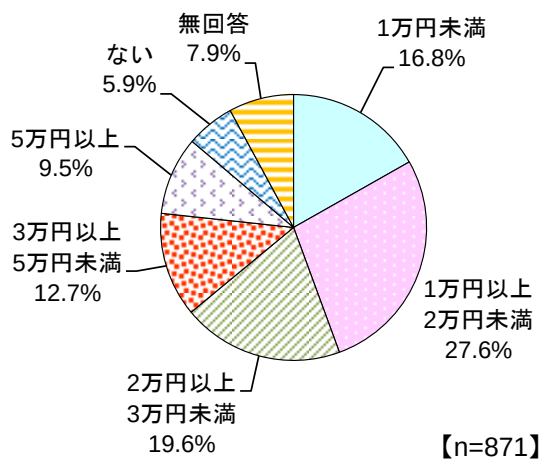
支えている家族とは誰ですか。(いくつでも)



自身の収入で生活を支えている家族がいると回答した人に、その家族を尋ねたところ、「配偶者」が77.6%で大半を占めている。以下、「子」が30.4%、「孫」が5.0%となっている。

(4) 自由に使えるお金は1か月いくら

(3) あなたが余暇等で自由に使えるお金は1か月いくらありますか。(1つ)

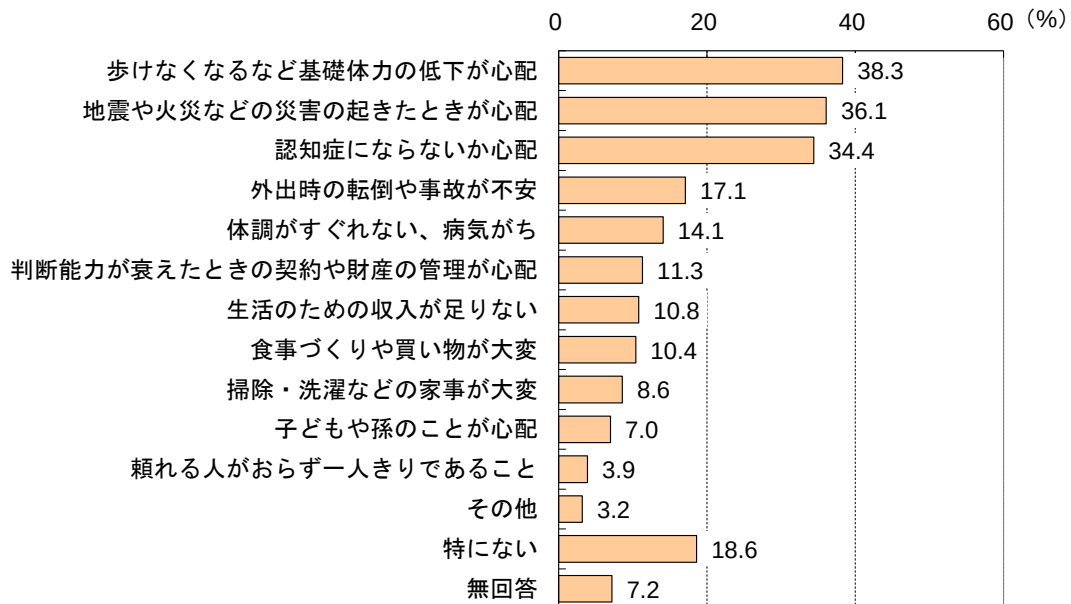


余暇等で自由に使えるお金は1か月にいくらあるかを尋ねたところ、「1万円以上2万円未満」が27.6%で最も多く、以下、「2万円以上3万円未満」が19.6%、「1万円未満」が16.8%、「3万円以上5万円未満」が12.7%、「5万円以上」が9.5%となっている。

なお、5.9%は「ない」と回答している。

(5) 不安、悩み、心配ごと

(4) 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか。また、それはどのようなことですか。(いくつでも)



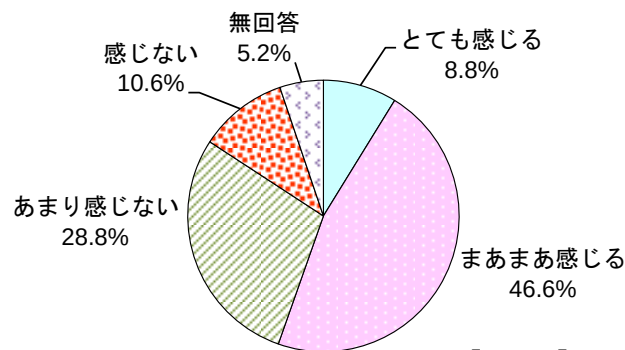
【n=871】

日常生活における不安、悩み、心配ごとを尋ねたところ、「歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配」(38.3%)、「地震や火災などの災害の起きたときが心配」(36.1%)、「認知症にならないか心配」(34.4%)が比較的多く挙げられている。以下、「外出時の転倒や事故が不安」が17.1%、「体調がすぐれない、病気がち」が14.1%、「判断能力が衰えたときの契約や財産の管理が心配」が11.3%、「生活のための収入が足りない」が10.8%などとなっている。

なお、18.6%は「特にない」と回答している。

(6) 近隣のつながり

(5) あなたがお住まいの地域には、近隣のつながりがあると感じますか。(1つ)

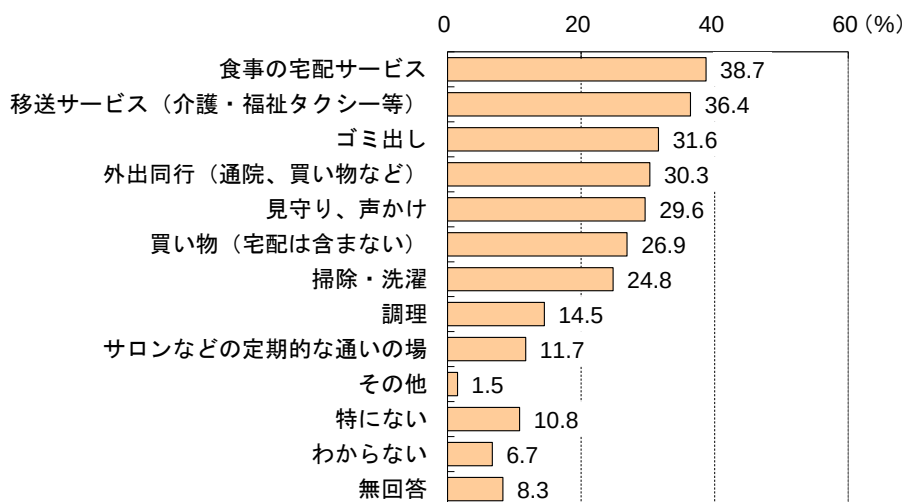


【n=871】

あなたがお住まいの地域には、近隣のつながりがあると感じるか尋ねたところ、「まあまあ感じる」が46.6%で最も多く、「あまり感じない」が28.8%、「感じない」が10.6%、「とても感じる」が8.8%となっている。

(7) 在宅で生活をするために必要な支援・サービス

(6) 住み慣れた地域において、在宅で自立した生活を続けていくために、必要になると思う支援やサービスは何ですか。(在宅での生活を継続していく上で、必要になると思う支援やサービスは何ですか。)

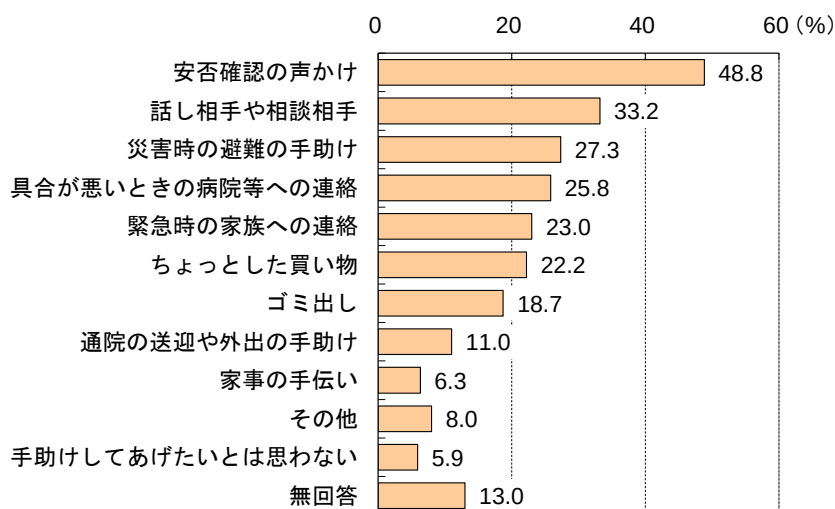


【n=871】

在宅で生活を続けていくために必要な支援・サービスを尋ねたところ、「食事の宅配サービス」が38.7%で最も多く、以下、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」が36.4%、「ゴミ出し」が31.6%、「外出同行 (通院、買い物など)」が30.3%、「見守り、声かけ」が29.6%、「買い物 (宅配は含まない)」が26.9%などとなっている。

(8) 近隣の方への手助け

(7) あなたが、今後、近隣の方に次のような手助けをしてあげたいと思いますか。(いくつでも)

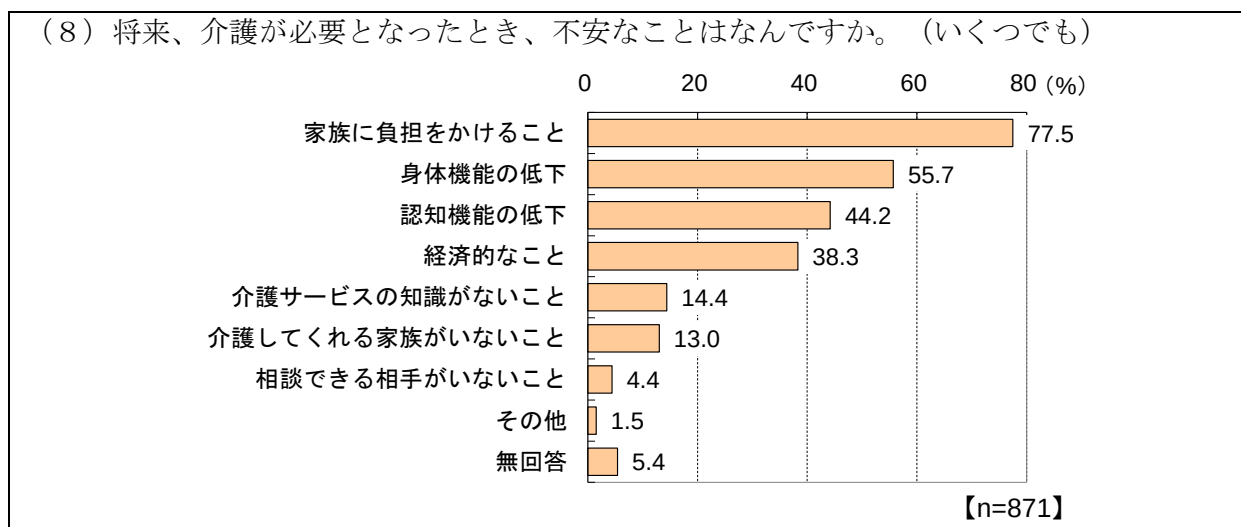


【n=871】

今後、近隣の方へどのような手助けをしてあげたいかを尋ねたところ、「安否確認の声かけ」が48.8%で最も多く、以下、「話し相手や相談相手」が33.2%、「災害時の避難の手助け」が27.3%、「具合が悪いときの病院等への連絡」が25.8%、「緊急時の家族への連絡」が23.0%、「ちょっとした買い物」が22.2%などとなっている。

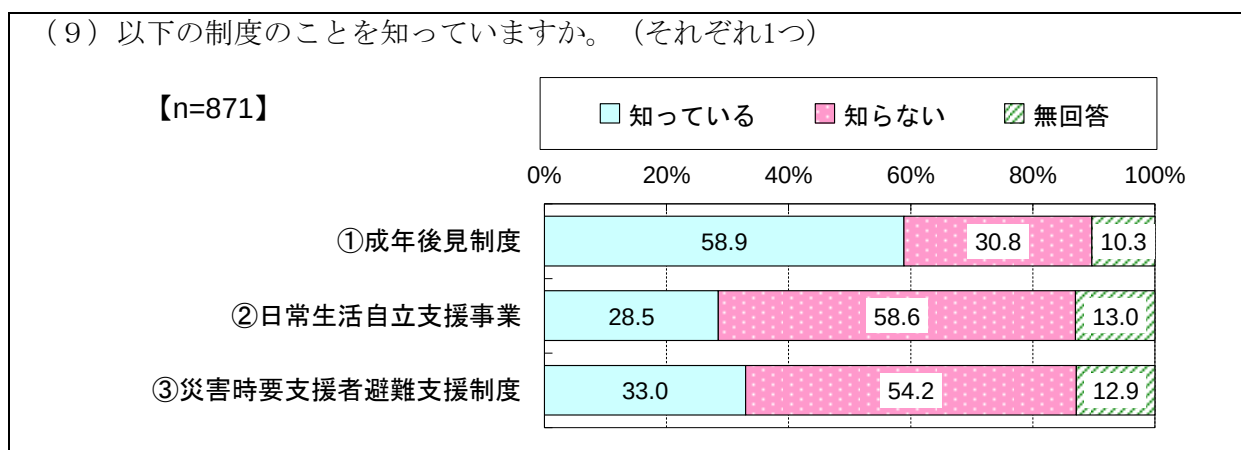
なお、5.9%は「手助けしてあげたいとは思わない」と回答している。

(9) 介護が必要になったときに不安なこと



将来、介護が必要になったときに不安なことを尋ねたところ、「家族に負担をかけること」が77.5%で最も多く、以下、「身体機能の低下」が55.7%、「認知機能の低下」が44.2%、「経済的なこと」が38.3%、「介護サービスの知識がないこと」が14.4%などとなっている。

(10) 制度の認知状況

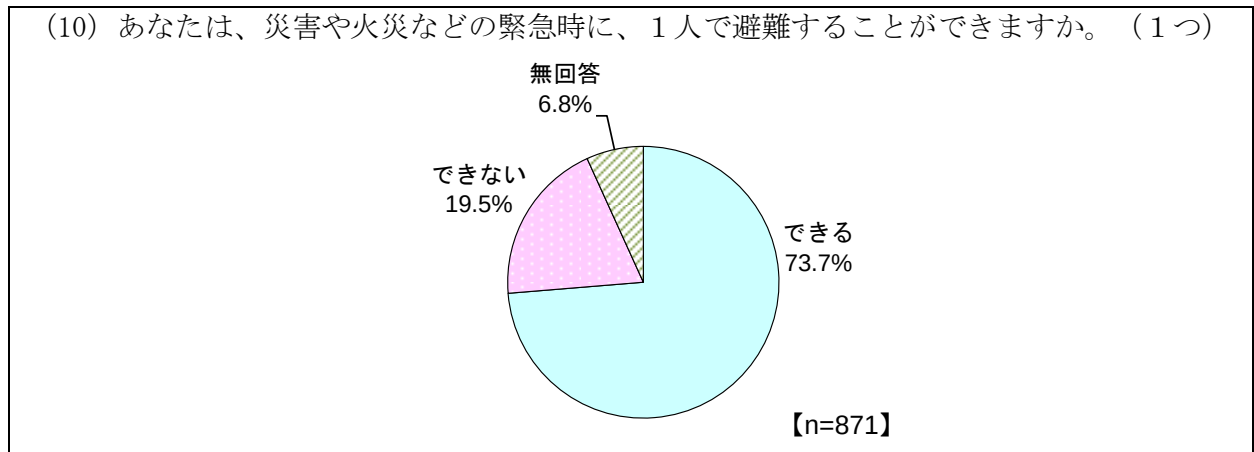


各制度の認知状況について、①成年後見制度の認知度は、「知っている」が58.9%、「知らない」が30.8%で、「知っている」が過半数を占めている。

②日常生活自立支援事業の認知度は、「知っている」が28.5%、「知らない」が58.6%で、「知らない」が過半数を占めている。

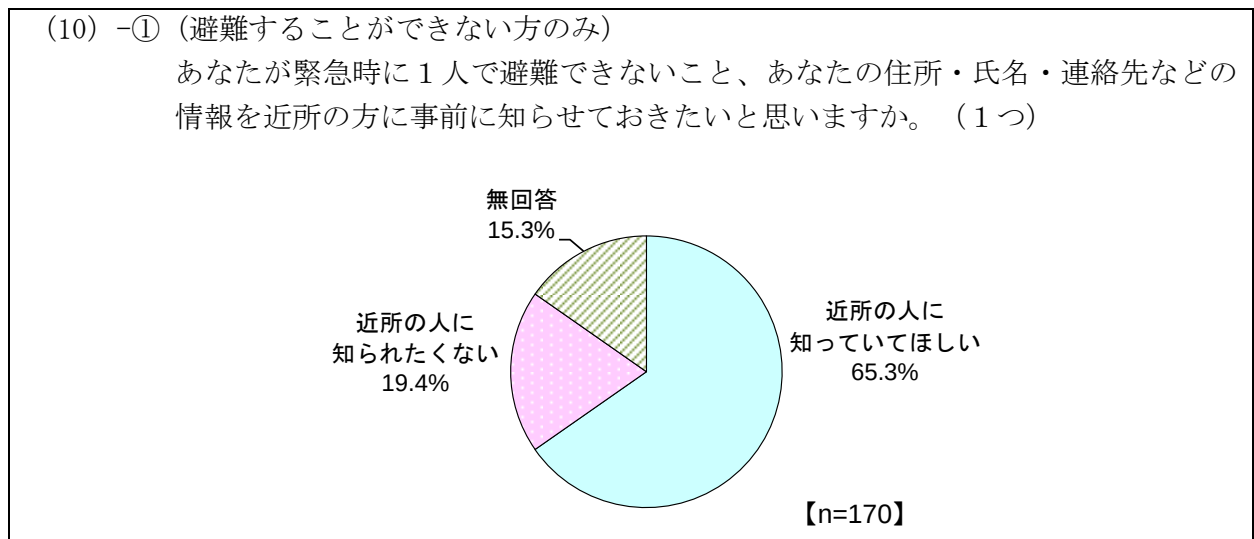
③災害時要支援者避難支援制度の認知度は、「知っている」が33.0%、「知らない」が54.2%で、「知らない」が過半数を占めている。

(11) 緊急時に1人で避難できるか



緊急時に1人で避難することができるかを尋ねたところ、「できる」が73.7%、「できない」が19.5%となっている。

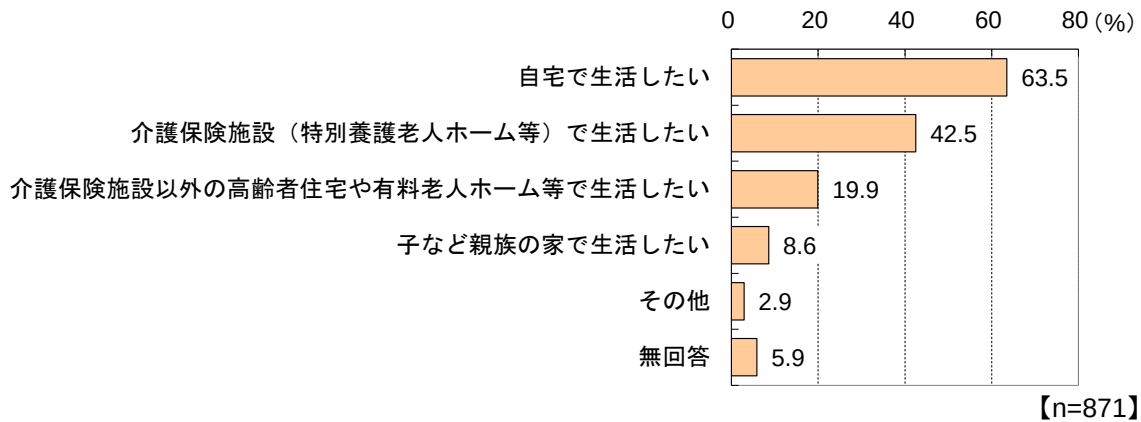
(12) 近所の方に情報を事前に知らせておくことについて



緊急時に1人で避難できないと回答した人に、近所の方に自分の情報を事前に知らせておくことを希望するかを尋ねたところ、「近所の人に知っていてほしい」が65.3%、「近所の人に知られたくない」が19.4%となっている。

(13) 介護が必要となったときの生活場所

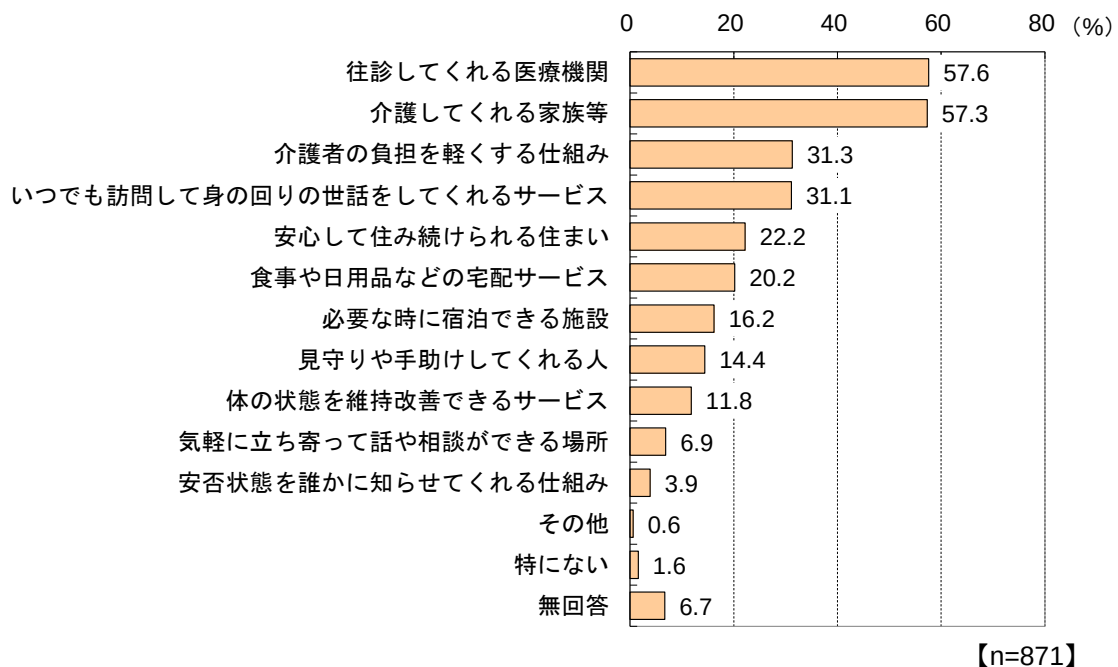
(11) 将来、介護が必要となったとき、どこで生活したいと考えていますか。
(いくつでも)



将来、介護が必要となったときにどこで生活したいかを尋ねたところ、「自宅で生活したい」が63.5%で最も多く、以下、「介護保険施設（特別養護老人ホーム等）で生活したい」が42.5%、「介護保険施設以外の高齢者住宅や有料老人ホーム等で生活したい」が19.9%、「子など親族の家で生活したい」が8.6%となっている。

(14) 在宅で暮らし続けるために特に重要なこと

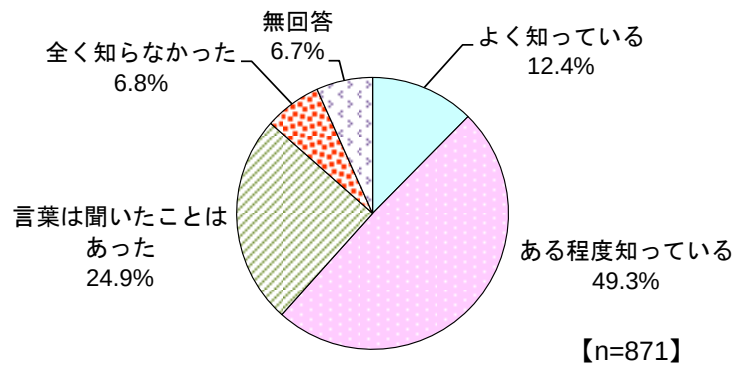
(12) 介護や医療が必要になっても、在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。（あてはまるもの3つまで）



介護や医療が必要になっても在宅で暮らし続けるために特に重要なことを尋ねたところ、「往診してくれる医療機関」（57.6%）、「介護してくれる家族等」（57.3%）が多く挙げられている。以下、「介護者の負担を軽くする仕組み」が31.3%、「いつでも訪問して身の回りの世話をしてくれるサービス」が31.1%、「安心して住み続けられる住まい」が22.2%、「食事や日用品などの宅配サービス」が20.2%などとなっている。

(15) 在宅医療について

(13) あなたは在宅医療についてご存じですか。(1つ)



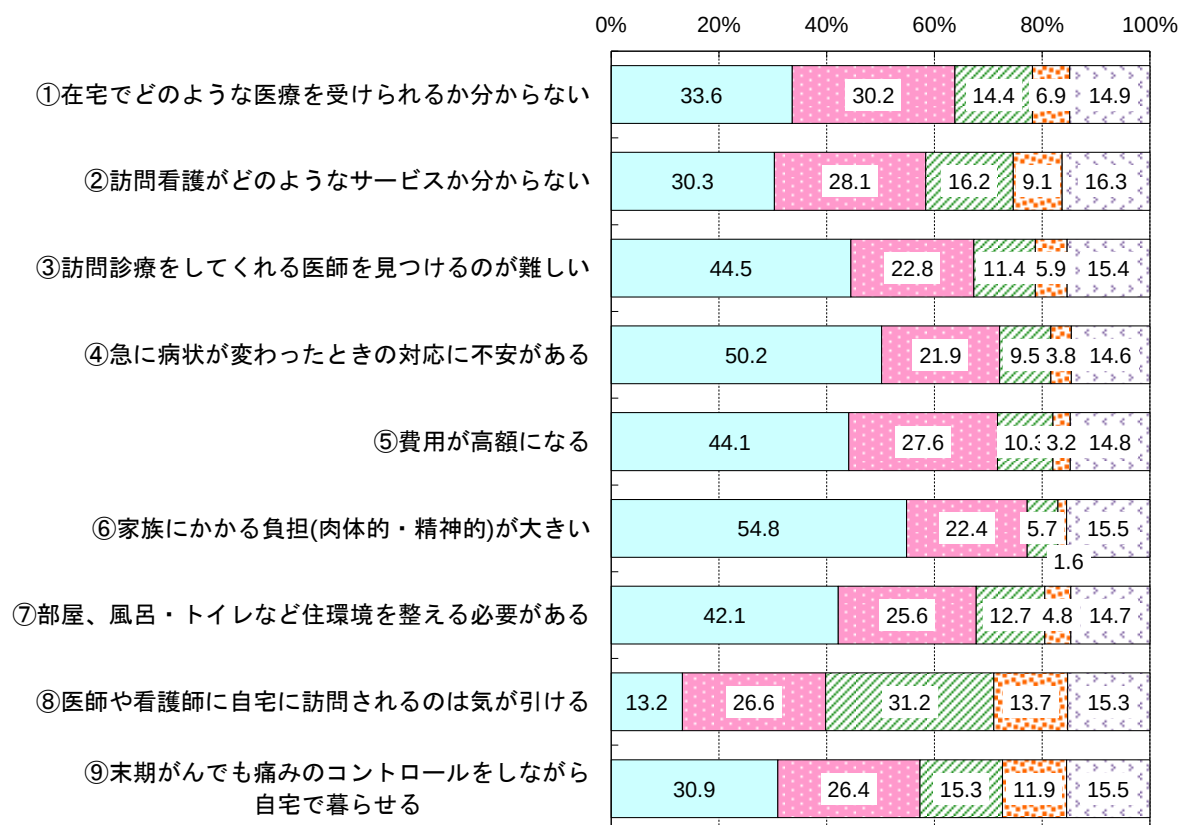
在宅医療を知っているか尋ねたところ、「ある程度知っている」が49.3%で最も多く、「言葉は聞いたことはあった」が24.9%、「よく知っている」が12.4%、「全く知らなかった」が6.8%となっている。

(16) 在宅医療のイメージ

(14) あなたは在宅医療についてどのようなイメージをお持ちですか。（それぞれ1つ）

【n=871】

□ そう思う □ ややそう思う □ あまり思わない □ 全く思わない □ 無回答



在宅医療のイメージについて、『そう思う割合』（「そう思う」及び「ややそう思う」の合計）については以下のとおり。

「①在宅でどのような医療を受けられるか分からない」については、63.8%。

「②訪問看護がどのようなサービスか分からない」は、58.4%。

「③訪問診療をしてくれる医師を見つけるのが難しい」については、67.3%。

「④急に病状が変わったときの対応に不安がある」については、72.1%。

「⑤費用が高額になる」については、71.7%。

「⑥家族にかかる負担(肉体的・精神的)が大きい」については、77.2%。

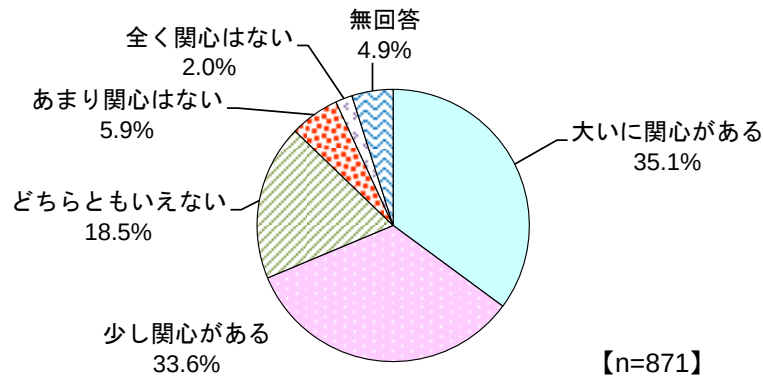
「⑦部屋、風呂・トイレなど住環境を整える必要がある」については、67.7%。

「⑧医師や看護師に自宅に訪問されるのは気が引ける」については、39.8%。

「⑨末期がんでも痛みのコントロールをしながら自宅で暮らせる」については、57.3%。

(17) 在宅医療、終活、自宅での看取りについて

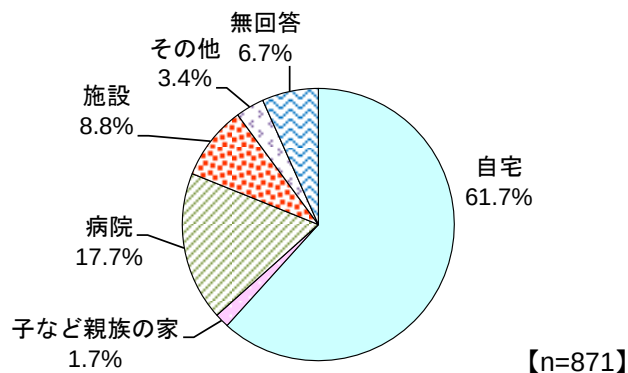
(15) あなたは、在宅での医療、終活（人生の最期を迎えるにあたっての様々な準備）、自宅での看取りのことなどに関心がありますか。（1つ）



在宅医療、終活、自宅での看取りなどに関心があるかを尋ねたところ、「大いに関心がある」が35.1%で最も多く、以下、「少し関心がある」が33.6%、「どちらともいえない」が18.5%、「あまり関心はない」が5.9%、「全く関心はない」が2.0%となっている。

(18) 人生の最期をどこで過ごしたいか

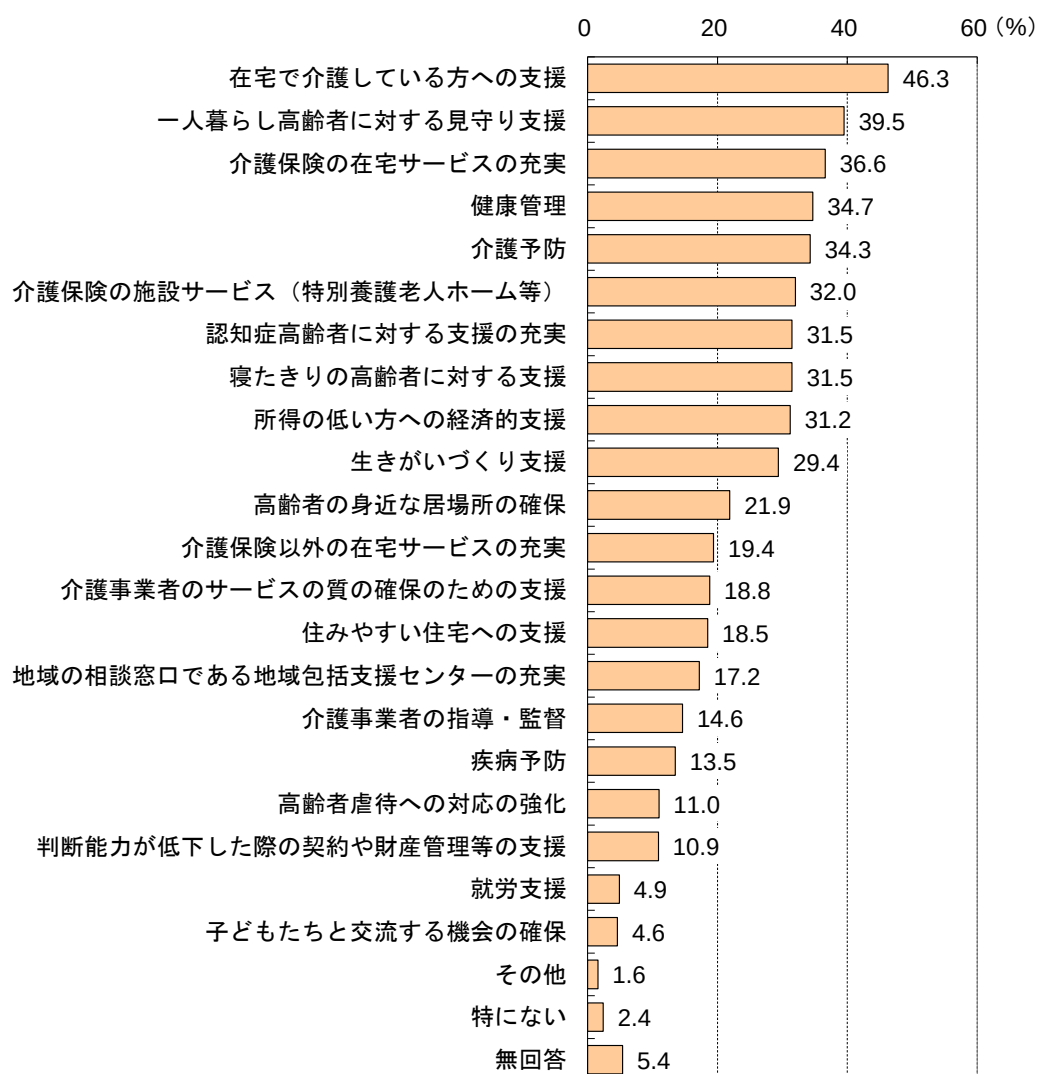
(16) あなたは、人生の最期をどこで過ごしたいと思いますか。（1つ）



人生の最期をどこで過ごしたいかを尋ねたところ、「自宅」が61.7%で最も多く、以下、「病院」が17.7%、「施設」が8.8%、「子など親族の家」が1.7%となっている。

(19) 村に力を入れてほしい高齢者保健福祉施策

(17) これからの高齢者の保健福祉施策として、村に力を入れてほしいと思うものは何ですか。（いくつでも）



【n=871】

高齢者保健福祉施策として村に力を入れてほしいと思うものを尋ねたところ、「在宅で介護している方への支援」が46.3%で最も多く、以下、「一人暮らし高齢者に対する見守り支援」（39.5%）、「介護保険の在宅サービスの充実」（36.6%）、「健康管理」（34.7%）、「介護予防」（34.3%）、「介護保険の施設サービス（特別養護老人ホーム等）」（32.0%）、「認知症高齢者に対する支援の充実」「寝たきりの高齢者に対する支援」（いずれも31.5%）、「所得の低い方への経済的支援」（31.2%）、「生きがいづくり支援」（29.4%）などが比較的多く挙げられている。

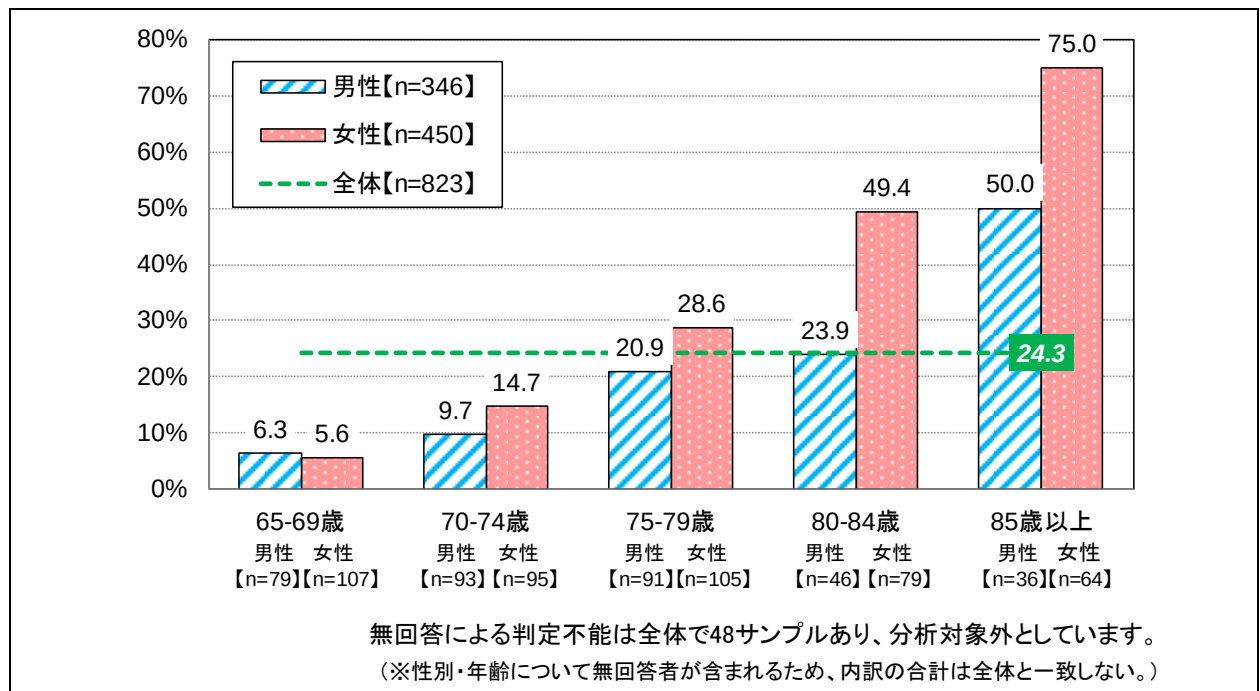
2 リスク分析

1) 運動器機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で3問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない



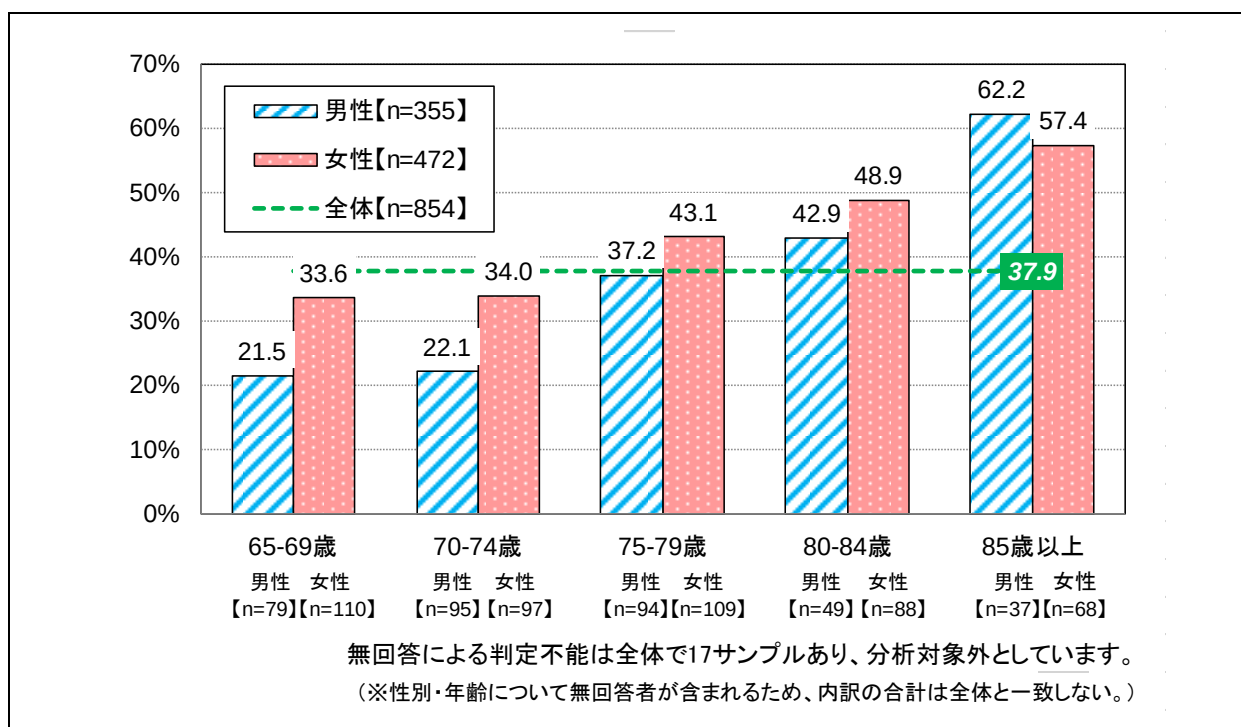
運動器機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては男性では50.0%、女性では75.0%が有リスクとなっている。

2) 転倒リスク

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない



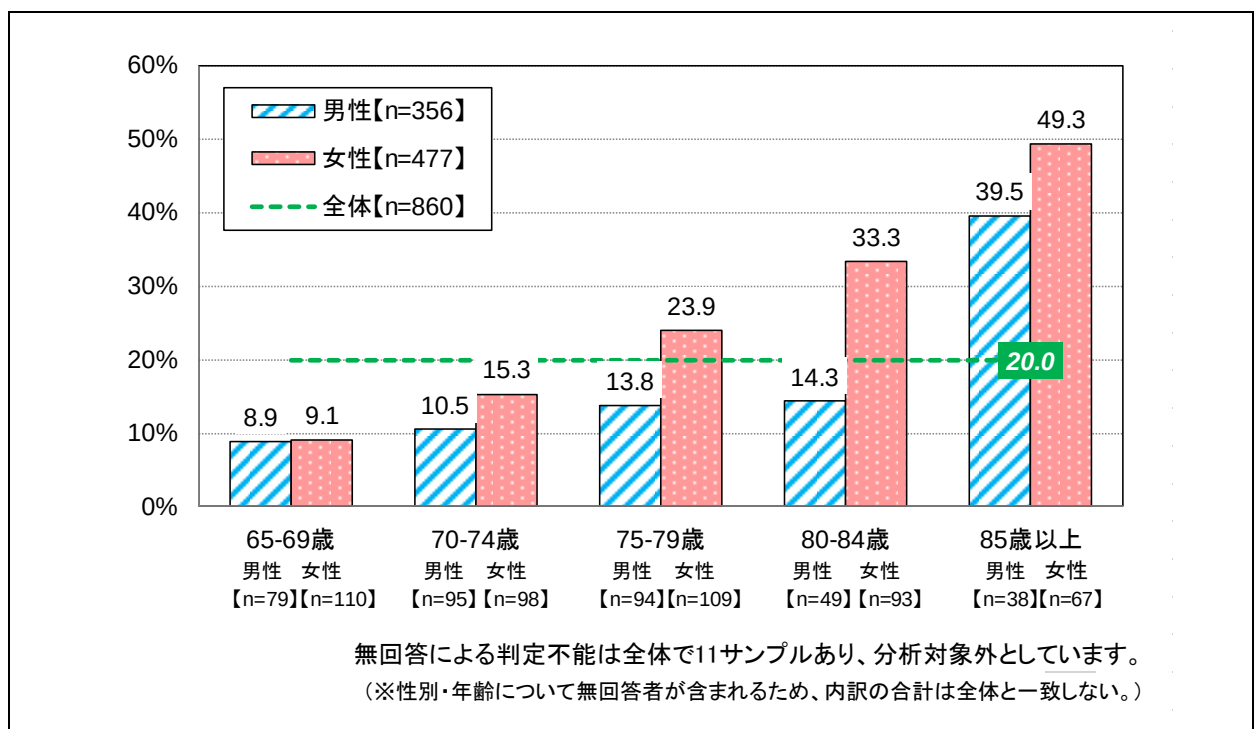
転倒リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性では62.2%、女性では57.4%が有リスクとなっている。男女ともに後期高齢者が多く該当する傾向が顕著と言える。

3) 閉じこもり傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上



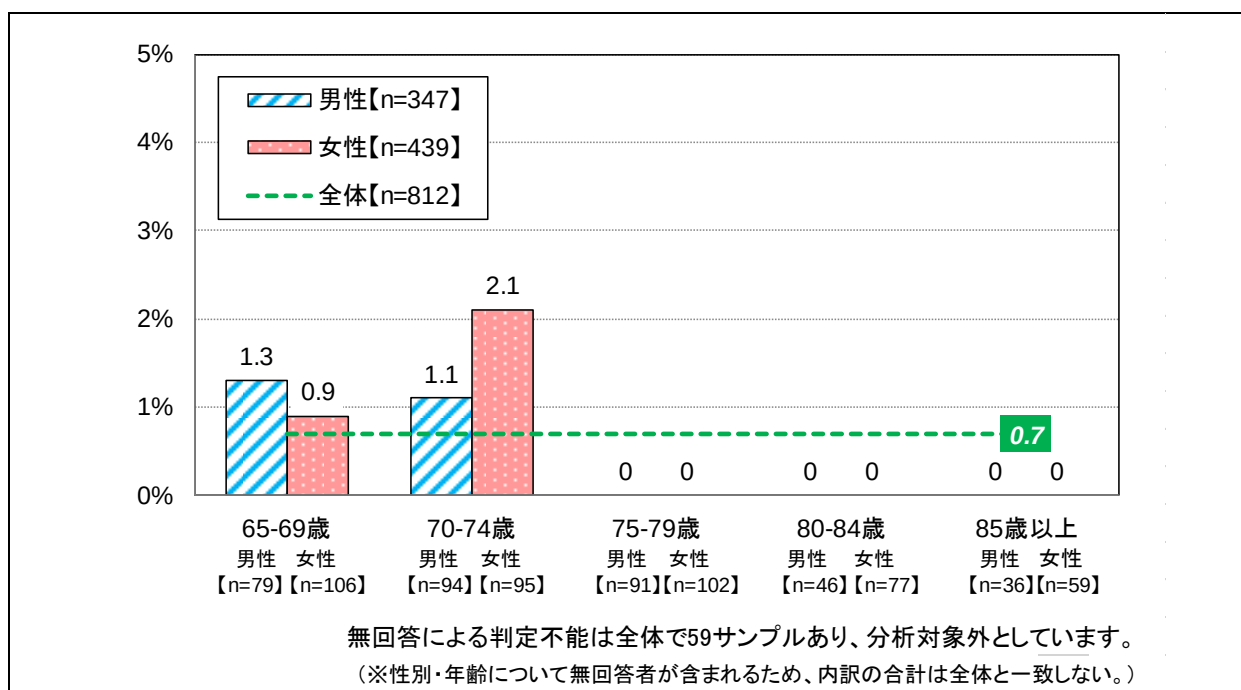
閉じこもり傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、すべての年齢階級において女性の数値が男性の数値を上回っている点が特徴的である。女性では75歳以上の各階級で全体平均を上回っているが、男性では「85歳以上」においてのみ全体平均を上回っている。

4) 低栄養傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
身長・体重	身長・体重から算出される BMI(体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)})が18.5以下の場合、低栄養が疑われる
6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ



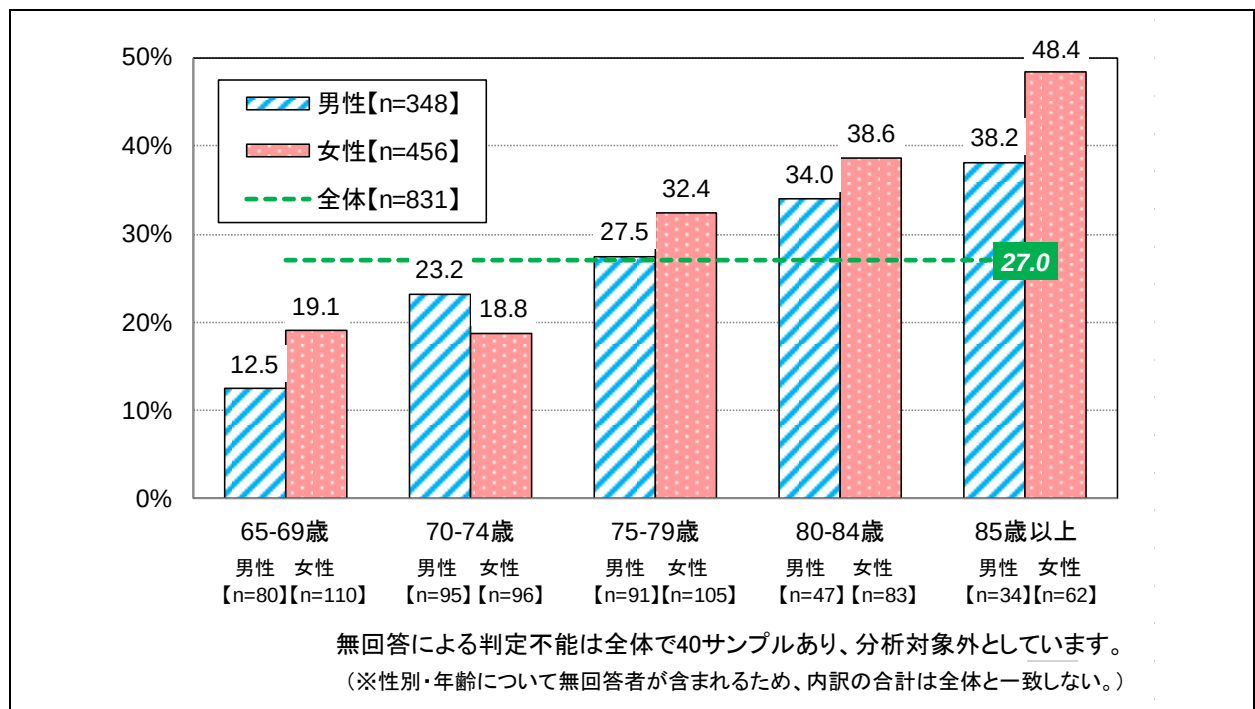
低栄養傾向のリスクについて、全体の該当割合が0.7%と他のリスクに比べて高い数値ではないほか、性別・年齢別に該当割合をみても性別及び年齢による目立った傾向はみられない。その中で、「70-74歳」女性の数値が2.1%と最も高くなっている。

5) 口腔機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で2問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ



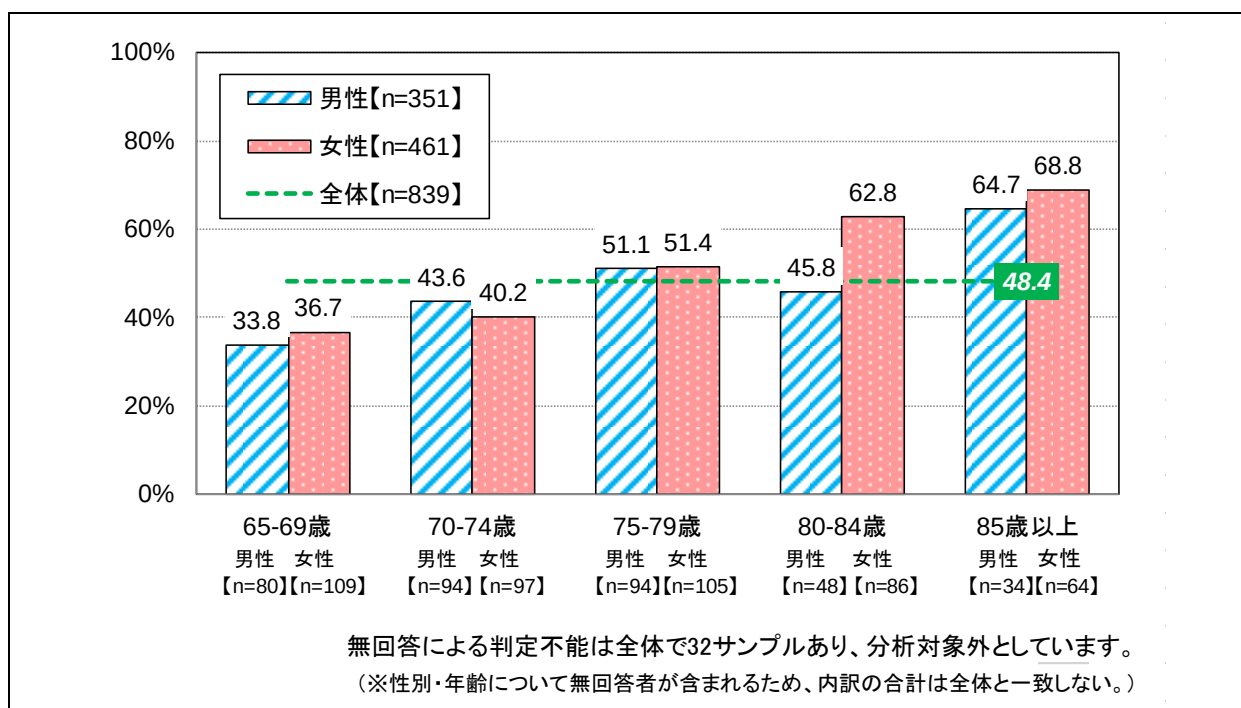
口腔機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性では38.2%、女性では48.4%が有リスクとなっている。男女ともに後期高齢者が多く該当する傾向が顕著と言える。

6) 認知機能の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ



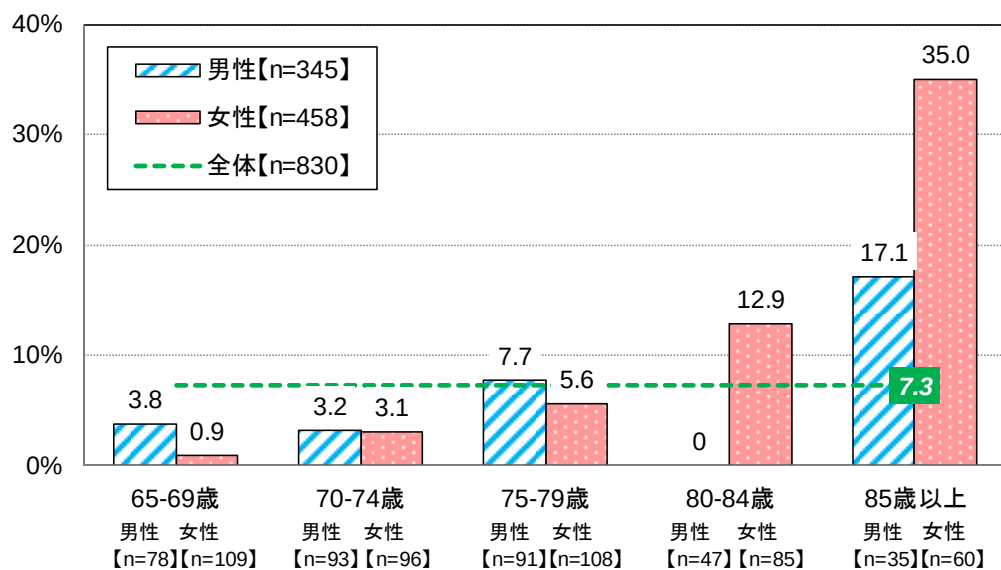
認知機能の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、男女ともに後期高齢者が該当する傾向が顕著である。その一方で、「65-69歳」では男女ともに3割以上、「70-74歳」では男女ともに4割以上と、前期高齢者についても比較的高い数値を示している。

7) I A D L（手段的自立度）の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、5点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

設問内容	選択肢
バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点



無回答による判定不能は全体で41サンプルあり、分析対象外としています。
(※性別・年齢について無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない。)

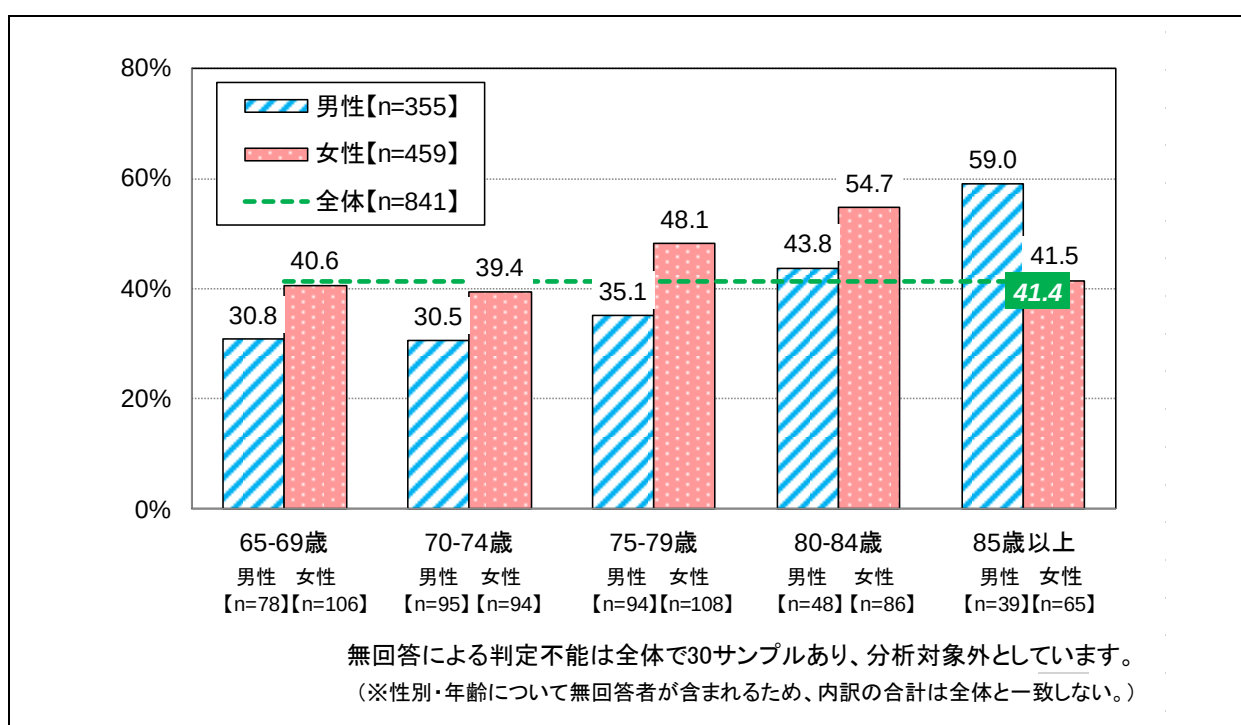
IADL（手段的自立度）の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに後期高齢者が比較的多く該当する傾向がみられる。男女いずれも「85歳以上」の該当割合が最も高く、特に女性については35.0%と突出して高い数値を示している。

8) うつ傾向

【リスク判定方法】

下記の設問で1問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ



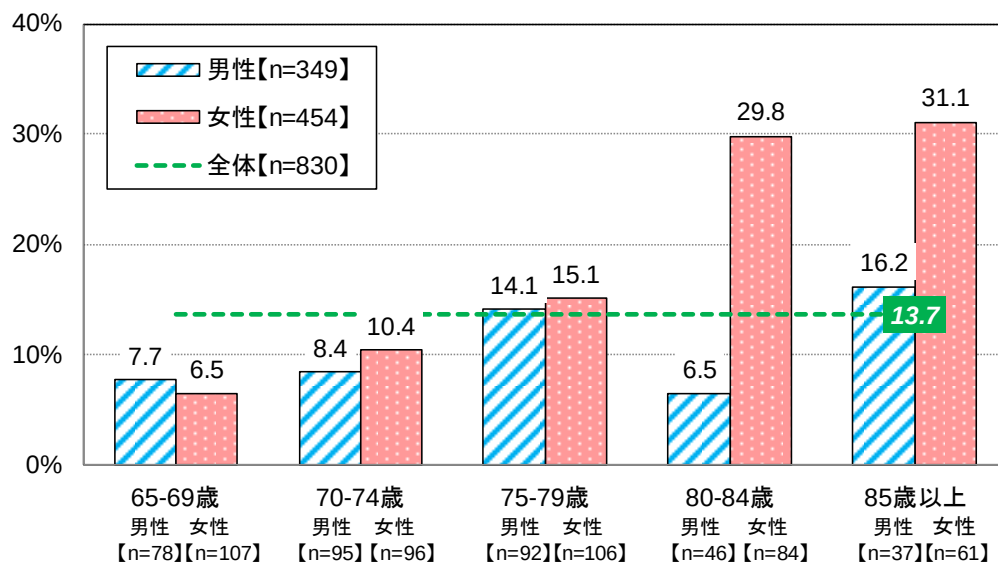
うつ傾向のリスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男性では70歳以上から年齢が上がるにつれて数値が高くなっており、「85歳以上」では59.0%と最も高い数値を示している。一方、女性については「80-84歳」の数値が最も高くなっているものの、年齢階級による数値の差がそれほど大きくないことが特徴的である。

9) 知的能動性の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、2点以下を「低下」として評価します。

設問内容	選択肢
年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
新聞を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
本や雑誌を読んでいますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点



無回答による判定不能は全体で41サンプルあり、分析対象外としています。
(※性別・年齢について無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない。)

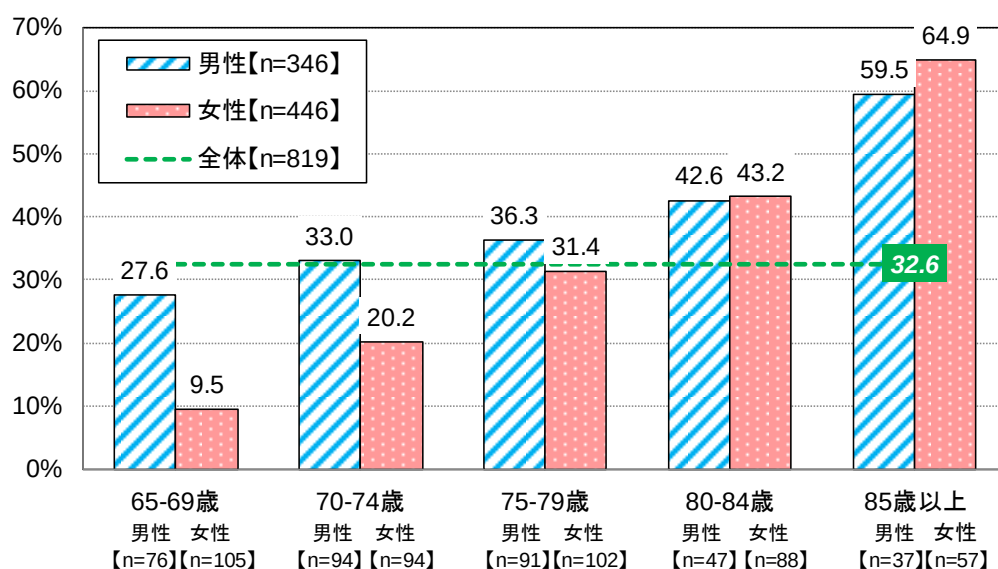
知的能動性の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、80歳以上の女性が多く該当する傾向がみられ、「80-84歳」「85歳以上」いずれにおいても3割程度が有リスクとなっている。また、男性については「85歳以上」が16.2%で最も高くなっている。

10) 社会的役割の低下

【リスク判定方法】

下記の設問で、4点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

設問内容	選択肢
友人の家を訪ねていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
家族や友人の相談にのっていますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
病人を見舞うことができますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点
若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい 1点 2. いいえ 0点



無回答による判定不能は全体で52サンプルあり、分析対象外としています。
(※性別・年齢について無回答者が含まれるため、内訳の合計は全体と一致しない。)

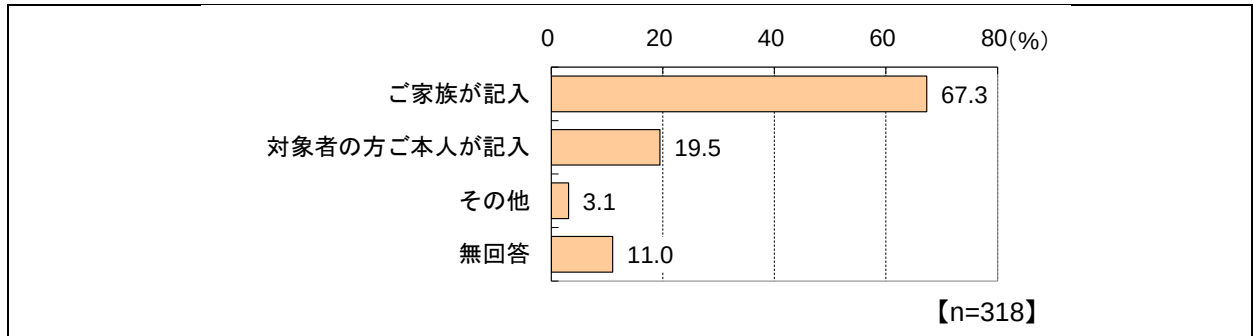
社会的役割の低下リスクについて、性別・年齢別に該当割合をみると、男女ともに年齢が上がるにつれて数値が高くなる傾向がみられ、「85歳以上」においては、男性では59.5%、女性では64.9%が有リスクとなっている。その一方で、男性では前期高齢者の該当割合も女性に比べて高いことが特徴的である。

Ⅲ 調査結果②

【在宅介護実態調査】

A票 調査対象者ご本人について

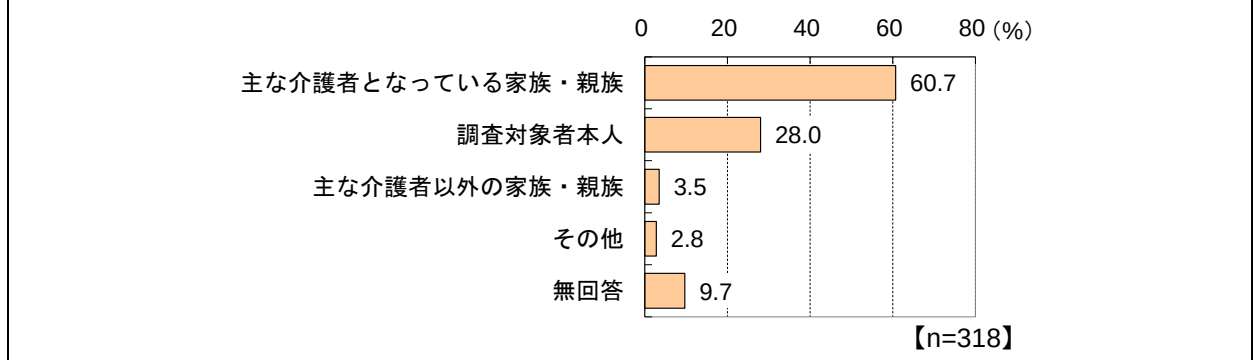
(1) 調査票記入者



調査票の記入者は、「ご家族が記入」が67.3%で過半数を占めている。

(2) 調査票回答者

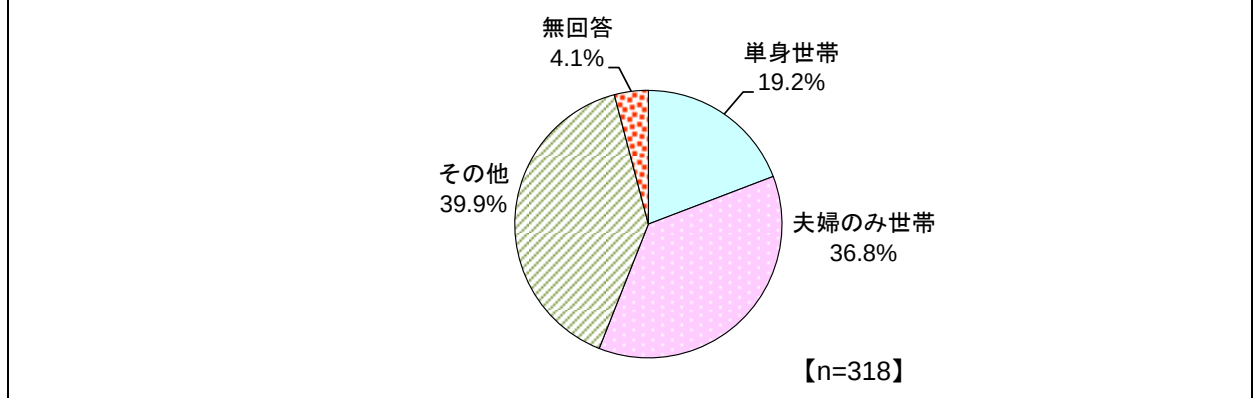
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（いくつでも）



調査票の回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が60.7%で最も多くなっている。

(3) 世帯類型

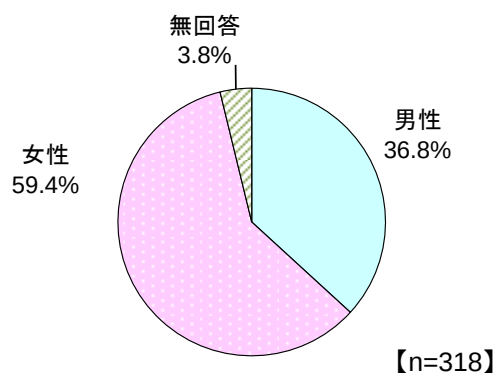
問2 世帯類型について、ご回答ください。（1つ）



世帯類型については、「夫婦のみ世帯」が36.8%、「単身世帯」が19.2%となっている。

(4) 性別

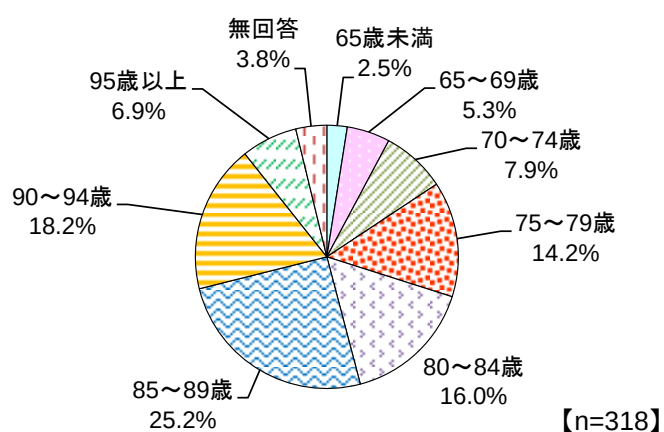
問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(1つ)



性別は、「男性」が36.8%、「女性」が59.4%で、「女性」の割合が過半数を占めている。

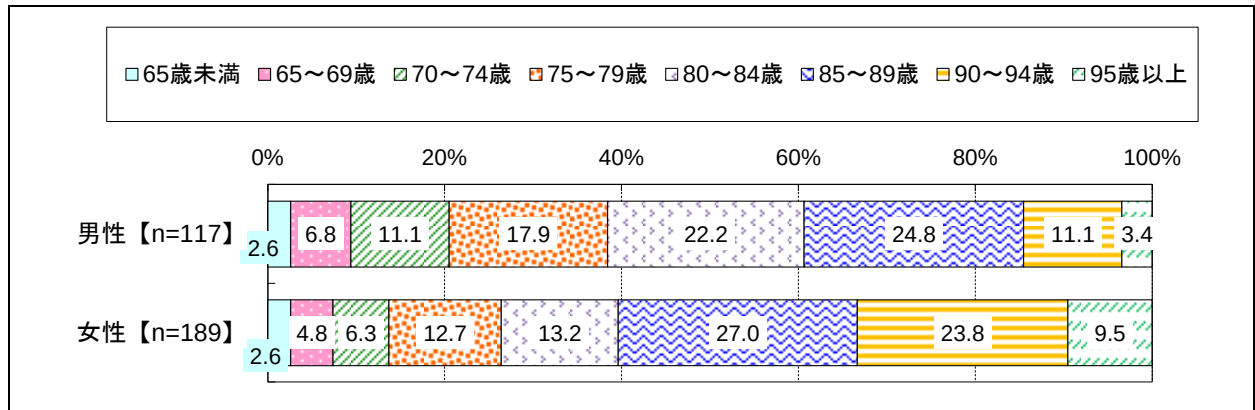
(5) 年齢

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(1つ)



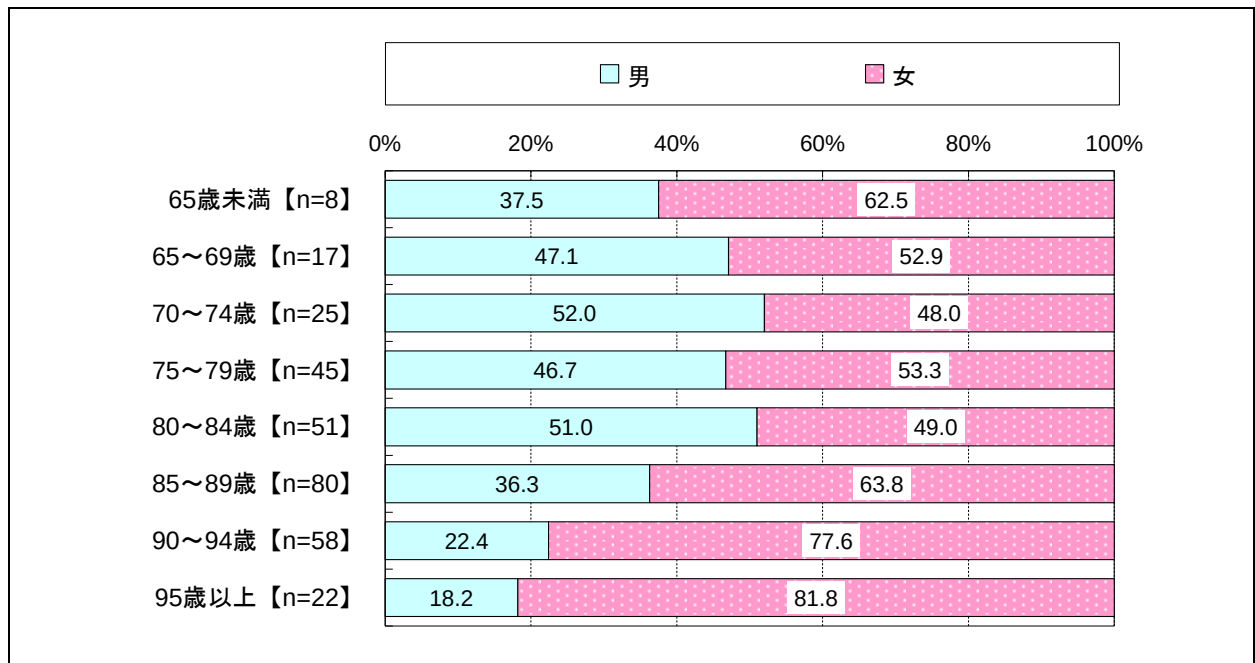
年齢は、「85～89歳」が25.2%で最も多く、以下、「90～94歳」が18.2%、「80～84歳」が16.0%、「75～79歳」が14.2%、「70～74歳」が7.9%などと続いている。

《性別×年齢クロス集計》



男女別に年齢構成をみると、男女いずれも「85～89歳」が最も多い点は共通しているものの、女性のほうが男性よりも高い年齢層が比較的多い年齢構成となっている。

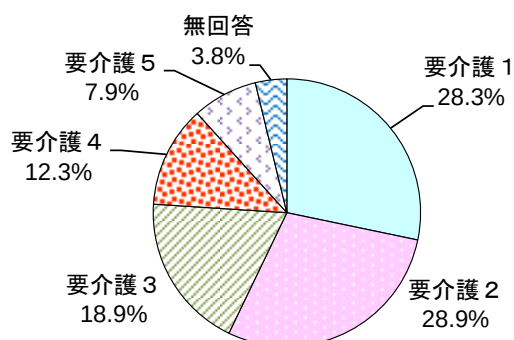
《年齢×性別クロス集計》



年齢階級別に男女比をみると、「70～74歳」「80～84歳」以外の多くの年齢階級において女性の割合が高く、特に90歳以上の各階級では女性の割合が8割前後となっている。

(6) 要介護認定状況

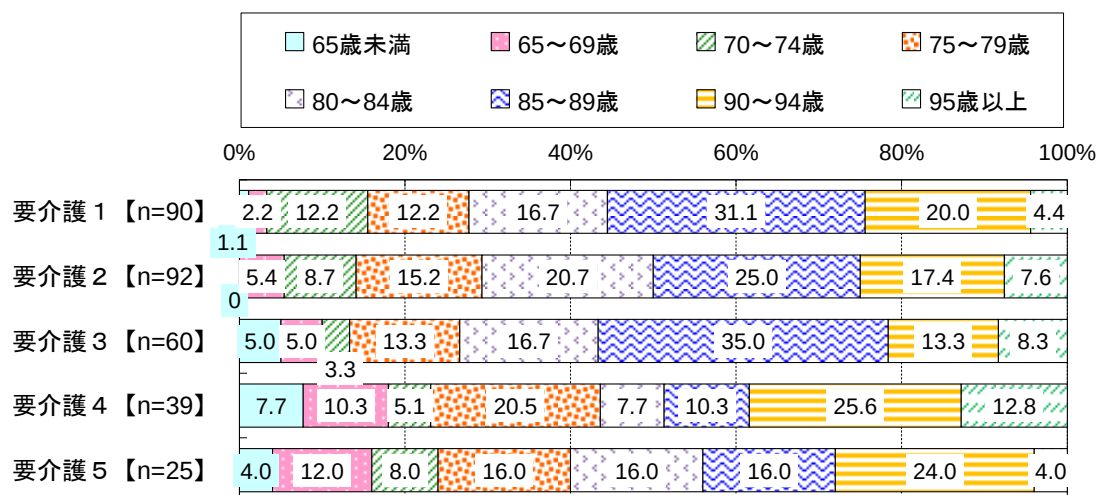
問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(1つ)



【n=318】

要介護認定の状況については、「要介護2」が28.9%で最も多く、以下、「要介護1」が28.3%、「要介護3」が18.9%、「要介護4」が12.3%、「要介護5」が7.9%となっている。

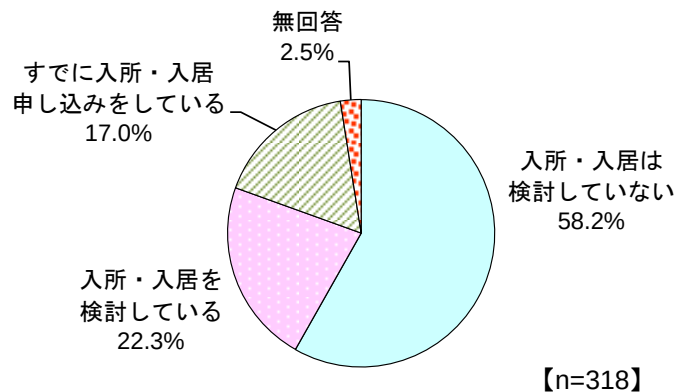
《要介護度別クロス集計》



要支援・要介護度別に年齢構成をみると、後期高齢者の割合は、要介護1から要介護3まではいずれも8割以上であるが、要介護4、要介護5では7割程度と、要介護4、要介護5のほうが低い年齢層が比較的多い年齢構成となっている。

(7) 施設への入所・入居状況

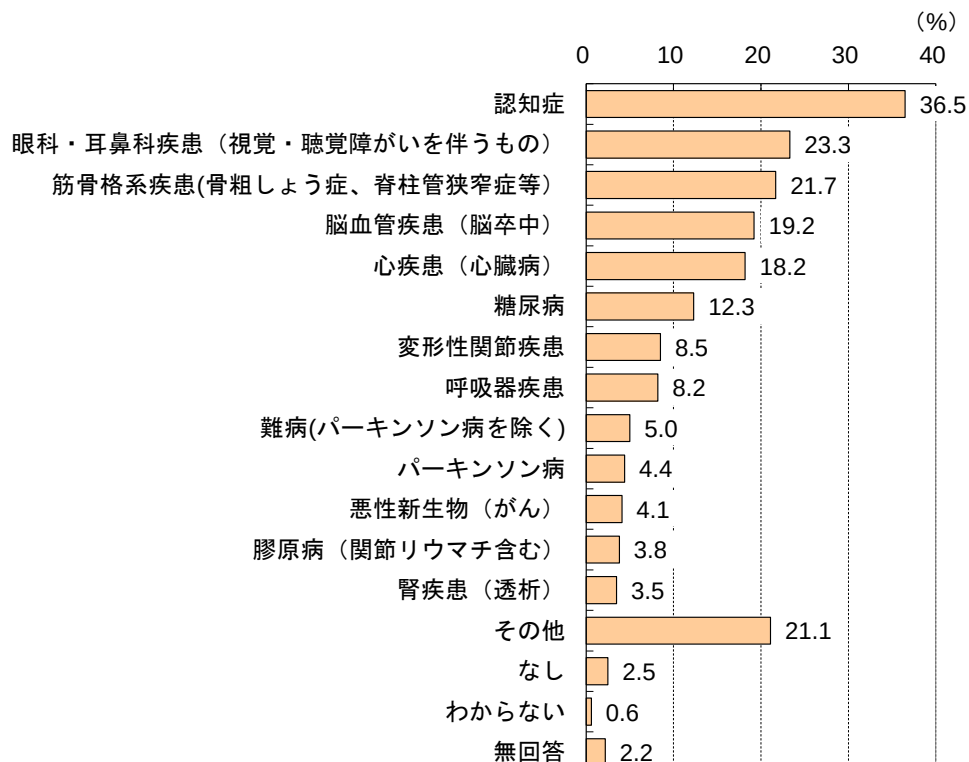
問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つ）



現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居を検討していない」が58.2%で最も多く、以下、「入所・入居を検討している」が22.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が17.0%となっている。

(8) 現在抱えている傷病

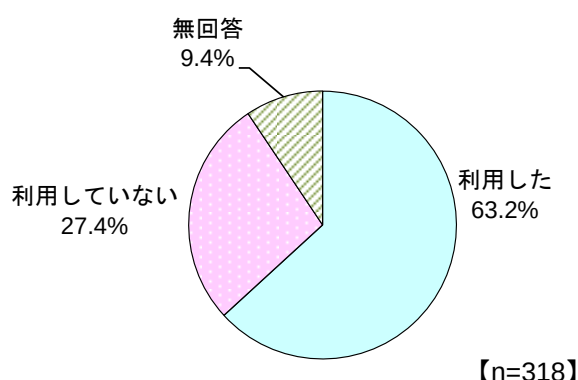
問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。（いくつでも）



現在抱えている傷病については、「認知症」が36.5%で最も多く、以下、「眼科・耳鼻科疾患」（23.3%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（21.7%）、「脳血管疾患（脳卒中）」（19.2%）、「心疾患（心臓病）」（18.2%）、「糖尿病」（12.3%）などが多く挙げられている。

(9) 介護保険サービスの利用の有無

問 8 平成28年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか



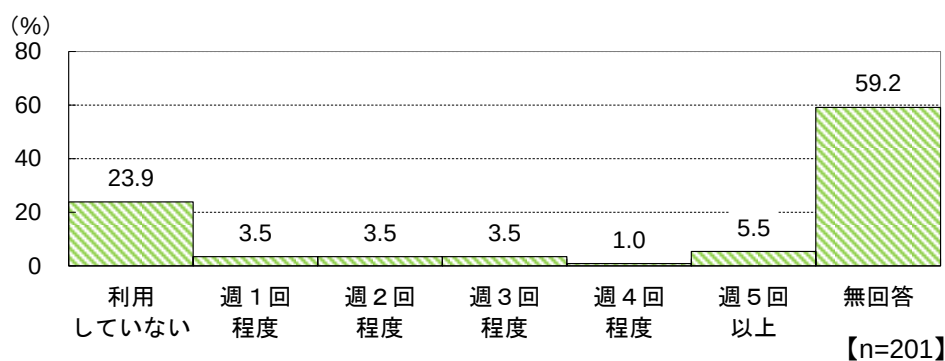
平成28年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを「利用した」割合は63.2%となっている。

(10) 介護保険サービスの利用回数・利用日数

問 9 （介護保険サービスを利用した方のみ）

以下の介護保険サービスについて、平成28年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1つに○）

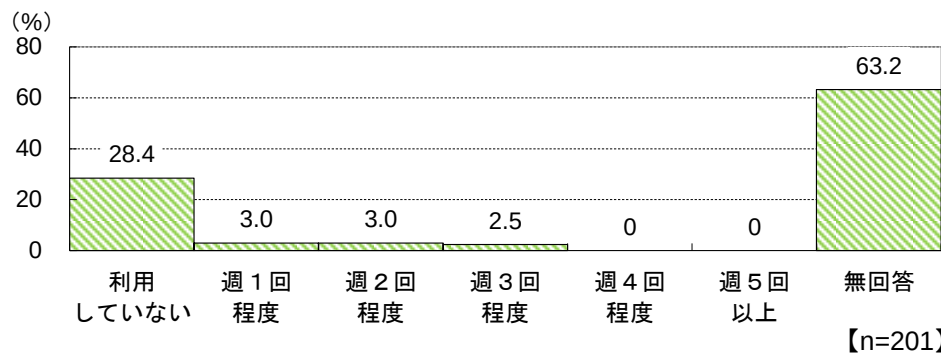
A 訪問介護



訪問介護については、全体の17.0%が利用しており、利用頻度としては「週5回以上」が5.5%で最も多くなっている。

一方、23.9%は「利用していない」と回答しているほか、59.2%は無回答であった。

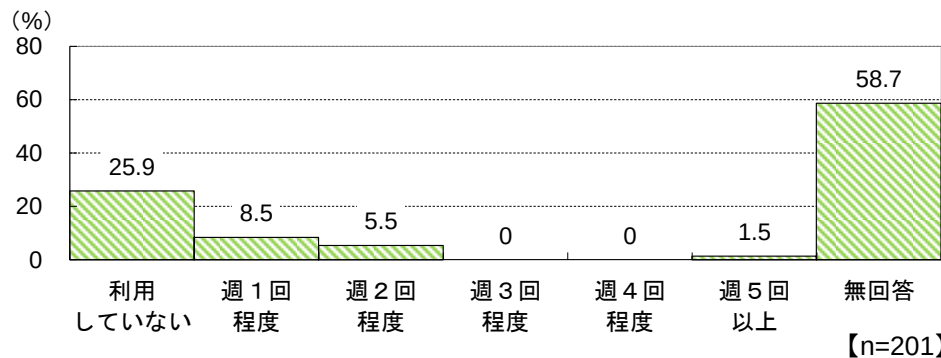
B 訪問入浴介護



訪問入浴介護については、全体の8.5%が利用しており、利用頻度としては「週1回程度」「週2回程度」がいずれも3.0%で最も多くなっている。

一方、28.4%は「利用していない」と回答しているほか、63.2%は無回答であった。

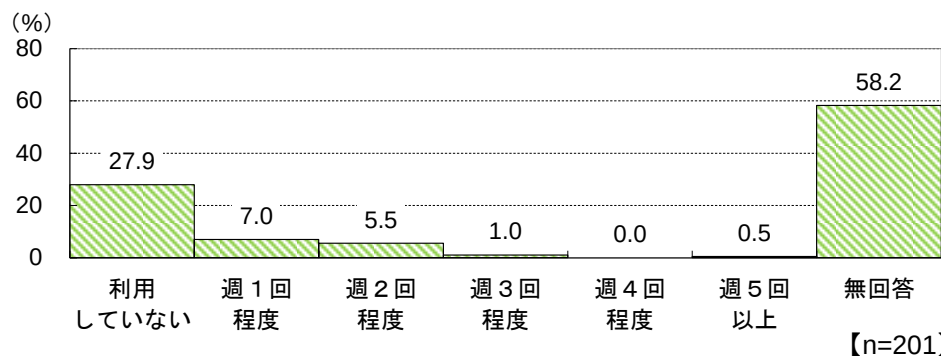
C 訪問看護



訪問看護については、全体の15.5%が利用しており、利用頻度としては「週1回程度」が8.5%で最も多くなっている。

一方、25.9%は「利用していない」と回答しているほか、58.7%は無回答であった。

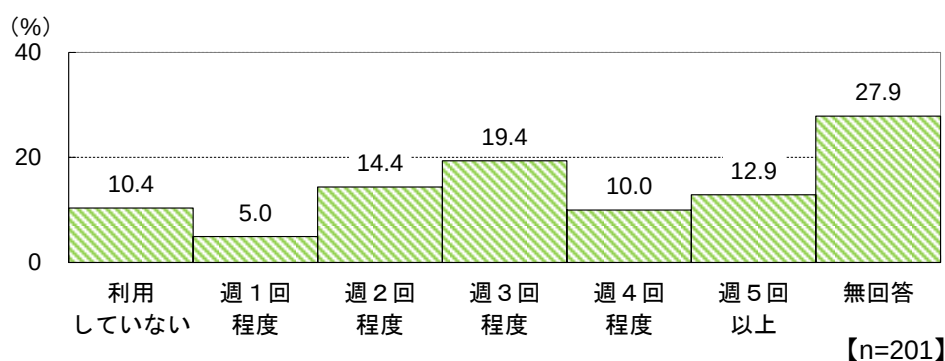
D 訪問リハビリテーション



訪問リハビリテーションについては、全体の14.0%が利用しており、利用頻度としては「週1回程度」が7.0%で最も多くなっている。

一方、27.9%は「利用していない」と回答しているほか、58.2%は無回答であった。

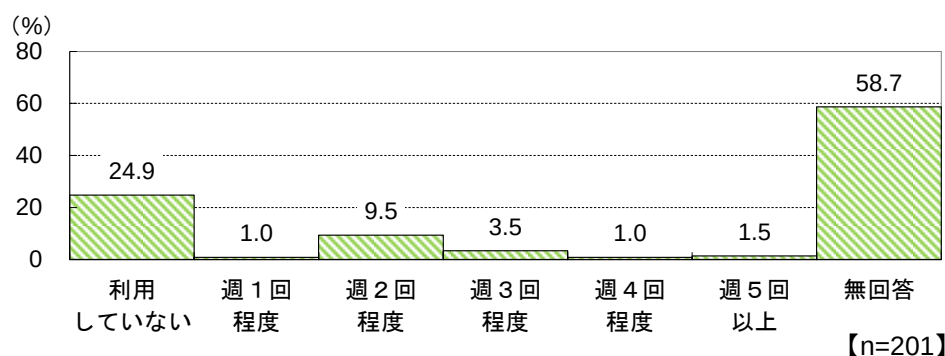
E 通所介護



通所介護については、全体の61.7%が利用しており、利用頻度としては「週3回程度」が19.4%で最も多くなっている。

一方、10.4%は「利用していない」と回答しているほか、27.9%は無回答であった。

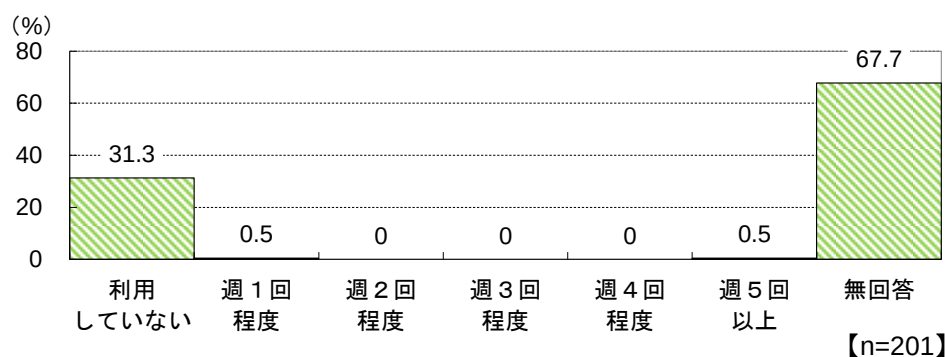
F 通所リハビリテーション



通所リハビリテーションについては、全体の16.5%が利用しており、利用頻度としては「週2回程度」が9.5%で最も多くなっている。

一方、24.9%は「利用していない」と回答しているほか、58.7%は無回答であった。

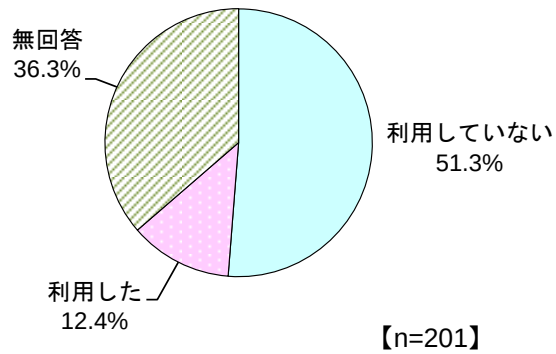
G 夜間対応型訪問介護



夜間対応型訪問介護については、全体の1.0%が利用しており、利用頻度としては「週1回程度」「週5回以上」がいずれも0.5%となっている。

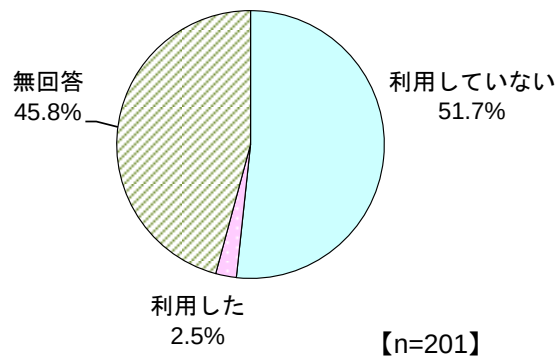
一方、31.3%は「利用していない」と回答しているほか、67.7%は無回答であった。

H 定期巡回・随時対応型訪問介護看護



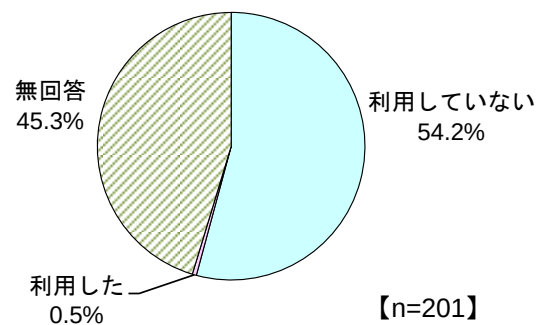
定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、全体の12.4%が利用している。
一方、51.3%は「利用していない」と回答しているほか、36.3%は無回答であった。

I 小規模多機能型居宅介護



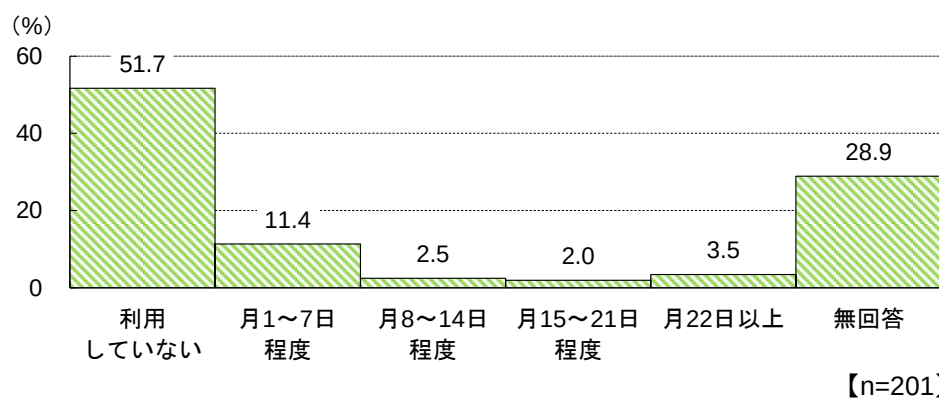
小規模多機能型居宅介護については、全体の2.5%が利用している。
一方、51.7%は「利用していない」と回答しているほか、45.8%は無回答であった。

J 看護小規模多機能型居宅介護



看護小規模多機能型居宅介護については、全体の0.5%が利用している。
一方、54.2%は「利用していない」と回答しているほか、45.3%は無回答であった。

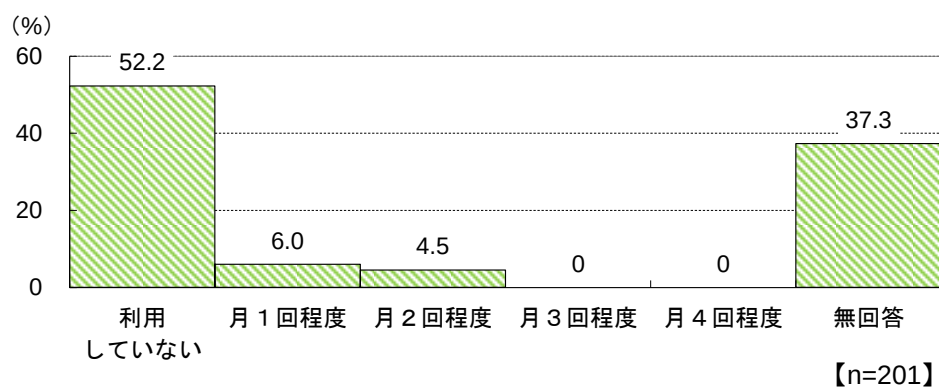
K ショートステイ



ショートステイについては、全体の19.4%が利用しており、利用頻度としては「月1～7日程度」が11.4%で多くなっている。

一方、51.7%は「利用していない」と回答しているほか、28.9%は無回答であった。

L 居宅療養管理指導



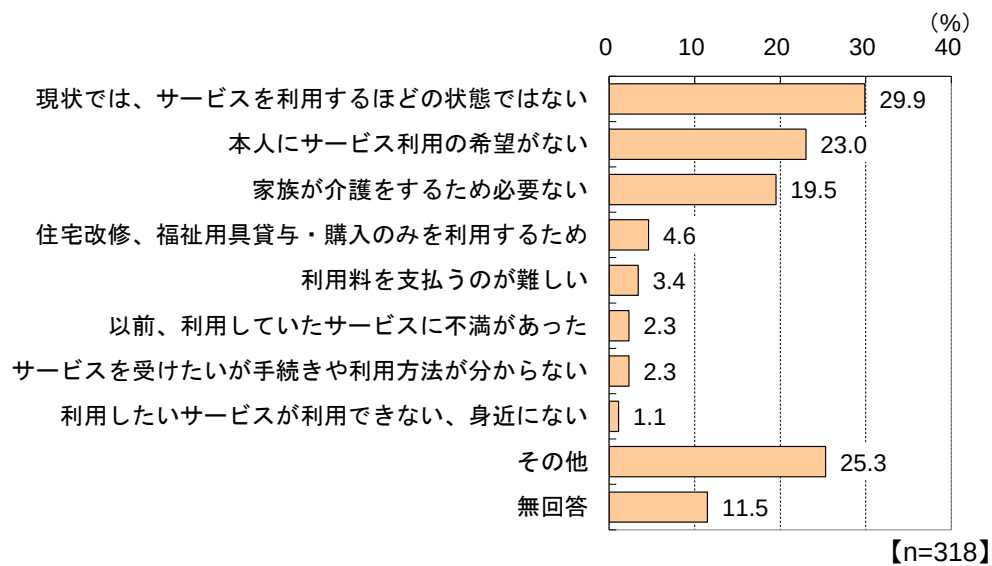
居宅療養管理指導については、全体の10.5%が利用しており、利用頻度としては「月1回程度」が6.0%で最も多くなっている。

一方、52.2%は「利用していない」と回答しているほか、37.3%は無回答であった。

(11) 介護保険サービスを利用していない理由

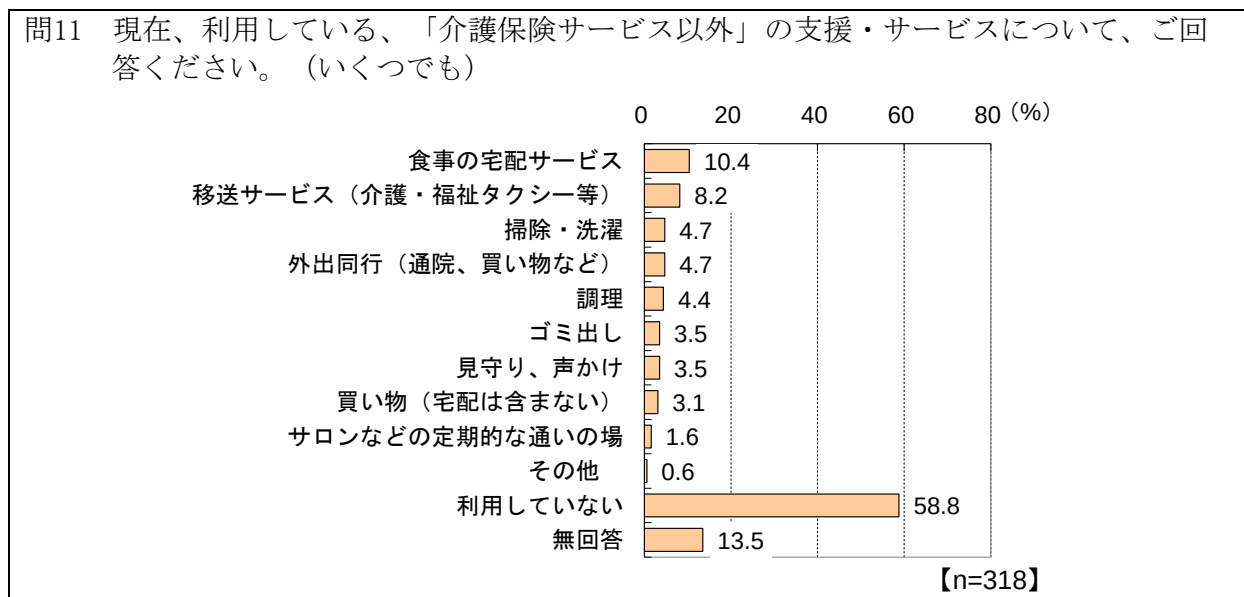
問10 (介護保険サービスを利用していない方のみ)

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも)



介護保険サービスを利用していない方にその理由を尋ねたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が29.9%で最も多く、以下、「本人にサービス利用の希望がない」が23.0%、「家族が介護をするため必要ない」が19.5%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が4.6%などとなっている。

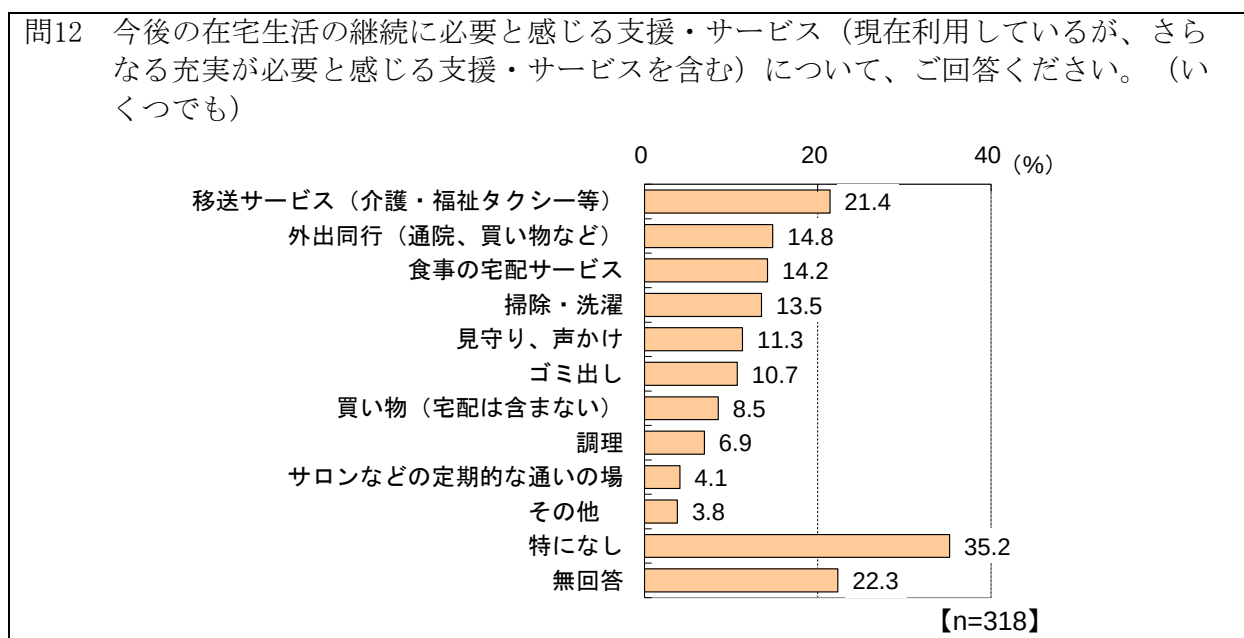
(12) 介護保険サービス以外の支援・サービス利用状況



介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「食事の宅配サービス」が10.4%で最も多く、以下、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が8.2%、「掃除・洗濯」「外出同行（通院、買い物など）」がいずれも4.7%、「調理」が4.4%、「ゴミ出し」「見守り、声かけ」がいずれも3.5%などとなっている。

なお、58.8%は「利用していない」と回答している。

(13) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

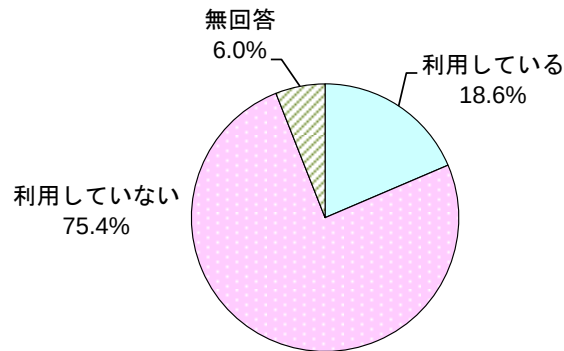


今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が21.4%で最も多く、以下、「外出同行（通院、買い物など）」が14.8%、「食事の宅配サービス」が14.2%、「掃除・洗濯」が13.5%、「見守り、声かけ」が11.3%、「ゴミ出し」が10.7%などとなっている。

なお、35.2%は「特になし」と回答している。

(14) 訪問診療の利用状況

問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つ）

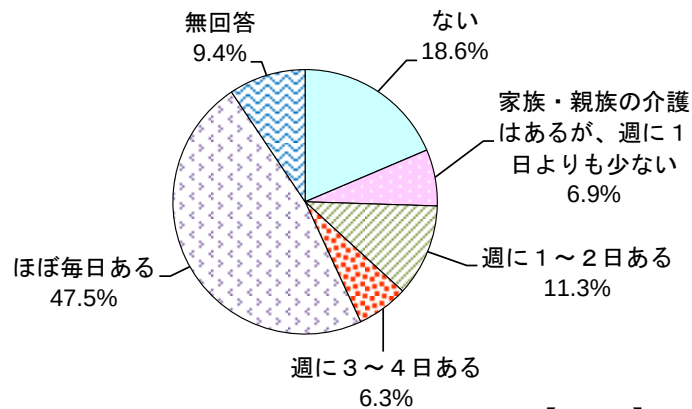


【n=318】

訪問診療については、現在、「利用している」が18.6%、「利用していない」が75.4%となっている。

(15) 家族・親族からの介護状況

問14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つ）



【n=318】

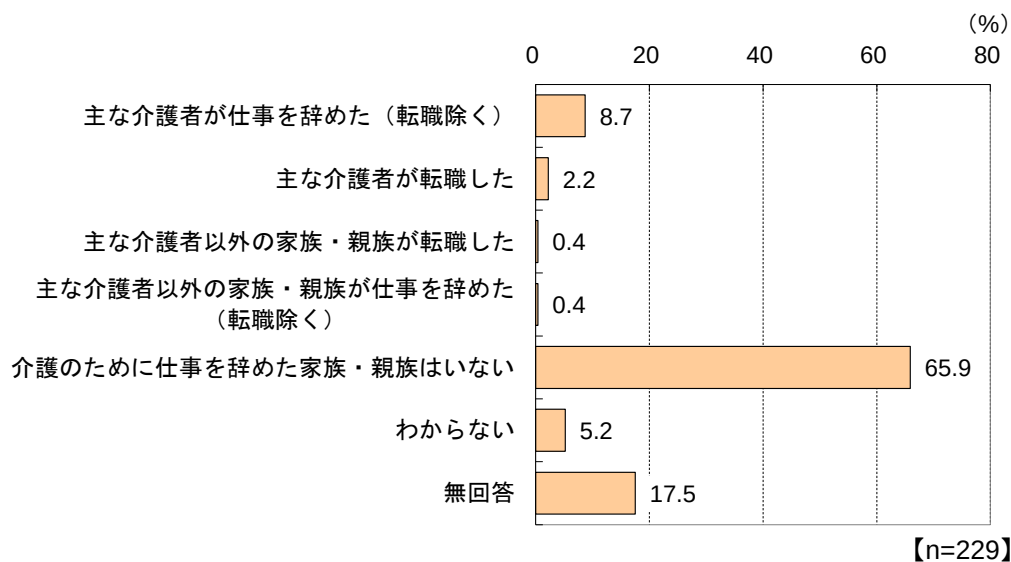
家族や親族からの介護の状況については、「ほぼ毎日ある」が47.5%で最も多く、以下、「週に1～2日ある」が11.3%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が6.9%、「週に3～4日ある」が6.3%などとなっている。

なお、18.6%は「ない」と回答している。

B票 主な介護者の方について

(1) 介護を理由に仕事を辞めた家族・親族の有無

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（いくつでも）

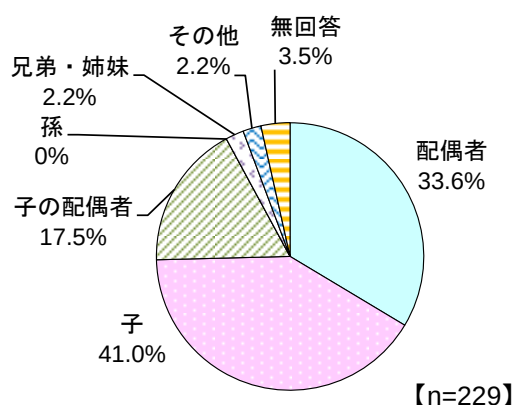


家族や親族の中で、介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた方がいるか尋ねたところ、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が8.7%、「主な介護者が転職した」が2.2%などとなっている。

なお、65.9%は「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答している。

(2) 主な介護者

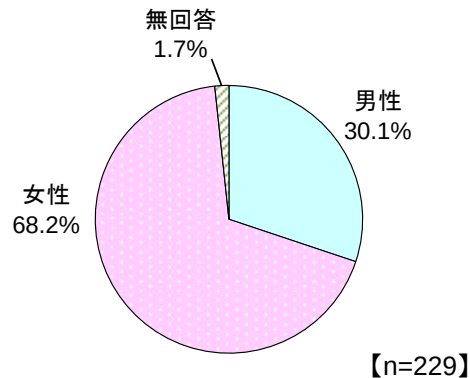
問2 主な介護者の方はどなたですか。（1つ）



主な介護者を尋ねたところ、「子」が41.0%で最も多く、以下、「配偶者」が33.6%、「子の配偶者」が17.5%、「兄弟・姉妹」が2.2%となっている。

(3) 主な介護者の性別

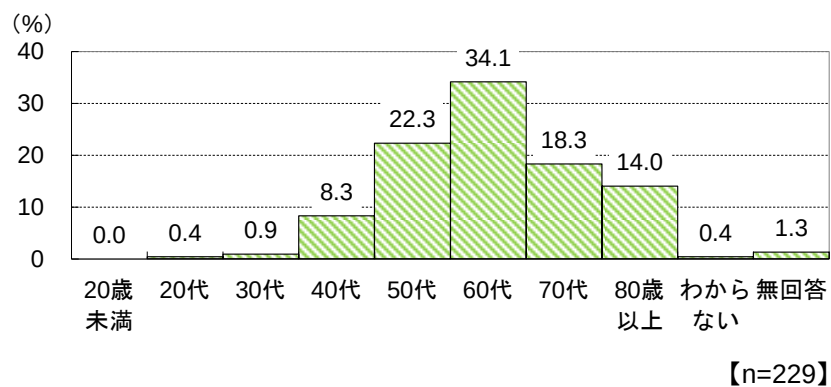
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つ）



主な介護者の性別については、「男性」が30.1%、「女性」が68.2%で、「女性」の割合が大半を占めている。

(4) 主な介護者の年齢

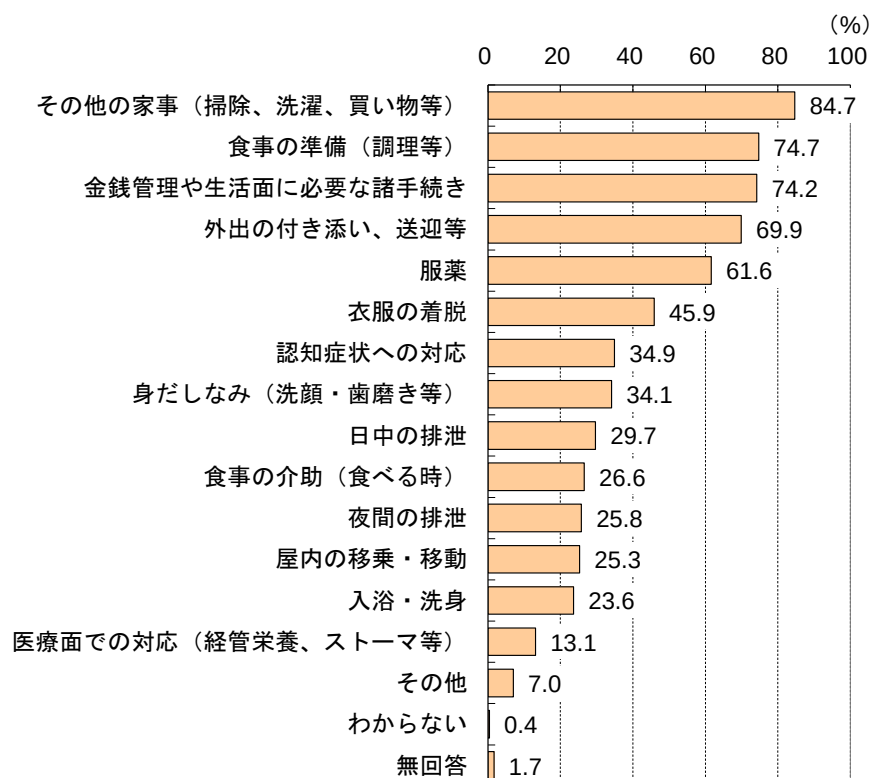
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つ）



主な介護者の年齢については、「60代」が34.1%で最も多く、以下、「50代」が22.3%、「70代」が18.3%、「80歳以上」が14.0%、「40代」が8.3%などと続いている。

(5) 主な介護者が行っている介護

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつでも)

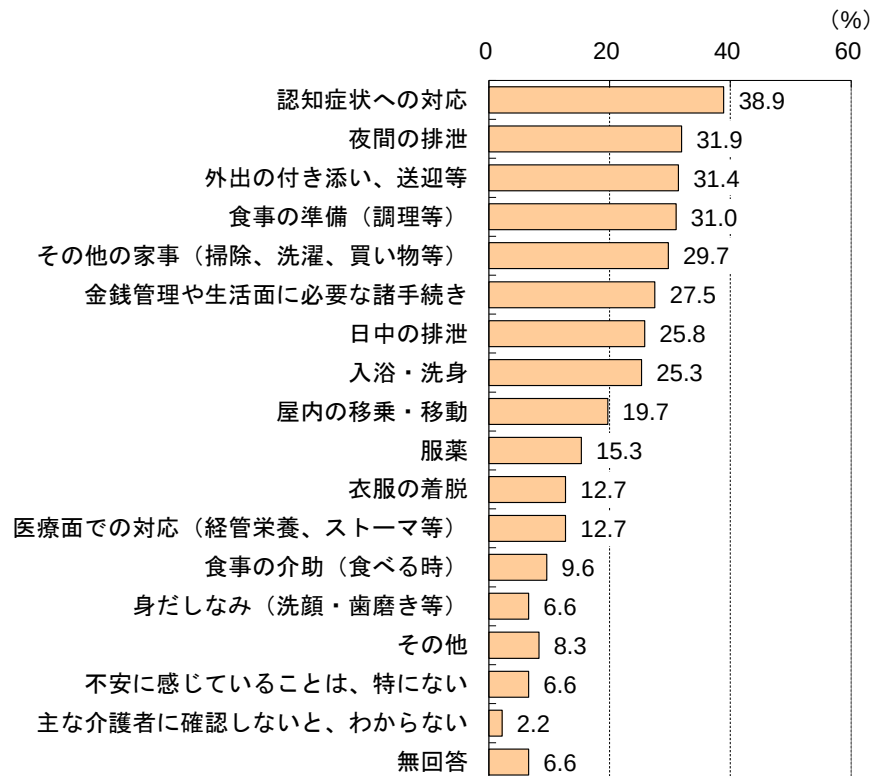


【n=229】

主な介護者が行っている介護については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（84.7%）、「食事の準備（調理等）」（74.7%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（74.2%）、「外出の付き添い、送迎等」（69.9%）、「服薬」（61.6%）などが多く挙げられている。

(6) 主な介護者が不安に感じる介護

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまで）

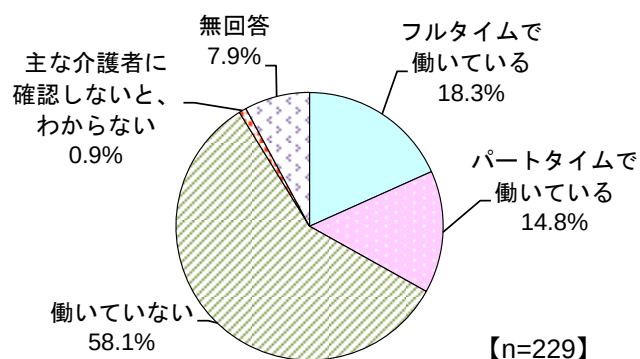


【n=229】

主な介護者が不安に感じている介護等について尋ねたところ、「認知症状への対応」が38.9%で最も多く、以下、「夜間の排泄」（31.9%）、「外出の付き添い、送迎等」（31.4%）、「食事の準備（調理等）」（31.0%）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（29.7%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（27.5%）、「日中の排泄」（25.8%）、「入浴・洗身」（25.3%）などが比較的多く挙げられている。

(7) 主な介護者の勤務形態

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つ)

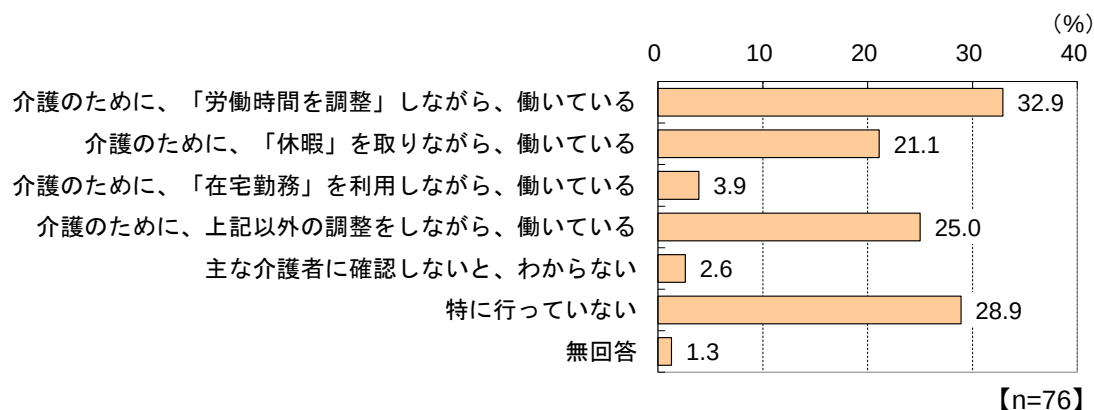


主な介護者の現在の勤務形態については、「働いていない」が58.1%で最も多く、以下、「フルタイムで働いている」が18.3%、「パートタイムで働いている」が14.8%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が0.9%となっている。

(8) 働き方の調整について

問8 (働いている方のみ)

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも)



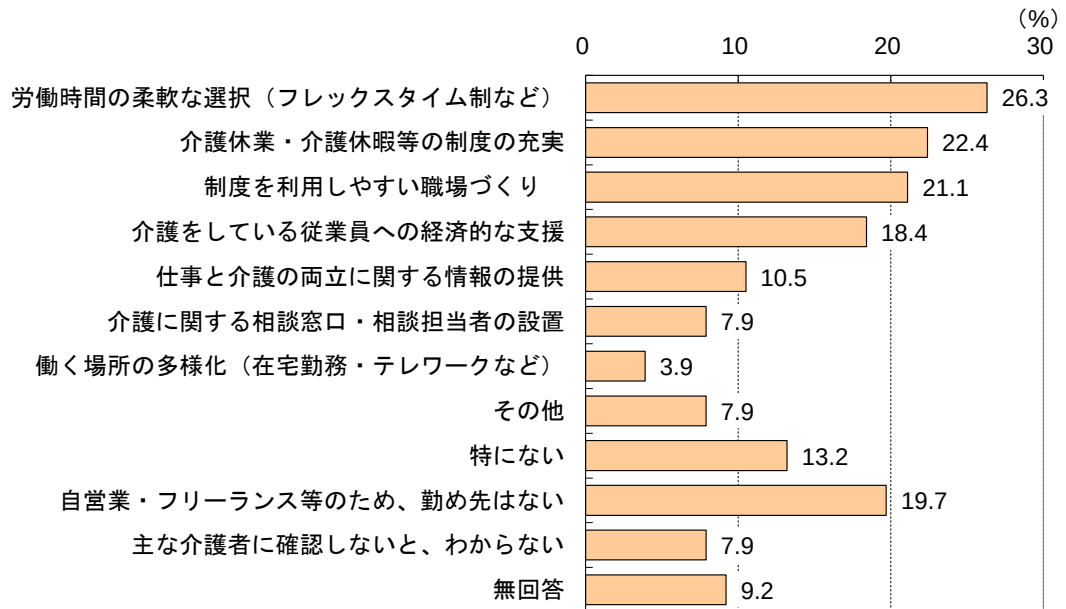
介護をするにあたって働き方の調整をしているかを尋ねたところ、「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」が32.9%で最も多く、以下、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が25.0%、「介護のために、『休暇』を取りながら、働いている」が21.1%などとなっている。

なお、28.9%は「特に行っていない」と回答している。

(9) 勤め先からの支援について

問9 (働いている方のみ)

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで)



【n=76】

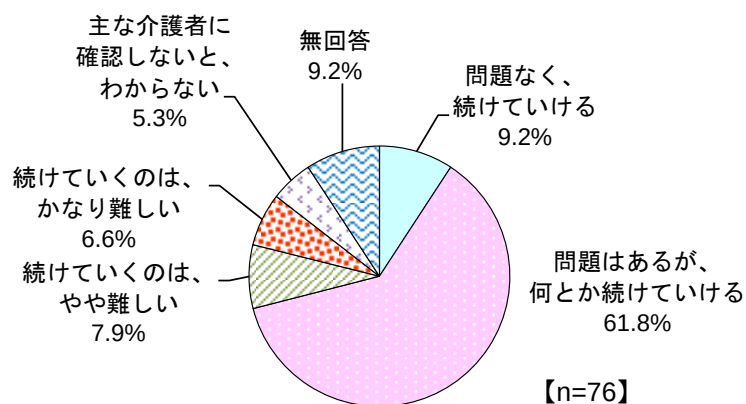
勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか尋ねたところ、「労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)」が26.3%で最も多く、以下、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が(22.4%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(21.1%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(18.4%)などが比較的多く挙げられている。

なお、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が19.7%、13.2%は「特にない」と回答している。

(10) 今後も仕事と介護の両立を続けられるか

問10 (働いている方のみ)

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つ)

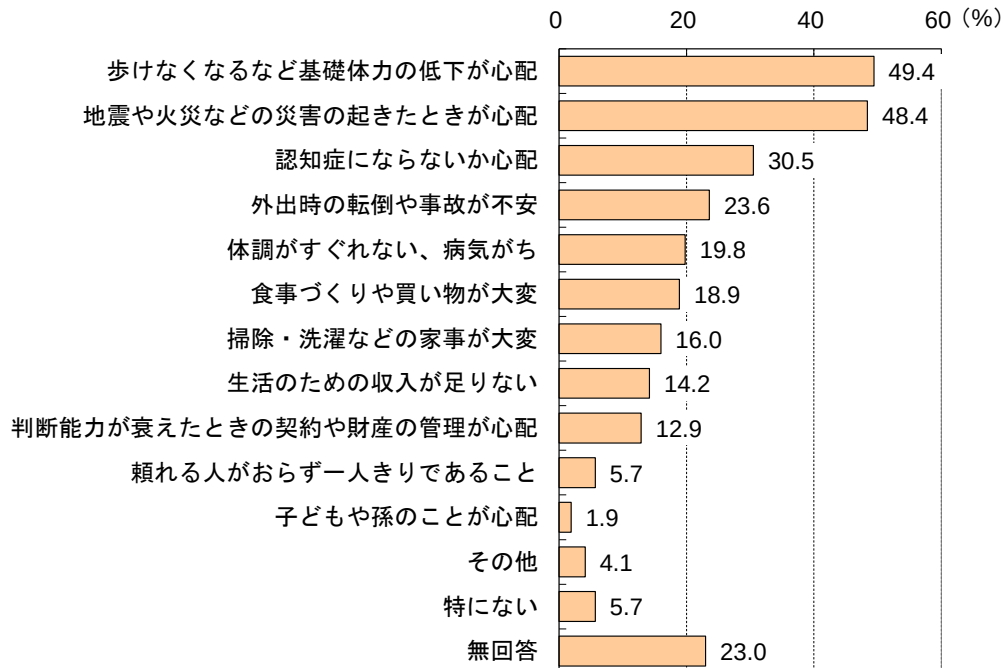


今後も仕事と介護の両立を続けられそうかを尋ねたところ、「問題はあるが、何とか続けていける」が61.8%で最も多く、以下、「問題なく、続けていける」が9.2%、「続けていくのは、やや難しい」が7.9%、「続けていくのは、かなり難しい」が6.6%、「主な介護者に確認しないとわからない」が5.3%となっている。

C票 今後の暮らしや将来の介護について

(1) 不安、悩み、心配ごと

問1 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか。また、それはどのようなことですか。（いくつでも）



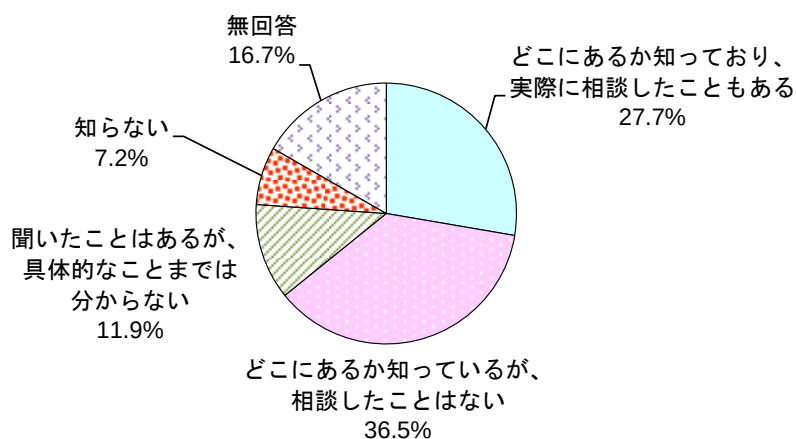
【n=318】

日常生活における不安、悩み、心配ごとを尋ねたところ、「歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配」（49.4%）、「地震や火災などの災害の起きたときが心配」（48.4%）が特に多く挙げられている。以下、「認知症にならないか心配」（30.5%）、「外出時の転倒や事故が不安」（23.6%）、「体調がすぐれない、病気がち」（19.8%）、「食事づくりや買い物が大変」（18.9%）、「掃除・洗濯などの家事が大変」（16.0%）などとなっている。

なお、5.7%は「特にない」と回答している。

(2) 地域包括支援センター(なごみ)の認知状況

問2 あなたは「地域包括支援センター(なごみ)」を知っていますか。(1つ)



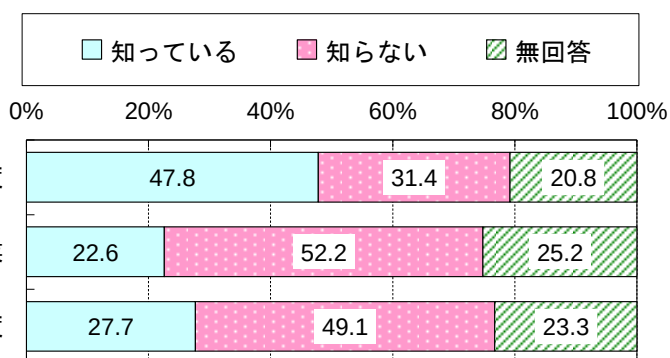
【n=318】

地域包括支援センターの認知状況は、「どこにあるか知っているが、相談したことはない」が36.5%で最も多く、以下、「どこにあるか知っており、実際に相談したこともある」が27.7%、「聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない」が11.9%、「知らない」が7.2%となっている。

(3) 制度の認知状況

問3 以下の制度のことを知っていますか。(それぞれ1つ)

【n=318】



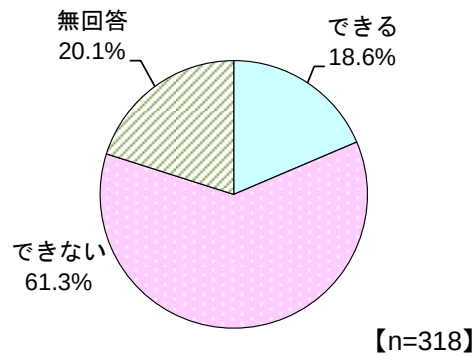
各制度の認知状況について、①成年後見制度の認知度は、「知っている」が47.8%、「知らない」が31.4%となっている。

②日常生活自立支援事業の認知度は、「知っている」が22.6%、「知らない」が52.2%で、「知らない」が過半数を占めている。

③災害時要支援者避難支援制度の認知度は、「知っている」が27.7%、「知らない」が49.1%となっている。

(4) 緊急時に1人で避難できるか

問4 あなたは、災害や火災などの緊急時に、1人で避難することができますか。(1つ)

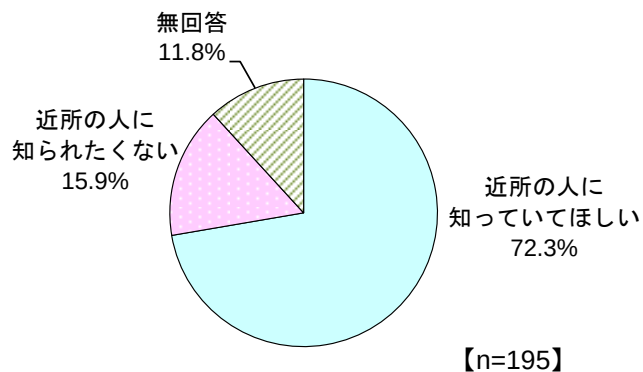


緊急時に1人で避難することができるかを尋ねたところ、「できる」が18.6%、「できない」が61.3%となっている。

(5) 近所の方に情報を事前に知らせておくことについて

問4-① (避難することができない方のみ)

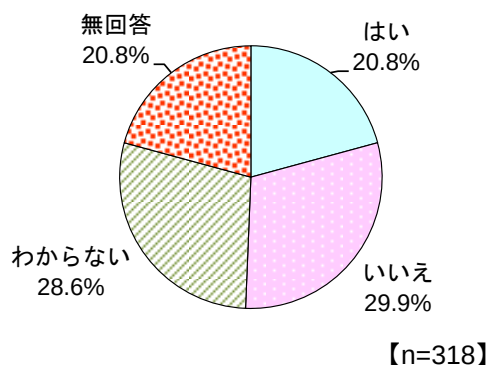
あなたが緊急時に1人で避難できないこと、あなたの住所・氏名・連絡先などの情報を近所の方に事前に知らせておきたいと思いますか。(1つ)



緊急時に1人で避難できない人に、近所の方に自分の情報を事前に知らせておくことを希望するかを尋ねたところ、「近所の人に知っていてほしい」が72.3%、「近所の人に知られたくない」が15.9%となっている。

(6) 特別養護老人ホームへの入所希望

問5 将来、特別養護老人ホーム（介護福祉施設）に入所したいですか。（1つ）



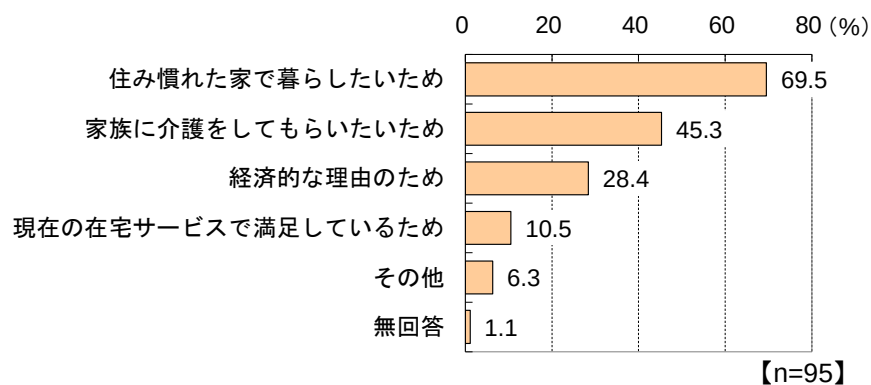
将来、特別養護老人ホームへ入所したいか尋ねたところ、「はい」が20.8%、「いいえ」が29.9%となっている。

なお、28.6%が「わからない」と回答している。

(7) 特別養護老人ホームに入所したくない理由

問5-①（入所したくない方のみ）

その理由は次のどれですか。（いくつでも）

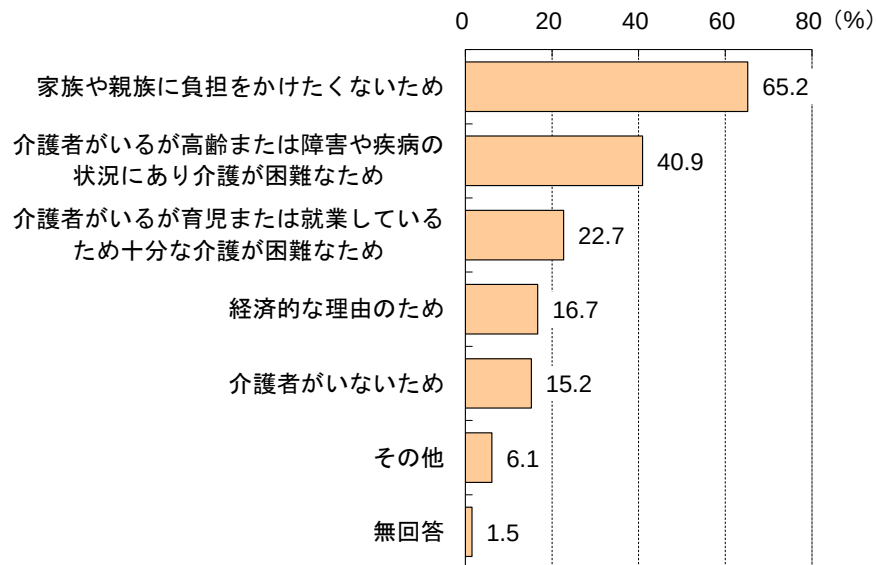


特別養護老人ホームに入所したくないと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「住み慣れた家で暮らしたいため」が69.5%で最も多く、以下、「家族に介護をしてもらいたいため」が45.3%、「経済的な理由のため」が28.4%、「現在の在宅サービスで満足しているため」が10.5%となっている。

(8) 特別養護老人ホームに入所したい理由

問5-② (入所したい方のみ)

その理由は次のどれですか。(いくつでも)

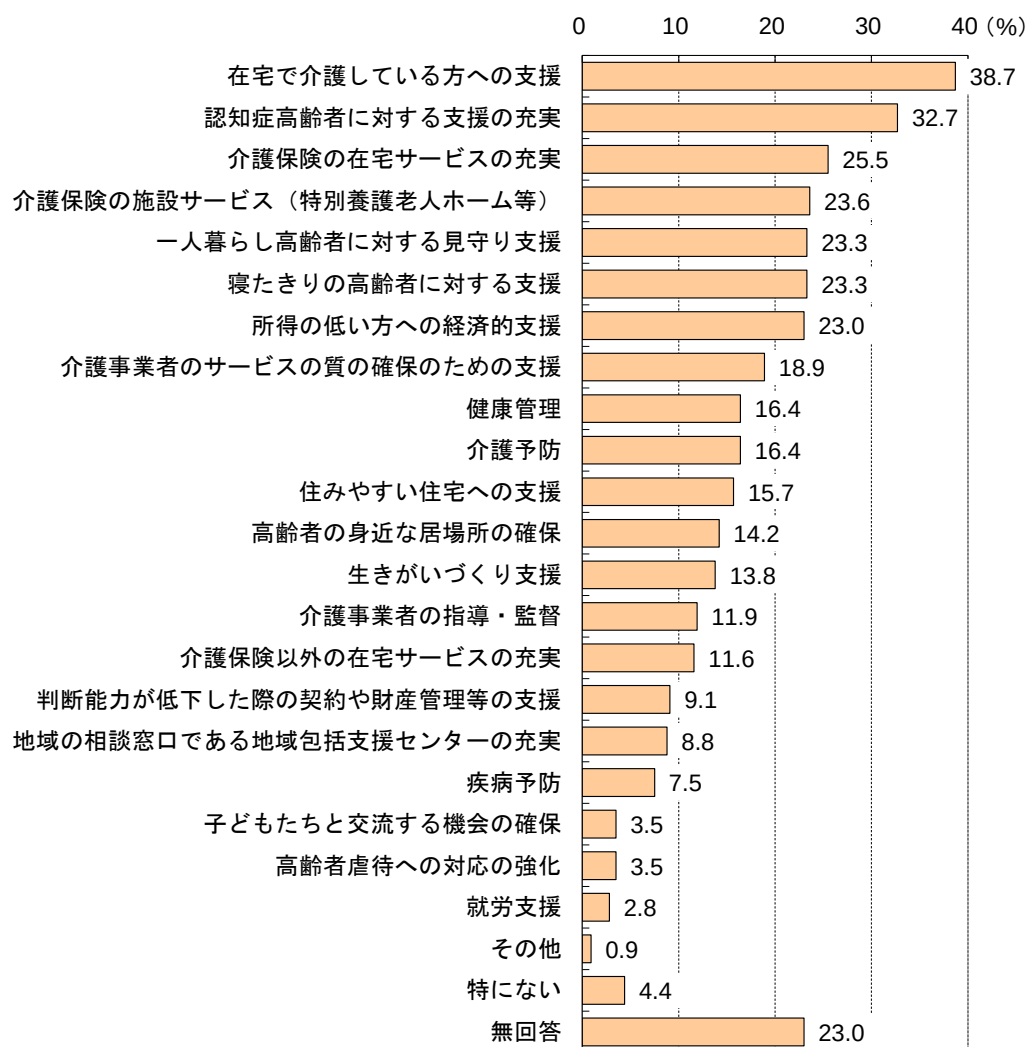


【n=66】

特別養護老人ホームに入所したいと回答した人に、その理由を尋ねたところ、「家族や親族に負担をかけたくないため」が65.2%で最も多く、以下、「介護者がいるが高齢または障害や疾病の状況にあり介護が困難なため」が40.9%、「介護者がいるが育児または就業しているため十分な介護が困難なため」が22.7%、「経済的な理由のため」が16.7%、「介護者がいないため」が15.2%となっている。

(9) 村に力を入れてほしい高齢者保健福祉施策

問6 これからの高齢者の保健福祉施策として、村に力を入れてほしいと思うものは何ですか。（いくつでも）



【n=318】

高齢者保健福祉施策として村に力を入れてほしいと思うものを尋ねたところ、「在宅で介護している方への支援」が38.7%で最も多く、以下、「認知症高齢者に対する支援の充実」（32.7%）、「介護保険の在宅サービスの充実」（25.5%）、「介護保険の施設サービス（特別養護老人ホーム等）」（23.6%）、「一人暮らし高齢者に対する見守り支援」「寝たきりの高齢者に対する支援」（いずれも23.3%）、「所得の低い方への経済的支援」（23.0%）などが比較的多く挙げられている。

Ⅳ 自由記述

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

【65歳以上の方（要介護1～5の認定を受けている方を除く）】

（1）「生きがいがづくり・集いの場」に関すること

- 81才となりましたが、おかげさまで健康体と家族、地域仲間、OB仲間などに恵まれて、現在は生きがいを感じています。しかしいつまでも元気ではいられない。そろそろ真剣に今後のことを考える時間を持ちたいと反省する昨今です。
- ふれ合い食事会で食事作りに参加しています。年に何回かあるが、それを楽しみにしている方もいます。それに出てこない高齢者をどう取り込めたらよいのか。
- 特にはありません。私は毎日外に出て仕事をしており、日曜日は施設を訪れ囲碁をやり、毎週続けており喜ばれていると思っています。相手は勿論施設の方で喜んでくれております。時折ですが、別の施設に行き午後からですが知り合いの人と話をしあけて喜ばれています。
- 毎日忙しく活動してられるような高齢者支援が必要なのでは？「何もすることはない」と言う人も多くいるという話を聞いた。高齢者向けの講座などが活発に展開されれば良いと思う。それには多種多様な講座が必要です。シルバーセンターで働く人が激減していると聞く。分析してみる必要あり。
- 益々高齢化が進むと思う。高齢者が気安く集まれる会話のできる方法、施設、雰囲気づくりの強化、取り組みが必要と思われる。
- このアンケートを書きながら、これから少しずつ学習してみたいと思いました（本・パソコンなどで）。私の世代は多く、これからの老後に向けしっかり意識した毎日を送り、公的サポートなども心強くなると思います。
- 一人暮らしでいると、以前になごみやコミュニティセンターにあったような皆さんと一緒に和気あいあいできる集まりがあり、楽しく過ごしたいと思います。
- 一人暮らしの老人が行きやすいサロンを作ることが大事。サロンでは簡単な体操や興味あることを引き出して、また来たいと思わせることが必要だと思います。
- 毎日声をかけ合うのも大事です。とにかく一人での時間を減らしてあげること。
- 超高齢者世帯（80才から90才以上）になると、地域の自治会活動への参加が困難になるかと思っています。出来るだけ地域の住民の皆様との交流が出来るような環境があれば良いと思います。

（2）「介護予防・健康づくり」に関すること

- 増加する認知症の対策として予防教室がありますが、対象になる人、期間など制限はあるのでしょうか。認知についての相談窓口がありますが、本人・家族が自ら進んで行く人は少ないと思う。民生委員さんは行政との橋渡しの役割も担っているのだから、積極的に関わってもらいたいと思います。

- 村内で実施していた各コミセンでの食事（有料）提供の中止は非常に残念です。シルバーハビリ体操のみでは人が集まらない。大変でも「楽々茶の間」を各コミセンで再開してもらいたい。
- 今年から夫婦ともに70才代となり、また二人とも障害があるのでこれからの病気や認知症etc. の心配がある。知識を増やし積極的に予防や治療を学び、健康寿命を延ばしたいと思います。安心できる老後を！
- 予防の施設に力を入れてほしい。意見を求めるにしても、項目の羅列ではなく、具体的内容を示して欲しい。
- 認知症や体力低下により日常生活が出来なくなることは不安だが、現在はまあまあ健康でいるので、あまり深く考えたことはありません。食事・運動などは自分なりに考えています。
- 現在自分では元気と思っているが、先々は分からない。それに対してどうするのかを考えていかなければと思い始めている。まだ考えたくないとの気持ちもあるが、すぐでもある！
- 介護保険料が高く、年金から引き落とされて、それだけでなく低い年金層が大勢な中、介護保険料を低くするためには、介護保険に頼らない健康でどこまでも生きていける身体を作ること、各自の自覚と努力、そして行政の支援を是非お願いします。
- 私は77才にて親の後を継いで農業をやっております。そのため認知症などになることがないと思っております。村として何らかの支援をして下さるようお願いいたします。
- 老いは確実に迫って来ています。動けなくなり寝たきりになる恐ろしさを感じています。日々の生活が大切だと思っています。簡単な健康体操が出来る場所が近くにほしいと思っています。
- 当面、健康は十分とはいえないが、何とかやっていきます。最後まで自宅で、子どもや親族にもあまり手をかけさせず生を全うしたいと決意しています。ただ願いとは別に、周囲に手のかかる病状、健康病態になることを恐れます。そのためにも老後の自身をコントロールできる病気をと願っています。努力します。
- 各部落の老人会で「絆」をもっと活用しては。筋力トレーニング、認知症予防運動をする。

（３）「地域支え合い・見守り・生活支援」に関すること

- 両親（父96才、母101才）と義母（91才）を見送り経験したことは、私たちの時代ではより厳しいものと思う（老齢の人数が多いため）ので、まず自身の健康と自立のために留意した生活が続け、足腰を鍛え自分で歩けることが大切だと思います。一人暮らしの人は近所の人達（民生委員だけではなく）の協力体制を作り、皆で見守り安心できる体制を！
- 現在は二人とも元気なので介護についてあまりピンとこないのですが、将来どうなるか…。

- 老人介護には近所の協力が必要であるが、現状の自治会活動はゴミ捨て管理だけで老人まで手が回らない。自治会の活用には十分な検討が必要である。介護福祉課は自治会担当の地域課？と充分協力の上自治会活動を見直しては。そのため、東海村民とも話し合いを持ってはどうですか？原子力施設事故にも関連するのではないかと考えています。
- 地域社会の重要な役割は、急増する孤独な高齢者を孤立させない仕組みを作ることだと思います。
- これから自分で出来る限り頑張って生きていこう、なるべく他人の迷惑にならないようにと思っていますが、先のことはわからない。自分で信用できない介護サービスの人達や老人ホームの人達、いろんな事件もあり、詐欺などに遭わないように気をつけたいと思います。
- 介護の担い手として高齢者が活躍できる場があると良いと思います。「要支援」者への家事援助とか施設での簡単なお手伝いなど専門資格がなくても短時間働ける場があると、生きがい・健康づくりになると思います。長寿社会は自分が「してもらう」のではなく、自分には「何ができるのか」を考える時代だそうです。
- 私は高齢（88才）となり長患いはしないと思いますが、肉体的・精神的に認知症として支援を受ける時間が長くなった場合を考えたとき、介護支援制度をどのように利用したらよいか分らず考えます。老化急変すれば近くに住む実弟（村松在住）か、連絡が早めにつく子、次男（つくば在住）に身を託したく思います。
- 一人暮らし高齢者に対する居場所の確保、日常生活の中の財産管理。
- 「どんなサービスでもしてあげますよ」と言うのではなく、「あなたは何をしてほしいですか。私がするのではなく、組織がやりますので気にしないでください」と言って頂きたい。
- ボランティア活動は年のせいでもうやめます。種々な活動があっても恥ずかしい年ですので、つい出かけるのが気になります。もう40年位やりました。最初は一人暮らしの庭の草取り、食事作りをしていました。
- ここ2、3年の間に社協の事業も含めてサービス（特に簡単な事項）の低下が大きく進んでいる。思いやり、心の通う福祉サービスを願う。
- 高齢になってからの病気は長期間かかるので、長い目での見守りと援助の必要があると思います。ちょっとした援助（ミニ援助）があると助かると思います。（例えば粗大ゴミの運び出しなど）
- 現在は自分の事は出来る。病気になってから自分で考えられなくなるのが心配。介護保険や高齢者サービス等々考えておく必要がある。
- 一人暮らしの高齢者に対する見守り支援を充実してほしい。所得の低い方が入れる介護事業所（認知症など）を村で設立してほしい。国民年金額の低い人、年金がもらえない人、生活保護生活者の入居が出来る施設があると良いです。
- 必要なときに宿泊できる、準備期間の有無、あるいはスムーズに宿泊できるかどうかです。

○いつも大変お世話になっております。現在私自身と家族の生活圏ではおかげさまで支援を受けずに頑張れる状態ですが、健康のベースはいつ変化をもたらすかわかりません。また昔と違って家族の状態の変化が大きく（主人の両親は93才と92才にて他界）同居の私たちが全て介護できる状況でした。歳を重ねるに従い、行政や自治会に頼らざるを得ません。高齢者、介護者について、両者の対応には各自治会で大差があるように感じております。いきいきと生活するためには一番身近な自治会での各種活動の充実が必要と思います。地域住民が健康で豊かで楽しければ、その中で生活できる自分自身もいきいきした生活が営めると思っております。健康面（認知症も含み）、食事面、各種活動や助け合いの中での生きがいづくりについて、行政からのご指導指針をお願いいたします。どなたも高齢になります。行政でご指導を頂き、まず定年退職を迎えたフレッシュな若い方々に特に地域の活動に接していただければいいかなものではないでしょうか。

○福祉サービスとして資源ごみ立会当番（年2回、月2回、1時間立つ）ゴミ集荷場のカギ開閉、そうじ（年1回、週3回）など、転倒・身体への負担（寒さ・暑さ）が大きいです。75才以上は免除していただきたいです。

○今後高齢者の増加は必至の状況です。公的支援に頼るばかりでは共倒れになってしまいます。自分たちがより多くの正しい情報を得て（学んで）、できるだけ自立できる賢い高齢者になれるよう努力する必要があると思っておりますが、自分が今健康であるから言えることかもしれません。

（４）「交通・移動支援」に関すること

○年齢と共に外出することが困難になると思われるので、移動手段（図書館や駅への移動）が充実することを期待しています。具体的には居住地と土地施設へのバスの運行（往復）が充実して安く移動できたらうれしいです。

○あいのり君のタクシーが混んでいて利用できないことがあるので、車の本数を増やして欲しい。

○交通手段が悪い。村外でもデマンドが欲しいです。

○現在あいのりを利用しているが、1ヶ所だけで不便。役場や病院へ行けない不便あり。時々時間が10分位遅れる。

○今は医者に行くこともなく、夫の運転で買い物に出かけているが、あと何年出来るか心配です。そうすると買い物難民になってしまいます。団地のまわりでは店也没有。今デマンドタクシーが有りますが、往復すると600円。年金者にとっては大変です。料金を考え直してください。

○私達の所は店が遠いので、今は買い物に行けるけれど、何年か後は行けなくなると思います。巡回車などが週1ペースで来て頂けたら幸いです。となりの町では実施されていて何回か利用したことがあります。店名はカスミ車です。年寄りが多く買い物に来ます。ぜひ実行のほどをお願いします。音楽を鳴らして決まった時間にいつもの所へ…。

- 日頃は大変お世話になりありがとうございます。高齢になっても自由に外に出かけられる交通手段があれば活動的に生活が出来ると思います。高齢者の自家用車運転も無くなると思います。サロンがたくさんあると良いと思います。
- 車の運転が出来なくなったとき、現在のデマンドが運行されているか心配です。
- 趣味で栗原池にヘラブナ釣りに行きたいが、荷物（釣り道具）が多いために車でないと行けない（車で15～20分）。送迎のタクシー料金が安くなればありがたいです。
- お世話になっています。大変かもしれませんが、デマンドタクシーの利用時間をあと1時間（夜）程延長して下されば嬉しいです。
- 豊岡は僻地にもかかわらずデマンドタクシーの予約の電話が何度かけても繋がらないということを高齢者からよく聞きます。私も近い将来お世話になることになりしますので、少しでも改善されることを望みます。（電話機を増やすなど）
- 今は買い物や銀行など車で移動しているけど、出来なくなったときに交通手段がないので、バスなどがあれば良いと思う。子供は勤めているので、いつも頼むことができないので。

（５）「医療・通院」に関すること

- 現在85才、眼病と腰痛で通院が大変です。眼病は駅までシルバーカー、電車とバスを乗り継いで病院へ行く。とてもつらいときがあるが、気を張って行っている。出来る限り、制度や福祉は最低限にと本人は望んでいます。内科はデマンドタクシーを利用、整形外科は週3回シルバーカーで通院、今は自身でするしかない毎日です。
- 自宅で先生・看護師さんに毎週診ていただいています。病院に通っていたときに比べて楽で安心です。時間的にも何時でも来て頂けて助かります。ヘルパーさんにも来て掃除等していただいています。
- まだ健康な人には自立を維持することを支援し、自立を失った人には介護を高めるということだろうと思うので、求められることは幅が広い。それらをやるために行政が予算を組んで箱モノを作って…とやっても行き届かないことが多い。市場に委託すれば採算・効率・競争の波にさらされて質が低下するか高額化して金持ちのためのものになる。一方、地域のために、自分たちの問題として、NPOやボランティアなどが活動している。このようなセクターの活力を高める形で行政が支援すべきことはもっとあるのではないだろうか？より本質的な問題として、“長生きすることから生ずる不都合”に対してケアをすることに高齢者問題の重点が置かれがちだが、結局は死ぬ定めなのだという宗教観・倫理観が希薄である。死を達観し、残された時間をどのように過ごして、どのように去るのか、を視点に捉えて高齢者問題を考える時期にきているように思う。（行政が今それを言い出したら曲解される恐れがあるが）今の「在宅医療」は、高齢者の医療福祉予算を削減する必要から考え出されたものと一般に理解されている。そのような出自をしてしまったこともあって在宅医療医の数や質に不安がある。「在宅医療」の考え自体は良いと思うので、制度上の整備・向上を進めてほしい。

- 現在は病院で完治していないのに2か月で退院する制度があるため、強制的に退院させられました。在宅では生活が出来ないため（介護4級）病院退院日に施設に入居し介護を受けています。このため病院側として病状をよく理解して入院期間を延ばして欲しい。
- 脳卒中・脳梗塞など起こした時、近くの専門病院は村外であるため、移送サービスを利用可能にしてほしい。（村外はダメでは困る）
- 村民全員の健康、医療、軽度のものは、“セルフメディケーション”の知識を高める専門職を増やして欲しい。
- 目の手術が近々あるので、よく見える様になるか不安。通うときも色々負担がかかるし交通が難しい。

（6）「介護保険サービス（居宅介護・施設）」に関すること

- 軽度の要介護者にとっては在宅介護の支援はとても有り難いことです。でも自分でトイレに行けないレベルの重度の要介護者を自宅で介護するのは、あまりにも負担が大きいのではないのでしょうか。そのため、家族が暮らす地域に小規模、あるいは中規模の特別養護老人ホームを造っていただきたいのです。もちろん介護して下さる方々に、現在より格段に充実した報酬を用意し、十分な人員で仕事をお願いしなくてはなりません。この“夢”がかなうならば、私はたとえ消費税が20%になろうとも納得して納税する覚悟です。家族はこまめに施設に通い、メンタルな介護をすべきは言うまでもありません。
- 現在、介護老人が増えている。介護施設をもっと増やすべきだ。それを特に望みます。
- 安価で入居できる介護老人ホーム、グループホームなどの施設を多く造って欲しい。
- 質の良いサービス。
- 現在介護者の訪問サービス（生活援助、医療など）の支援の充実に力を入れていただきたい。介護保険施設の充実。
- 住み慣れた場所でいつまでも生活したいと誰でも思っていると思う。それを少しでも手助けしてくれる介護保険の在宅が重要だと思います。一人暮らしになったときに見守り支援をしっかりとってほしい。民生委員さんが一番頼りになると思うので、民生委員さんの活動と役場を充実してほしい。
- 介護保険利用の認定が難しくなっているのではないか。高齢で保険料を納めるばかりで、面倒を見る同居者のサポートで生活しているのに、申請しても認定から外れると言われてしまう。介護施設に行く代わりにそれを家族が担っていることをどのように捉えているのかとも思います。介護している者にもやりたいことはある。
- 質問の事項は皆必要だと考えます。介護施設は別に預貯金がなくとも入れるのかが心配。
- 介護が必要になったときに自室で生活出来る、訪問・ケアサービス・ヘルパーの派遣の充実。

- 一人暮らしの高齢者施設入所の身元保証人の対策。特別養護老人ホームの充実が一番だと思います。今、要介護の親をデイサービスを利用しながらみているが、家族の大変さを思うと、私がその立場になったら自宅以外で過ごしたい。
- 一人で生活できなくなりました。介護施設に入りやすくしてほしい。村内の空き家を利用して村営の特別養護老人ホームなどを造るなど。
- 東海村には村立の養護老人ホームがありますか。特別養護老人ホームまたは有料老人ホームについて、使用料等どのくらい金額がかかるか教えてほしい。
- 私は足が悪いため、今のところは重いゴミ捨てなどは夫がしているけれど、夫も片目失明、片目0.01の状態。何かと心細い毎日ですが、前向きに、あまり先の事は考えずどうにかなるだろうと、不安をかかえながらもケアサービスに週2回通い楽しんでいます。ありがとうございます。
- あまり周囲（家族、子供達）に迷惑をかけない様に終わりたい。心身ともにそれが叶わぬ状況（判断できない状態）になったら、施設でお世話になりたいです。最後まで笑っていたいものです。
- 5年前に股関節で足が不自由なときに、右手首を骨折しました。1カ月近く不自由でした。そんな経験をしましたので、介護保険が利用でき短期間の宿泊施設があって介護が受けられたらと思いました。日常に戻れるまでの宿泊施設があれば有り難いと思います。
- 私達夫婦には子供がいないため、どちらか先に亡くなったときに気軽に入所できる老人ホームを多く造って欲しい。

（7）「介護保険制度」に関すること

- 介護保険料が高すぎる気がする。若いころ好き勝手をしていて、倒れたら他人の世話になるなんて甘い。倒れたら仕方がないけど、多くを望まないでもらいたいので、介護している方への支援だと思う。
- ベビーブーム時代に生まれた我々にとっては、そのとき（介護が必要になったとき）に、必要な介護施設のサービスが受けられるのか。そのときに年金だけで受けられるのか。（年金が引き下げられているので）
- 介護サービスを提供するヘルパーさんの待遇改善。パートさんの給料アップ。
- 施設介護を必要なときに受けられれば良いのだが、介護の格付診査（役場・医療機関）が厳しく、介護サービスが受けがたい現状になっていないか。こうなると介護保険料は納めたくないと思う。この点は非常に重要。是非利用しやすい制度の運用に努めてほしい。
- 多くの高齢者サービス施設があり、有り難いことと思う一方、経費が心配な点がある。介護に携わる人もかなり足りないという話を聞く。十分な給与も不安な点で、なり手が少ないのは残念なこと。高齢者の数の多さも気になっている。いろいろな問題が多すぎて、良いのか悪いのか全く不明。肩身が狭い。

- 設問においても、訪問診療においても、介護にかかわる方の良い人材の確保と質の向上に務めてほしいと思う。
- デイサービスの件、介護等級認定面接に偽りあり。厳格な認定を要望します。新人民生委員の人選を厳格に。
- ヘルパーさんに、訪問するための時間手当を付けてあげるべき。ヘルパーさんの料金をもう少し上げた方がいい。ヘルパーさんが自分の車で利用者さん宅に行くときはガソリン代など交通費を払う。介護施設で働く人の基本給ももっと増やし、勉強した人には給料を段々上げること。
- 現在のデイサービスはお金さえ払えば体に関係なく週に何日でも利用することが出来るのか。利用したくても利用できない高齢者。何を基準にどこで誰が級を決めているのか、矛盾点だらけ、ヘルパーさん次第なのか…。施設でも職員が利用者にあこひいきの態度で接していることが多くある。
- 介護に係る人の質の確保をお願いします。介護の仕事は大変とは思いますが、最近のニュースを聞くと人の質が低下し、虐待まで発生しているのは悲しい。多分、介護の仕事は最も安易な仕事と考えている人がいると思う。背景には介護の仕事が安い給与であることも関連しているように思います。

(8) 「経済的な問題」に関すること

- 現在介護保険料を支払っている訳ですが…。実際に介護を受ける状態になったとき、保険で賄って頂けるのかがちょっと心配であると感じております。
- 国民年金で介護サービス、どこまで受けられますか。
- 年金でこれからの生活をまかなえない人のためにリバースモーゲージ制度を使える様にしてください。お願いいたします。
- 夫婦で介護を受けているが、介護金額が違う。
- 現に介護をしている人がサービスを受けようとしても、金銭面が大変で思うようなサービスを受けられないという話をよく聞きます。(百パーセント満足な介護(福祉)は無理と言うことが前提の上で)
- 介護保険料を低くしてほしい。
- 寒い冬、夜中のトイレが大変つらいです。少しでも水分がこぼれると冷たくてひどいです。そこで冬だけでも紙パンツがほしくなります。87才以上の、トイレへ自立で行かれる人には、安い値段で買える様に考えてほしいです。
- 自分も妻も施設にてほぼ満足の生活と思えるのは、ある程度の年金があったからこそと思う。年金が少ない人もいるはずで、その人を気の毒と思う反面、自分もそうだったらと思うとぞっとする。
- 少しの年金から介護保険、後期高齢医療保険を差し引かれて生活が厳しくなる。

(9) 「情報提供・相談窓口」に関すること

- 現在私は1人暮らし、特に不自由なしで生活しています。が、いつ何が将来起こるか予測断定も出来ません。高齢者は内部に不安や心配事が多々あります。増える高齢者のため、細やかな説明、情報を常にお知らせいただければ…。
- このアンケートはサービスする側のアンケートであって、サービスを受ける側（知識のある人となない人で大きな違いが生じていると思う）に立ったものです。本当に困っている人を助けるのであれば、もっと具体的に、例えば年収0で寝たきりになった場合どんな補助・支援が受けられるのかなど例としたものを、各家に配布してよく知ってもらう必要があるのではないのでしょうか。村の財政とのからみがあると思いますが、本当に困っている人を見てあげるのが必要であると思います。
- 私は昨年「ひたちなか市」より転居したばかりだからなのかもしれないが、特に介護保険、高齢者福祉サービスなどのコミュニケーションの動きが少ないように思います。単に回覧板の回覧だけでは情報不足の感じです。
- 今の所生活に不自由はないが、もし自分の身の上に不幸が降りかかったらどうしたらよいか迷ってしまうことでしょう。そのときのためにも、いろいろな体験を経験した方の体験談を聞きたいと思います。
- 病気になったときどんな介護やサービスがどのような手続きで受けられるのか地域包括センター（なごみ）に相談することができることは安心につながると思います。
- 家庭の中で一番自分が年上だから、年を取ると色々と考えてしまいます。もし寝たきりになってしまったら大変。高齢者福祉サービス等少しは分かりますが、よく説明して下さることを祈っています。内宿の出張して下さる先生を頼んで、自分は出来る限り頑張ります。
- 地域包括支援センターでの業務内容の村民への周知。認知症予防教室（ゾテリア）の成果の実績はあるのでしょうか？
- 現在はまあまあ元気なのでまだ深刻に考えておりません。身体が衰え日常生活に支障が出ることを思うと「大変だ、大丈夫か？」と不安な気持ちになります。でもアンケートに答えながら、村にはさまざまな支援がある様子がわかり、とても心強く思いました。ますます相談しやすい窓口にしていだけたらと願います。
- 介護保険制度や高齢者福祉サービスの具体的内容のPRをしてほしい。
- 現在は介護サービスや高齢者福祉サービスを受けていません。制度や福祉サービスを受ける様になったらどんなことをしていただけるのか不明です。内容を早めに知っておく必要があると思います。
- 親族の介護担当者への思いやりと理解。介護、サービス業者、福祉を担当している方は認定・相談で家庭内を知ることになるので安心できる職員の指導。現福祉課はとても話しやすいです。税務課の方、福祉課の方、ご多忙の中ありがとうございました。
- 保険制度や福祉サービス等について、単位自治会単等でわかりやすく説明することも必要であると思います。

○介護保険制度や福祉サービスが必要となったときのために明確な受付窓口の周知徹底を望みます。

(10) 「まちづくり・村への要望等」に関すること

○東海村の高齢者福祉サービスの充実が良いと思います。要望など特にありません。これからも宜しく願い致します。

○介護福祉課の皆様の東海村を思う気持ちいっぱい素晴らしいと思います。他県から転居して間もないので思うのですが、では村民はどう思っているのか。全くこのように努力しているのに我が家のみ雨風地震に強ければ良しとして暮らしている。甘えているばかりですね。村長さんにお任せ気分ではないですか。一人住まいの人、老人ホーム、認知症、思いやりのない村になって来ているのではないのでしょうかね。お買い物の自家用車で満車、事故のないようにと思います。子供、お年寄り、事故ゼロの日があるように頑張ってくださいと、老人の笑顔があふれる東海村に希望を持っています。

○何事もコミュニティセンターの場所なので、そこまで行くのが大変。集会場所（簡単な場所で、午前・午後に語り合うなど、昔を懐かしむところ）が近いとよいです。年寄りを考えられる人間に若者を教育する事。若い人が働ける会社や職場を作らない限り、年寄りは寂しい生涯を送ることになる。

○近い将来東海村は確実に高齢社会になる。村としての将来計画を早急にかためてほしい。計画は数年毎に実情に合わせて変えていけばよい。なにせ東海村は資金的に裕福なのだから。

○あまりにも過剰なサービスは必要ないと思います。若い方々の「老いた人」に対する気持ちが逆に妬みになると思うし、子育て中の若い家族なども経済的に大変です。そちらの方に予算を回して欲しいです。これからの日本を担う人々です。

○福祉日本一を目指している自治体として、箱物ばかり造らないで高齢者や障害者そして貧困者に暖かいフォローをお願いします。

○他市町村に比べ東海村の福祉サービスは良いという話を聞いております。さらに充実し、日本一と言われるくらいの村になってほしいと願います。高齢者にとって住みやすいことはなによりです。

○昔のように、毎年何か品物をもらいたい。（以前は押し車とか）

○保健福祉施策として、介護医療にあたる勉強を積んだ人、家族同様な人材と育成が望まれる。

○幸いにも今の所夫婦共々元気に過ごしており、村で行っている高齢者への保健福祉施設に疎ましいこともあってあまり活動を理解していない。しかし、関連する疑問や要望に適切な対応を受けた経験があり、感謝し満足しており安心している。

○高齢者福祉介護保険事業は、質問にあるような施策も必要と思いますが、住民（子供達も）全体の課題として位置づけ、村の事業の目玉として長期的に取り組むことが極めて重要と感じています。

- 介護（看護）が必要になっても自宅で暮らしたいと誰もが考える。最近、国や自治体も在宅での医療、介護を強く勧めている様に思える。ただしそれを実現するには昼夜を問わない看（介）護師の派遣、必要なときすぐ入所（院）できる体制づくりが必須である。そのような安心できる体制があつてこそその在宅介護医療であり、ただ国・自治体が出来るだけ経費を安く済ませるだけの在宅であつては決してならない。
- 今後、原子力が下火になっても（今までは日本一の原子力の町）これからは日本一の福祉の町を目指して頑張ってもらいたい。
- 郵便物の投函が在宅でできる方法（局員が直接持って行ってくれる）があると良い。
- 弱者のサービスの充実。
- 病気、怪我による身体障害者に対する対応を充実してもらいたい。例えばプールなどでのリハビリとか障害者向けのスポーツを行う場所、等級による金銭面の補助。障害者専用の施設、器具（車いすなど）の値下げ。

(11) その他

- 当村はかなりこの事業は充実していると思っておりますが、その立場に立って考えないと分かりません。
- 毎年対象者の負担が大きくなり、若い者の世話にならず、老後も就労・健康管理・日常生活支援を受けずに自力で暮らさなければならない日本国になるようですね。
- 介護保険制度などが出来る前でのアンケートなら意味があつたと思いますが、現在ではこの道のプロがいると思いますので、全て答えはあるでしょう。一般アンケートは意味が無いと思います。
- その立場にならないとまだ実感しませんが、年齢的にいろいろこれから勉強したいと思います。宜しくお願い致します。
- 私は嫁と同居していますが、言葉を交わさない日が多くあります。とてもいやです。
- 心臓病で一級障害者になってしまい、その手続きでお世話になりました。親切に対応していただきありがとうございました。これからも申請に行くことがありますので、よろしく願いいたします。
- 具体的に直面してみないと分からない事柄については想像し記載しました。
- このアンケートを機会に色々と考えさせられました。
- 転居して1年未満なので、施設、制度などを勉強していきたいと考えています。
- 要望はたくさんあると思いますが、何をどうお願いするのかわかりません。
- よくもまあ多くの質問事項があること、もう少し簡単に出来ないものか考えてみてください。（高校入試みたいな感じだよ！）
- 自分がどのような状態になり、どのような支援が必要になるのかがよく分かりません。そのため上記17項などは全て必要ともなるように思われ、項目を定めることが困難です。

- 特定疾患（難病やモヤモヤ病）のため、本人の判断能力が低いため、夫が記入しました。一部そぐわない部分があったかと存じますが、ご了承ください。
- このアンケートが公表されることを望みます。
- 草取り単価は今まで通り 1 時間200円に。（軽作業 1 時間1000円（H28年 4 月より。））、高齢者として85才を過ぎると一年ごとに容易ではない。
- 私自身このようなアンケートに記入すること自体考えたこともなく、世間的にはやはり高齢者なのだと実感しました。しかしあまりに長い設問に対し、高齢者には判断が難しいのでは？ 年齢で判断できることでもなし。個人差も大きいのではないのでしょうか。
- 今の所おかげさまで元気ですので、別にこれといった意見が見つかりません。
- 一年前に脊柱管狭窄症と診断され、日常生活が制限されるようになりましたが、今のところ何とかやっています。介護保険についてはまだよくわかりません。
- 現在元気なので、これを機会に学んでいきたいと思います。
- 本当はもう考えるべき事柄なのは理解しているつもりなのですが、まだ本気になれない自分があるのがこのアンケート記入で知りました。
- このアンケートが介護予防・在宅医療に役立つことを期待します。
- かねがね回覧されてくる村の“知らせ”や“報告”を見るにつけ、東海村は高齢者のことは全く考えていない所と思っておりました。東海村に住んで42年、家を建てて16年、常日頃（特に70才を過ぎてから）失敗したと腸（はらわた）燃ゆる思いでした。このたびようやく少し心 and らぎました。
- 貧困がなくなれば村財政は更に安定し、犯罪なども減少します。そのためには貧困家庭の子供の教育への支援（投資）が重要です。とりあえず村民税非課税家庭等、生活支援が必要である家庭の子供対象に（将来は全生徒）高校までは受験・入学・教材・小中学生給食代等、教育費の無償化を財政独自で遂行すれば30年後の東海村は福祉の村として全国的に認知され知名度の高い福祉を誇る村へと変身するでしょう。
- 現在健康の為、在宅医療・認知症等あまり考えたことはありません。このアンケートを機会に少しずつ勉強したいと思いました。
- この調査がアンケートならば詳細な設問に応じることは出来るが、特定された個人の私的な面に立ち入っている問いが多く、答えにくい。
- 実態調査ならば民生委員も日頃の活動の中で確認しているはずだ。協力を得て共通の資料を基に分析検討が出来るのではないか。またこの調査を確認するためにも、村（担当課、社協）は地域に出かけていって高齢者の実態に触れるべきではないか。
- 出来上がった調査書（あるいは計画書）は多くの住民に届け理解されなければ行政のむだになる。徹底活用を望む。
- 各回同一人への調査（アンケート）になっていないか、多数からの意見・考え方を集めて実のある活用をしてほしい。
- 国や村がいろいろ考えて下さり、有り難いと思っている。

○分かり切っていることを聞くな。原子力の村なのだから、もっと楽に暮らせたはずなのに、転居などの金で終わった。

○両親、兄弟、子供のいない一人暮らしの者には酷な質問でした。

○もう疲れしました。高齢者にこのようなアンケートはいやです。83才になってその力はありません。私はもう認知症になったと思います。あなたは83才がこのようなアンケートにすらすらと答えを出し、書く、読むことが楽にできると思いますか。高齢というのはつらく、疲れる。物事が容易にできないと考えてください。ポストまで行けないのでいつ届くか分かりません。

2 在宅介護実態調査

【要支援・要介護の認定を受け、在宅で生活している方】

(1) 「家族介護の支援」に関すること

- これからは在宅介護者の援助に少し手を差し伸べていただきたい。
- 介護用品の給付は近くのドラッグストアを使える方がよい。今まで通りと二者択一の方法が取れたらと思う。
- 介護用品支援（尿パット等）使用量が毎月違うため、電話での注文がわずらわしい。以前のように必要時に買いに行けた方がストレスは少ないと思う。
- 介護している者が孤独になりがちであること。介護している者が集う場所がない。また、在宅介護をしていると出かけることもままならない。1か月のうち1～2、3日でいいから代替えしてくれるプロを養成してくれたらと思う。
- 去年は紙パンツの券が出ていて、いつでも買うことが出来たが、注文するシステムになってから少々面倒になりました。フルタイムで働いている方などは大変だと思いました。また、紙パンツ以外の品物も購入出来ていたので助かっていました。注文ではなくて1年間の券を調整すれば良かったと思います。
- 介護用品の補助金額を介護度によって6千円だけでなく多くしてもらいたい。介護用品購入の補助についてですが、従来のように自分の好きなときに好きなところで購入できるようにしてほしい。今の業者を残しても良いが、1ヶ月に1回しかも配達が1週間後では困る。デイサービス、他施設利用時の補助金を少しでもお願いしたい。（特に介護度が高い人向け）今後1人暮らしの高齢者が増えてくるとゴミ出しも大変になるので、ゴミの収集方法を考え直して欲しい。福岡では、各家の前に出したゴミを深夜収集している。資源ゴミの当番など高齢者には大変。デマンドタクシーは土日でも利用出来るようにしてほしい。また、時間外や近隣の地域へ行く場合もあるので、割増料金で利用できるようにするとか、タクシー利用のサービス券など考えてほしい。
- 今は健康ですが、介護している自分が倒れたらと思うといつも不安です。
- 子育て中に並行して介護をするという「ダブルケア」をしている。両方に時間を取られ、お金がかかり負担が大きい。半日・数時間だけ等、短時間預けられる介護施設がないと学校行事や子供のための時間に対応できない。たとえ2,000円弱でも預ける負担（経済的）を感じてしまう。負担が軽くなり、気軽に預けられる制度がほしい。
- オムツの支給、有り難く思っております。今年度からカタログから選ぶ形となり、今まで使っていた物が使えなくなり困っております。体格や症状に合った物をようやく見つけて便利だったのですが……。購入券には戻らないのでしょうか？ 又はカタログの品をもう少し広げていただけたらと思います。
- 介護するにあたりまして、介護する者への心のケアなどの充実をお願いしたいです。共倒れしそうです。

(2) 「地域支え合い・見守り・生活支援」に関すること

- 楽々茶の間のような場所があれば良いと思います。
- 認知症カフェ。
- 介護する人同士の交流。
- 自治会への参加は継続していきたいが、会計などの事務の当番やゴミのカギ当番などは免除してほしい。現在デイサービスにて運動しています。9～4時まで、火・金。

(3) 「介護保険サービス」に関すること

- 村営の特養老人ホームを造ることを真剣に検討願いたい。今後急増するであろう老人のため、村在住者優先とし、この特養で働く人も村民優先、この特養の中に幼児も預かり、村内の就業率向上も図れて一挙多徳。民間まかせでなく、村行政に取り組んで頂きたい。
- 制度等の押し付けサービスでなく、要介護者が本当に必要とする実態にあったサービスを要望する。
- 介護が必要でも、家族と同居していると使えるサービスの制限がある。介護する者が仕事をしている場合、サービスが使えず要介護者が昼間1人になってしまう。仕事をしている家族は別居をしないとサービスが使えないのはとても不便である。
- これから地域では独居の方が増えると思います。「家族は帰って来るのかな」来ない。(今現在、元気で生活している、不安な声を聴きました)村内の訪問介護員(ヘルパー)を利用していますが、食事づくりに対して専門職が作る料理には不満を持っています。(調理に本人の好みを聞かない。ヘルパーの感覚で作成している。声かけもない)これからヘルパーさんに対する勉強会が必要です。
- 認知症の夫を在宅で介護しておりますが、保険制度を利用してデイサービスに行っております。その時間身体を休めることができ、助かっております。要介護度が高くなると費用が増額になると聞きました。支援の充実をお願いできればと思います。
- 寝たきりの状態にいるが、天気の良い日等車いすに乗って散歩が出来たらいいな～。それには介助者が2人はいないと不可能。早くロボットが現れないか期待しています。
- 在宅介護をすすめるためにはデイサービス、ショートステイを充実させるべきだと思います。デイサービスボランティアの方などもカラオケを聞かせていたが、「歌う天国、聴く地獄」という言葉もあるように、利用する高齢者の中には嫌いな者もいることを考慮して欲しい。単に時間を過ごすだけのサービス等もあるようですが、デイサービスもリハビリ的なことを充実すべきだと思います。このことを行政面からも指導すべきだと思います。
- 介護事業者や支援に携わる方が少しでも「我が身をつねって人の痛さを知れ」の気持ちで支援してくれるよう指導してほしい。

- 高齢者に対しての制度サービスを利用させていただいており、とても助かっております。認知症の義母との同居をしておりますが、いつも家に居る者がすべてをみなければならず、とても大変です。この先寝たきりになったりすると、これ以上に大変になると思います。老人ホームなどの充実をお願いしたいと思います。
- 老々介護で介護していた父が体調をくずし母の入所を待っているが、今後父が体調だけではなく認知症が進んだらどうなるのか本当に不安。せめてどちらかでも入所できればと思う。
- 現在グループホームに入所していますので、在宅介護実態調査は回答箇所が少なく苦劳しました。グループホームではスタッフの皆様から手厚い介護を受けており感謝しています。いつも思うのですが、スタッフの皆様の待遇改善を希望します。よろしくお願いします。
- 現在送迎付きリハビリ施設を利用し大変助かっております。脚骨折にて自宅入浴など出来ませんし、介護者の夫も病弱のため、将来ともぜひ継続させてください。お願いいたします。
- 食事づくりのため、ヘルパーさんにお世話になっております。皆さん資格を持った方々だと思いますが、資格以前の問題で、その方の人間性が問われるようなことが最近ありました。もちろんごく一部の方です。信頼関係が揺らいでしまったことが残念です。難しいとは思いますが、ヘルパーさんの質を高める努力を切に願います。
- 訪問介護に来てくれる人はよく気がきいていてムダなくやってくれます。見よう見まねでやってるつもりでも相手が人間なので自分ではなかなかうまくいきませんでした。
- 認知症の一人暮らしの母をなごみの職員の方、民生委員さん、ヤクルト配達の方々に助けいただきました。安全のための皆様からの言葉かけも母は全て拒否してしまい、「何でこんなことを言われるのか、一人でできるのに」と“自分は出来る”と取り繕うので本当に難しい状態でした。何度も足を運び連絡していただき、グループホーム入所までお世話になりました。一人暮らしの方への支援は特に大変でしょうが、よろしくお願いします。
- 自宅介護が出来なくなったときにすぐ入所できる特養が近くにあるように、またずっと入所していただけるように。高額な料金ではとても無理なので、サービスが誰でも受けられることを望みます。
- 高齢者世帯のため特別養護老人ホームへ入所したく、申請について役場の担当係に相談してもいつも要領を得ず、入所できずに困っています。係員の無責任な回答でなく、誠実な回答をすべきと考えられます。名ばかりの介護係など不要と考えられます。困っている人が介護施設に入所できるような行政を望みます。

(4) 「介護保険制度」に関すること

- 介護者の身体が動くうちは、極力在宅介護で面倒を見るべきである。安易に外部福祉施設を利用していると介護保険制度が破たんする。（医療保険も同じである）介護保険制度に便乗した業者が多いと聞く。

- 介護の必要がなさそうな方がいますが、その方は要介護1なので、大威張りで介護施設に來ています。どの様にして判断しているのでしょうか？
- 介護されている人と介護している人の基準が違うので、ズレを感じました。
- お世話になっております。私の父は昨年8月より介護度が5になりました。介護度5になると紙オムツの申請が出来ると言われ、その旨伝えたところ、介護者が他市だったので駄目だと言われました。父親は東海村に住んでいるのに、その人のために使うのにそれは差別と違いますか。納得がいかず、ずっと心に思っています。
- 高齢者の晩年を、支援1や介護2などの数で認定して支援する（毎年判定時に）現介護制度に抵抗があります。家族・認定者への質問、お仕事として思いやりをもってお願いします。2/3（金）認定のために来訪して下さった方へ。お帰りになった後、夫は一日中精神的に安定していて楽しかったようです。ありがとうございました。私も今後も相談しやすいです。

（5）「経済的な問題」に関すること

- 介護料の補助金が廃止されてしまったのは残念。戻して欲しいです。
- 議員数、交流館等余裕があるので、在宅介護の支援の充実、助成金の復活をお願いします。シルバー体操等での介護予防でなく、理学療法士によるリハビリ等を希望する。
- 生活保護費を上げて欲しい。村で支援をして欲しい。
- 政治家は、目立つ箱物（交流館）を考え易い。建設後の維持管理費も大変と思います。税金を還元する意味でも、箱物でなく、在宅介護の支援の充実、助成金の復活をお願いします。
- 干しイモ作業の手伝いなど軽労働の労賃に対して、村から補助があると参加の機会が増え、農家と高齢者両者とも助かると思います。
- 昨年村の助成金が無くなったため、週5日デイサービスに通所できたのを、週3日に減らすことで支払いを調整しています。デイサービスに行けない日はお昼の支度・見守りに家に戻らなければならず、仕事も思うようにいかず収入も減り、金銭的に行き詰っています。低所得者への対策を検討いただけるとありがたいです。宜しくお願いします。
- 介護保険サービス負担料を引き上げないでほしい。
- 特養ホーム入所の優先順位については、在宅介護の困難度を随時精査し、施設側への指導を強化してほしい。
- 要介護認定者家族介護用品給付事業を利用して紙パンツと尿取りパットを購入しているが、上限が3,000円で足りない。旧制度の方がよかった。現在の委託業者は土日配達がないので、土曜日に那珂市まで家族が引き取りに行っており不便である。
- 年金（国民）額が減ってツライ、キツイ。一人暮らしなどの人にアンケートは大変である。

- 利用料が高いです。
- 生活苦なので何も出来ません。
- 介護サービスを使用していない場合は介護保険料を下げてほしい。
- 要介護2と要介護3で村の補助の差が大きすぎる。もう少し平準にすべき。

(6) 「情報提供・相談窓口」に関すること

- 今は要介護5の親を看ているが、自分の健康も心配。日中、朝晩はほとんど1人で世話をしているので、自分の身に何かあったときを考えると、もっと福祉サービスの方とも普段から話し合った方が良いのかもしれないと思うことがある。
- 一番に望むことは、困って相談に行ったときに丁寧に聞いてくれることです。聞いてもらえただけで不安は大分消えます。その上で対処してもらいたい。今までにない社会構造の中で生きているので、十分に全員で話し合い、社会を作っていくことが大事。東海村の役場の職員は聞いてくれるほう、なごみの職員も親切。これからも村と住民が話し合って住みよい村を作っていきたい。
- 介護保険制度といっても一言では無理。真実がわかりません。私の場合は良かれと思っていた人に？ 姿見せず電話一本もなし。私は銀行へ勤めている時代から心理学を学んでいましたので、今の私の心の中は悲しい限りです。客の心理はよく学んだつもりでも、一般論として私は悲しいの一言です。自分としてはケアマネージャーに大変よく快く接したつもり。文章より面接を希望。
- 役場に行けないときに職員が来てくれて手続きがスムーズになればいいと思います。高額療養費支給申請通知書が来ても役場に行かなければ戻ってこないのです。何とかありませんか。
- 十年前に在宅介護を始めることになり初めてケアマネージャーから色々と説明を受けたのですが、そのときは頭がいっぱいで介護制度が理解できるようになるのには時間がかかりました。そんな時に体験者のサークルなどがあればいろいろ情報が入りすごく助かると思います。介護はやってみた人でないとその大変さ、不安は到底理解できないと思います。訪問介護はとても助かっております。
- 無料使用出来るものとかあれば教えていただきたい。

(7) 「まちづくり・村への要望等」に関すること

- 役場諸手続きなどに役場職員の出張サービス
- デマンドタクシーのサービス範囲の村外への拡大
- 敬老会（毎年文化センター）に障がい高齢者と介助者の専用座席の設定・確保

- 現在は生きがい支援など充実していると思いますが、寝たきりの高齢者に対する支援をさらにお願いしたいと思います。
- 高齢者福祉サービス事業者の従業員の中にサービス精神にムラのある人がいるので研修・教育を充実させていただきたい。
- 東海村役場となごみの場所が離れていて、手続きによってあちこち指示されて不便です。一カ所にまとめてほしいです。
- 現に高齢社会になっている村内の高齢者の実態を的確に分析するアンケート調査が大事と考えます。「今後の暮らしと将来について」特に「一人暮らし高齢者に対する見守り支援」「寝たきりの高齢者に対する支援」「在宅で介護している方への支援」を村の事業計画に策定して頂きたく要望いたします。東海村をよろしくお願いします。
- 日常生活への介護などは今までに色々と工夫をしてきましたが、認知症は常には分からないことが沢山あり、認知症高齢者に対する支援の充実をお願いいたします。

(8) その他

- 私は現在介護を受ける立場になっている90歳を過ぎた者ですが、娘の介護を受けて非常に申し訳ない。早く人生を終わりたいと日頃切に感じている。時には刹那的に死を思うことが何度あったことか、早く逝った主人が羨しいと思う毎日です。人は、何故長生きしなければならないのでしょうか。村からの介護を受けて、有難く思っております。ありがとうございます。
- 今日のこのアンケートは私（対象者の長男）の場合、対象者がグループホームに入所しており私は時々面会に行くだけで、介護についての全般は施設に任せ、年に一度その文書をチェックして判を押し、気が付いた所があれば施設の管理者と交渉しているのが現状なので、答えに窮した。こういう立場のときは自宅で直接家族が介護している場合と異なるので、アンケートの質問が当てはまらず困った。
- 耳が遠く認知症と診断されていません。ボケなのかどうかの診断がしにくいです。大変に困っております。専門の意見とはちょっと違っていると思います。
- グループホーム入所中のため、回答の選び方が分からないものが数か所ありました。
- 遅くなって申し訳ありません。軽度の認知症で、症状が少しずつ進んでおり心配です。デイサービスを利用してほしいのですが、本人が希望しません。様子をみているところです。

V 資料編

1 東海村介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票



東海村 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票

(高齢者福祉・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査)

<ご記入にあたってのお願い>

- ◆ご回答は、できる限り、お送りした封筒のあて名のご本人にお願いいたします。
- ◆ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
- ◆回答数は設問によって異なるため、() 内のことわり書きに従ってください。
- ◆「その他」と回答した場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、**2月10日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- ◆この調査に関するお問い合わせは、下記まで、お願いいたします。

<問い合わせ先>

東海村 介護福祉課

電話：029-282-1711（内線：1162）

なお、このアンケートは、基本的な属性（居住している日常生活圏域、性別、年齢等）の記入を省略するため、記名式（上部の宛名シール）となっておりますことをご了承くださいますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、村による高齢者施策及び高齢者福祉・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、村内で適切に管理いたします。
- ただし、高齢者福祉・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。
- なお、本調査は、介護予防事業対象者の把握も兼ねておりますので、回答内容に応じて、介護予防が必要と思われる方には東海村地域包括支援センター（なごみ）より、介護予防教室のご案内等についてお声をかけさせていただきます。

調査票の記入者や、対象者の方ご本人の情報について

●記入日	平成 29 年 月 日
●調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. 対象者の方ご本人が記入	
2. ご家族が記入 → （対象者の方ご本人からみた続柄 ）	
3. その他（ ）	

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) |

(2)-① 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病	3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺炎・肺気腫等)	5. 関節の病気 (リウマチ等)	6. 認知症 (アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病	8. 糖尿病	9. 腎疾患 (透析)
10. 視覚・聴覚障害	11. 骨折・転倒	12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱	14. その他 ()	
15. 不明		

(2)-② 【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者 (夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()	

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

(4)お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇は1つ)

1. 持家 (一戸建て)	2. 持家 (集合住宅)	3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)	5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)	6. 借家
7. その他		

問2 からだを動かすことについて

(1)～(3) 日常の歩行状況などについてお答えください。(それぞれ1つに〇)

	1. できるし、 している	2. できるけど していない	3. できない
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	2	3
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	2	3
(3) 15分位続けて歩いていますか	1	2	3

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(8)-① 【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 病気 | 2. 障害(脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障害(聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他() |

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------------------|------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車(自分で運転) | 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす(カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他() | | |

問3 食べることについて

(1) あて名のご本人の身長・体重をお答えください。(それぞれ数字を記入)

身長				cm	体重				kg
----	----------------------	----------------------	----------------------	----	----	----------------------	----------------------	----------------------	----

(2)～(5) 食べることや、口や歯の状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

	はい	いいえ
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	2
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1	2
(4) 口の渇きが気になりますか	1	2
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか	1	2

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 自分の歯は <u>20本以上</u> 、かつ入れ歯を利用 | 2. 自分の歯は <u>20本以上</u> 、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は <u>19本以下</u> 、かつ入れ歯を利用 | 4. 自分の歯は <u>19本以下</u> 、入れ歯の利用なし |

(6)-①【すべての方】

①噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6)-②【入れ歯を利用している方のみ】

※(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方

②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

問4 毎日の生活について

毎日の生活の状況についてお答えください。(それぞれ1つに○)

■物忘れについて

	はい	いいえ
(1) 物忘れが多いと感じますか	1	2
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	2
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか	1	2

■外出・買物・食事・金銭管理について

	1. できるし、 している	2. できるけど していない	3. できない
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1	2	3
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1	2	3
(6) 自分で食事の用意をしていますか	1	2	3
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1	2	3
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか	1	2	3

■書類の作成、新聞・雑誌の購読状況について

	はい	いいえ
(9) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1	2
(10) 新聞を読んでいますか	1	2
(11) 本や雑誌を読んでいますか	1	2

■健康への関心と他者との関わりについて

	はい	いいえ
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	1	2
(13) 友人の家を訪ねていますか	1	2
(14) 家族や友人の相談にのっていますか	1	2
(15) 病人を見舞うことができますか	1	2
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	1	2

(17) 趣味はありますか。(○は1つ)

1. 趣味あり (→具体的に	)	2. 思いつかない
----------------	---	-----------

(18) 生きがいはありますか。(○は1つ)

1. 生きがいあり (→具体的に	)	2. 思いつかない
------------------	---	-----------

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑦それぞれについて、1つずつ○)

	週4回 以上	週 2～3回	週1回	月 1～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係の グループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑥ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑦ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志で、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない

問6 たすけあいについて

～あなたと周りの人の「たすけあい」についておうかがいします。～

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人。(○はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他() | 8. そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役場 | 6. その他() |
| 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(〇は1つ)

同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

- | | | |
|------------|----------|---------|
| 1. 0人(いない) | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人 | 5. 10人以上 | |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他() | 8. いない | |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をつけてください)

とても不幸 ←————→ とても幸せ
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---|---|--|
| 1. ない | 2. 高血圧
<small>こうけつあつ</small> | 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
<small>のうそっちゅう のうしゅけつ のうこうそく</small> |
| 4. 心臓病
<small>しんぞうびょう</small> | 5. 糖尿病
<small>とうりょうびょう</small> | 6. 高脂血症(脂質異常)
<small>こうしけっしょう しじつじょう</small> |
| 7. 呼吸器の病気
<small>こきゅうき びょうき</small>
(肺炎や気管支炎等)
<small>はいえん きかんしえん</small> | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
<small>いちょう かんぞう たん びょうき</small> | 9. 腎臓・前立腺の病気
<small>じんぞう ぜんりつせん びょうき</small> |
| 10. 筋骨格の病気
<small>きんこつかく びょうき</small>
(骨粗しょう症、関節症等)
<small>こつそ しよう かんせつしやう</small> | 11. 外傷(転倒・骨折等)
<small>がいしやう てんとう こっせつ</small> | 12. がん(悪性新生物)
<small>あくせいしんせいぶつ</small> |
| 13. 血液・免疫の病気
<small>けつえき めんえき びょうき</small> | 14. うつ病
<small>びょう</small> | 15. 認知症(アルツハイマー病等)
<small>にんちしやう びょう</small> |
| 16. パーキンソン病
<small>びょう</small> | 17. 目の病気
<small>びょうき</small> | 18. 耳の病気
<small>びょうき</small> |
| 19. その他() | | |

問8 生きがいづくり・介護予防について

(1) あなたは、現在、どのようなことに充実感や生きがいを感じますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. 働くこと | |
| 2. 学習や教養を高めるための活動 | |
| 3. ウォーキング等のスポーツ・レクリエーション | |
| 4. 園芸・手芸・囲碁・将棋などの趣味の活動 | |
| 5. ボランティア活動 | 6. サロンへの参加 |
| 7. 町内会、自治会の活動 | 8. 特技や技術を生かした創作・伝承活動 |
| 9. 近所や友だちとのつきあい | 10. テレビ・ラジオ・新聞・読書 |
| 11. 旅行やレジャー | 12. 家族との団らん |
| 13. ショッピング、買い物 | 14. パソコン、インターネット |
| 15. 子や孫の成長を見守ること | 16. ペットの世話 |
| 17. その他 () | 18. 特にない |

(2) 介護が必要な状態になることを予防するための教室や講座などのうち、あなたが実際に利用したいと思うものはありますか。(〇はいくつでも)

1. 運動教室（体操やウォーキングなど）
2. 転倒予防教室（正しい歩き方講座、ストレッチ、軽い筋力トレーニングなど）
3. 低栄養予防サービス（バランスのとれた食事摂取のサポートや栄養指導など）
4. 閉じこもり予防サービス（外に出る機会や交流の機会を提供する）
5. フットケアサービス（足の基本動作が衰えないよう、足浴やつめのお手入れを行う）
6. 口腔健康教室（口や歯の清潔・健康を保つための指導や点検のサービス）
7. 認知症予防教室（認知症にならない、認知症を進行させないような取り組み）
8. うつ予防教室（心を元気にする精神の健康づくりのための取り組み）
9. 健康教室（病気の予防のための講座や指導など）
10. 健康相談（健康に関する個別相談や指導など）
11. 訪問指導（保健師や栄養士、歯科衛生士等による家庭訪問）
12. その他 ()
13. 特にない

(3) あなたは「介護予防」について、どのようなイメージがありますか。(〇はいくつでも)

1. 元気な人が、将来介護にならないために行うこと
2. 介護の心配が少し出てきた時に行うこと
3. 介護が必要になった時に、これ以上悪化しないよう行うこと
4. その他 ()

(4) 高齢者が介護予防事業に参加する上での妨げや障害になることは何だと思いますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 事業のことを知らない | 2. 事業名のイメージが悪い(ネーミングが悪い) |
| 3. 開催場所が遠い | 4. 交通手段がない |
| 5. 興味がない | 6. 自分には必要ない・関係ないと考えている |
| 7. 一緒に参加する人(仲間)がいない | 8. 参加するのに気が引ける・恥ずかしい |
| 9. その他() | |

(5) あなたは「地域包括支援センター(なごみ)」を知っていますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. どこにあるか知っており、実際に相談したこともある |
| 2. どこにあるか知っているが、相談したことはない |
| 3. 聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない |
| 4. 知らない |

※地域包括支援センター

地域包括支援センターは、現在、村内に1か所設置しています。高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に支援する機関です。

問9 認知症について

(1) 認知症の人は、2025年には約700万人と見込まれています。今後、増加する認知症の人への取り組みとして、村ではどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供 |
| 2. 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実 |
| 3. できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり |
| 4. 家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み |
| 5. 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み |
| 6. 認知症の人を地域で見守る体制の充実 |
| 7. 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実 |
| 8. 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取り組み |
| 9. 認知症の人が利用できる介護施設の充実 |
| 10. その他() |
| 11. わからない |

(2) あなたは認知症予防のために、具体的な取り組みを実践していますか。(○は1つ)

- 1. 実践している
- 2. 時々気を付けているが、継続的ではない
- 3. 現在はしていないが、近いうちにしようと思う
- 4. 現在はしていないし、しようとも思わない

→①【(2)において「1. 実践している」「2. 時々気を付けているが、継続的ではない」の方のみ】
どのようなことを実践していますか。(○はいくつでも)

- 1. ウォーキングや体操を定期的に行っている
- 2. こまめに体を動かすようにしている
- 3. バランスの良い食事を心がけている
- 4. 緑黄色野菜や青背の魚を積極的にとるようにしている
- 5. 趣味やレクリエーションなどの活動を積極的に実施している
- 6. 人とのコミュニケーションの機会を多く持つようにしている
- 7. 日記をつける、献立を書くなど出来事を思い出そうにしている
- 8. その他 ()

(3) 認知症について、地域包括支援センター(なごみ)で相談を受けられることをご存じですか。
(○は1つ)

- 1. はい
- 2. いいえ

(4) 現在、一般の高齢者向けに東海村が行っている認知症予防教室をご存じですか。(○は1つ)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 10 今後の暮らしや将来の介護について

(1) あなたの主な収入源は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 自分の年金
- 2. 配偶者の年金
- 3. 家族からの援助
- 4. 自分の給与
- 5. 配偶者の給与
- 6. 生活保護
- 7. その他 ()

(2) あなたの収入で生活を支えている家族等はいいますか。(○は1つ)

- 1. いる
- 2. いない

(2)-① 【(2)において「1. いる」方のみ】

①支えている家族とは誰ですか。(○はいくつでも)

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 孫
- 4. その他 ()

(3) あなたが余暇等で自由に使えるお金は1か月いくらありますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 1万円未満 | 2. 1万円以上2万円未満 | 3. 2万円以上3万円未満 |
| 4. 3万円以上5万円未満 | 5. 5万円以上 | 6. ない |

(4) 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか。また、それはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 体調がすぐれない、病気がち | 2. 認知症にならないか心配 |
| 3. 頼れる人がおらず一人きりであること | 4. 生活のための収入が足りない |
| 5. 食事づくりや買い物が大変 | 6. 歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配 |
| 7. 掃除・洗濯などの家事が大変 | 8. 地震や火災などの災害の起きたときが心配 |
| 9. 外出時の転倒や事故が不安 | 10. 判断能力が衰えたときの契約や財産の管理が心配 |
| 11. 子どもや孫のことが心配(→具体的に _____) | |
| 12. その他(_____) | |
| 13. 特にない | |

(5) あなたがお住まいの地域には、近隣のつながりがあると感じますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|------------|------------|---------|
| 1. とても感じる | 2. まあまあ感じる | 3. あまり感じない | 4. 感じない |
|-----------|------------|------------|---------|

(6) 住み慣れた地域において、在宅で自立した生活を続けていくために、必要になると思う支援やサービスは何ですか。(在宅での生活を継続していく上で、必要になると思う支援やサービスは何ですか。)(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 食事の宅配サービス | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物(宅配は含まない) |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行(通院、買い物など) |
| 7. 移送サービス(介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他(_____) |
| 11. 特にない | 12. わからない |

(7) あなたが、今後、近隣の方に次のような手助けをしてあげたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 2. ちょっとした買い物 |
| 3. ゴミ出し | 4. 家事の手伝い |
| 5. 通院の送迎や外出の手助け | 6. 話し相手や相談相手 |
| 7. 災害時の避難の手助け | 8. 具合が悪いときの病院等への連絡 |
| 9. 緊急時の家族への連絡 | |
| 10. その他(_____) | |
| 11. 手助けしてあげたいとは思わない | |

(8) 将来、介護が必要となったとき、不安なことはなんですか。(〇はいくつでも)

1. 家族に負担をかけること	2. 経済的なこと
3. 認知機能の低下	4. 身体機能の低下
5. 介護サービスの知識がないこと	6. 介護してくれる家族がいないこと
7. 相談できる相手がいないこと	8. その他 ()

(9) 以下の制度のことを知っていますか。(それぞれ1つ)

① 成年後見制度※ ¹	1. 知っている	2. 知らない
② 日常生活自立支援事業※ ²	1. 知っている	2. 知らない
③ 災害時要支援者避難支援制度※ ³	1. 知っている	2. 知らない

※1 成年後見制度

判断能力が不十分になった方に対し、家庭裁判所で選任した成年後見人が、本人の代理人として財産の管理や契約の手続きなどを行う制度です。

※2 日常生活自立支援事業

社会福祉協議会の派遣する生活支援員が、本人の指示の下で本人に代わって福祉サービスの利用援助とそれに伴う日常の金銭の出し入れ等を行うサービスです。

※3 災害時要支援者避難支援制度

災害時に自力で避難したり、災害情報の入手が難しい高齢者や障がい者などの方のお名前や住所などの個人情報自治会や民生委員・児童委員などの「地域の支援者」と共有し、災害が発生したときは「地域の支援者」が支援を必要とする方に対し、迅速な安否確認や避難誘導を行う制度です。

(10) あなたは、災害や火災などの緊急時に、1人で避難することができますか。(〇は1つ)

1. できる	2. できない
--------	---------

→ ①【(10)において「2. できない」の方のみ】

あなたが緊急時に1人で避難できないこと、あなたの住所・氏名・連絡先などの情報を近所の方に事前に知らせておきたいと思いますか(〇は1つ)

1. 近所の方に知っていてほしい	2. 近所の人に知られたくない
------------------	-----------------

(11) 将来、介護が必要となったとき、どこで生活したいと考えていますか。(〇はいくつでも)

1. 自宅で生活したい
2. 子など親族の家で生活したい
3. 介護保険施設(特別養護老人ホーム等)で生活したい
4. 介護保険施設以外の高齢者住宅や有料老人ホーム等で生活したい
5. その他 ()

(12) 介護や医療が必要になっても、在宅で暮らし続けるために、あなたが特に重要だと思うものは何ですか。(あてはまるもの 3 つまでに○)

1. 介護してくれる家族等	2. 安心して住み続けられる住まい
3. 往診してくれる医療機関	4. 気軽に立ち寄って話や相談ができる場所
5. 体の状態を維持改善できるサービス	6. いつでも訪問して身の回りの世話をしてくれるサービス
7. 見守りや手助けしてくれる人	8. 必要な時に宿泊できる施設
9. 食事や日用品などの宅配サービス	10. 安否状態を誰かに知らせてくれる仕組み
11. 介護者の負担を軽くする仕組み	
12. その他 ()	
13. 特になし	

(13) あなたは在宅医療[※]についてご存じですか。(1 つ)

1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. 言葉は聞いたことはあった	4. 全く知らなかった

※在宅医療

医師や看護師などの訪問を受けながら居住の場（自宅・有料老人ホームなど）で治療・療養する医療のことです。

(14) あなたは在宅医療についてどのようなイメージをお持ちですか。(それぞれ1つ)

	1 そう思う	2 やや そう思う	3 あまり 思わない	4 全く 思わない
① 在宅でどのような医療を受けられるか分からない	1	2	3	4
② 訪問看護がどのようなサービスか分からない	1	2	3	4
③ 訪問診療をしてくれる医師を見つけるのが難しい	1	2	3	4
④ 急に病状が変わったときの対応に不安がある	1	2	3	4
⑤ 費用が高額になる	1	2	3	4
⑥ 家族にかかる負担(肉体的・精神的)が大きい	1	2	3	4
⑦ 部屋、風呂・トイレなど住環境を整える必要がある	1	2	3	4
⑧ 医師や看護師に自宅に訪問されるのは気が引ける	1	2	3	4
⑨ 末期がんでも痛みのコントロールをしながら自宅で暮らせる	1	2	3	4

(15) あなたは、在宅での医療、終活(人生の最期を迎えるにあたっての様々な準備)、自宅での看取りのことなどに関心がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 大に関心がある | 2. 少し関心がある | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり関心はない | 5. 全く関心はない | |

(16) あなたは、人生の最期をどこで過ごしたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|------------|-------|-------|
| 1. 自宅 | 2. 子など親族の家 | 3. 病院 | 4. 施設 |
| 5. その他 (| | |) |

(17) これからの高齢者の保健福祉施策として、村に力を入れてほしいと思うものはどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 生きがいづくり支援 | 2. 就労支援 |
| 3. 健康管理 | 4. 疾病予防 |
| 5. 介護予防 | 6. 高齢者の身近な居場所の確保 |
| 7. 子どもたちと交流する機会の確保 | 8. 住みやすい住宅への支援 |
| 9. 所得の低い方への経済的支援 | 10. 地域の相談窓口である地域包括支援センターの充実 |
| 11. 認知症高齢者に対する支援の充実 | 12. 一人暮らし高齢者に対する見守り支援 |
| 13. 寝たきりの高齢者に対する支援 | 14. 介護保険の施設サービス(特別養護老人ホーム等) |
| 15. 介護保険の在宅サービスの充実 | 16. 介護保険以外の在宅サービスの充実 |
| 17. 介護事業者の指導・監督 | 18. 介護事業者のサービスの質の確保のための支援 |
| 19. 高齢者虐待への対応の強化 | 20. 判断能力が低下した際の契約や財産管理等の支援 |
| 21. 在宅で介護している方への支援 | 22. その他 (|
| 23. 特になし |) |

介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

.....
ご記入いただいたアンケート用紙は**2月10日(金)**までに同封の返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函して下さい。切手は不要です。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

2 東海村在宅介護実態調査 調査票



東海村 在宅介護実態調査 調査票

(高齢者福祉・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査)

＜ご記入にあたってのお願い＞

- ◆ご回答は、できる限り、お送りした封筒のあて名のご本人にお願いいたします。
- ◆ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
- ◆回答数は設問によって異なるため、() 内のことわり書きに従ってください。
- ◆「その他」と回答した場合には、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- ◆ご記入いただいた調査票は、**2月10日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- ◆この調査に関するお問い合わせは、下記まで、お願いいたします。

＜問い合わせ先＞

東海村 介護福祉課

電話：029-282-1711（内線：1162）

なお、このアンケートは、基本的な属性（居住している日常生活圏域、性別、年齢等）の記入を省略するため、記名式（上部の宛名シール）となっておりますことをご了承くださいますようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、村による高齢者施策及び高齢者福祉・介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、村内で適切に管理いたします。
- ただし、高齢者福祉・介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

【要介護認定データの活用について】

- 認定調査に係る、要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）は、本村における高齢者等支援施策の検討の際の基礎資料とすることを目的に使用させていただきます。
- なお、ご本人の許可なく、この目的以外の使用はいたしません。

調査票の記入者や、対象者の方ご本人の情報について

●記入日	平成 29 年 月 日
●調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. 対象者の方ご本人が記入 2. ご家族が記入 → (対象者の方ご本人からみた続柄 _____) 3. その他 (_____)	

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(○はいくつでも)

1. 調査対象者本人	2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. その他

問2 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯	3. その他 (_____)
---------	-----------	------------------

問3 ご本人の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問4 ご本人の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 65歳未満	2. 65～69歳	3. 70～74歳
4. 75～79歳	5. 80～84歳	6. 85～89歳
7. 90歳以上		

問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 要支援1	2. 要支援2	
3. 要介護1	4. 要介護2	5. 要介護3
6. 要介護4	7. 要介護5	8. わからない

問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

1. 入所・入居は検討していない	2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている	

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問7 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

1. 脳血管疾患(脳卒中) のうけっかんしゅっかん のうそつちゅう	2. 心疾患(心臓病) しんしゅっかん しんぞうびょう
3. 悪性新生物(がん) あくせいしんせいぶつ	4. 呼吸器疾患 こきゅうきしゅっかん
5. 腎疾患(透析) じんしゅっかん どうけき	
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等) きんこつかくけいしゅっかん こつそ しょう せきちゅうかんきょうさくしょう	
7. 膠原病(関節リウマチ含む) こうげんびょう かんせつ	8. 変形性関節疾患 へんけいせいかんせつしゅっかん
9. 認知症 にんちしょう	10. パーキンソン病 びょう
11. 難病(パーキンソン病を除く) なんびょう びょう	12. 糖尿病 とうようびょう
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障がいを伴うもの) がんか しび かしゅっかん しかく ちょうかくしょう	
14. その他()	
15. なし	16. わからない

問8 平成28年12月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用しましたか。(〇は1つ)

1. 利用した ⇒問9へ	2. 利用していない ⇒問10へ
--------------	------------------

問9 問8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、平成28年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。
対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。
(それぞれ1つに〇)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに〇)					
	利用して いない	週1回 程度	週2回 程度	週3回 程度	週4回 程度	週5回 以上
(※回答例) ●●●サービス	9	1	2	3	4	5
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	9	1	2	3	4	5
B. 訪問入浴介護	9	1	2	3	4	5
C. 訪問看護	9	1	2	3	4	5
D. 訪問リハビリテーション	9	1	2	3	4	5
E. 通所介護 (デイサービス)	9	1	2	3	4	5
F. 通所リハビリテーション (デイケア)	9	1	2	3	4	5
G. 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	9	1	2	3	4	5

	利用の有無（1つに○）	
H. 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型 居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数（1つに○）				
	利用して いない	月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度	月22日 以上
K. ショートステイ	9	1	2	3	4

	1か月あたりの利用回数（1つに○）				
	利用して いない	月1回 程度	月2回 程度	月3回 程度	月4回 程度
L. 居宅療養管理指導	9	1	2	3	4

問10 問8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（

）

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問11 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。
(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------------|-------------|-------------------|
| 1. 食事の宅配サービス | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物（宅配は含まない） | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 利用していない | |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 食事の宅配サービス | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物（宅配は含まない） | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ | 9. サロンなどの定期的な通いの場 |
| 10. その他 | 11. 特になし | |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問13 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。

問14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. ない | } C票の間1へ進んでください |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない | |
| 3. 週に1～2日ある | } B票の間1へ進んでください |
| 4. 週に3～4日ある | |
| 5. ほぼ毎日ある | |

●A票の間14で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。

●「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(○はいくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問2 主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|---------|-----------|
| 15. その他 | 16. わからない |
|---------|-----------|

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助（食べる時） | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備（調理等） | 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等） |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------------|---|---------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問8～問10へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | C票の問1へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問8 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(○はいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問9 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで選択可)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問10 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

C票 今後の暮らしや将来の介護についてお伺いします

問1 日常生活において、不安、悩み、心配ごとはありますか。また、それはどのようなことですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 体調がすぐれない、病気がち | 2. 認知症にならないか心配 |
| 3. 頼れる人がおらず一人きりであること | 4. 生活のための収入が足りない |
| 5. 食事づくりや買い物が大変 | 6. 歩けなくなるなど基礎体力の低下が心配 |
| 7. 掃除・洗濯などの家事が大変 | 8. 地震や火災などの災害の起きたときが心配 |
| 8. 外出時の転倒や事故が不安 | 10. 判断能力が衰えたときの契約や財産の管理が心配 |
| 11. 子どもや孫のことが心配 (→具体的に _____) |) |
| 12. その他 (_____) |) |
| 13. 特にない | |

問2 あなたは「地域包括支援センター(なごみ)」を知っていますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. どこにあるか知っており、実際に相談したこともある |
| 2. どこにあるか知っているが、相談したことはない |
| 3. 聞いたことはあるが、具体的なことまでは分からない |
| 4. 知らない |

※地域包括支援センター

地域包括支援センターは、現在、村内に1か所設置しています。高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、介護・福祉・健康などさまざまな面から総合的に支援する機関です。

問3 以下の制度のことを知っていますか。(それぞれ1つ)

① 成年後見制度※ ¹	1. 知っている	2. 知らない
② 日常生活自立支援事業※ ²	1. 知っている	2. 知らない
③ 災害時要支援者避難支援制度※ ³	1. 知っている	2. 知らない

※1 成年後見制度

判断能力が不十分になった方に対し、家庭裁判所で選任した成年後見人が、本人の代理人として財産の管理や契約の手続きなどを行う制度です。

※2 日常生活自立支援事業

社会福祉協議会の派遣する生活支援員が、本人の指示の下で本人に代わって福祉サービスの利用援助とそれに伴う日常の金銭の出し入れ等を行うサービスです。

※3 災害時要支援者避難支援制度

災害時に自力で避難したり、災害情報の入手が難しい高齢者や障がい者などの方のお名前や住所などの個人情報を自治会や民生委員・児童委員などの「地域の支援者」と共有し、災害が発生したときは「地域の支援者」が支援を必要とする方に対し、迅速な安否確認や避難誘導を行う制度です。

問4 あなたは、災害や火災などの緊急時に1人で避難することができますか。(○は1つ)

1. できる

2. できない

→ 問4①【問4において「2. できない」の方のみ】

あなたが緊急時に1人で避難できないこと、あなたの住所・氏名・連絡先などの情報を近所の方に事前に知らせておきたいと思いますか(○は1つ)

1. 近所の方に知っていてほしい

2. 近所の人に知られたくない

問5 将来、特別養護老人ホーム(介護福祉施設)に入所したいですか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

3. わからない

→ 問5①【入所したくない方のみ】

その理由は次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 家族に介護をしてもらいたいため
2. 住み慣れた家で暮らしたいため
3. 現在の在宅サービスで満足しているため
4. 経済的な理由のため
5. その他 ()

→ 問5②【入所したい方のみ】

その理由は次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 介護者がいないため
2. 介護者がいるが高齢または障害や疾病の状況にあり介護が困難なため
3. 介護者がいるが育児または就業しているため十分な介護が困難なため
4. 家族や親族に負担をかけたくないため
5. 経済的な理由のため
6. その他 ()

問6 これからの高齢者の保健福祉施策として、村に力を入れてほしいと思うものはどれですか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------------------|
| 1. 生きがいづくり支援 | 2. 就労支援 |
| 3. 健康管理 | 4. 疾病予防 |
| 5. 介護予防 | 6. 高齢者の身近な居場所の確保 |
| 7. 子どもたちと交流する機会の確保 | 8. 住みやすい住宅への支援 |
| 9. 所得の低い方への経済的支援 | 10. 地域の相談窓口である地域包括支援センターの充実 |
| 11. 認知症高齢者に対する支援の充実 | 12. 一人暮らし高齢者に対する見守り支援 |
| 13. 寝たきりの高齢者に対する支援 | 14. 介護保険の施設サービス（特別養護老人ホーム等） |
| 15. 介護保険の在宅サービスの充実 | 16. 介護保険以外の在宅サービスの充実 |
| 17. 介護事業者の指導・監督 | 18. 介護事業者のサービスの質の確保のための支援 |
| 19. 高齢者虐待への対応の強化 | 20. 判断能力が低下した際の契約や財産管理等の支援 |
| 21. 在宅で介護している方への支援 | |
| 22. その他（ | ） |
| 23. 特にない | |

問7 介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

.....
 ご記入いただいたアンケート用紙は**2月10日（金）**までに同封の返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函して下さい。切手は不要です。

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

第7期東海村高齢者福祉計画・
介護保険事業計画に係るアンケート調査
調査結果報告書

発 行 : 平成29年 3 月
編 集 : 東海村福祉部 介護福祉課
